

令和4年度

所沢市行政報告書

(決算に係る主要な施策の成果)

地方自治法（昭和22年法律第67号）第233条第5項の規定及び所沢市議会基本条例第15条第2項の規定に基づく求めにより、令和4年度会計年度における主要な施策の成果を説明する書類として、本資料を提出します。

令和5年8月25日

所沢市長 藤 本 正 人

目 次

一 般 会 計	1
秘書室	13
・ イタリア都市文化交流推進事業	秘書室 20
・ COP27サイドイベント参加事業(国際都市地域間協力プロジェクト推進事業の一環)	秘書室 73
危機管理室	15
・ 新型コロナウイルス感染症における自宅療養者食糧支援事業	危機管理室 16
経営企画部	17
・ イタリア都市文化交流推進事業	企画総務課 20
・ ウクライナ避難民支援事業	企画総務課 20
・ 持続可能なまちづくり調査研究事業	経営企画課 21
・ 公共施設コンクリート圧縮強度等調査事業	経営企画課 21
・ AI等技術推進事業	デジタル戦略課 22
・ 大容量ファイル送受信サービス利用事業	デジタル戦略課 22
総務部	23
財務部	25
・ 市庁舎施設整備事業(空調・給水設備改修設計業務委託)	管財課 27
・ 公務におけるシェアサイクルの活用実証実験事業	管財課 27
・ 市庁舎施設整備事業(自動昇降機改修工事)	管財課 28
・ 低公害車導入事業	管財課 28
・ 対話支援システム導入事業	市民税課 29
・ 対話支援システム導入事業	資産税課 29
・ 対話支援システム導入事業	収税課 29
市民部	31
・ 対話支援システム導入事業	地域づくり推進課 29
・ 中富南コミュニティセンター受水槽給水加圧ポンプ修繕事業	地域づくり推進課 36
・ 「(仮称)ところざわアートのミライ」開催事業	文化芸術振興課 36
・ 所沢市民文化センター光熱費等高騰対策支援事業	文化芸術振興課 37
・ 対話支援システム導入事業	市民相談課 29
・ 対話支援システム導入事業	市民課 29
・ 住民異動受付支援システム構築事業	市民課 37
・ 所沢市斎場光熱費等高騰対策支援事業	市民課 38
・ 西所沢駅西口改札口開設事業	防犯交通安全課 38
福祉部	39
・ 住民税非課税世帯等価格高騰緊急支援給付金支給事業	福祉総務課 42
・ 生活困窮者自立促進支援事業	生活福祉課 42
・ 生活保護世帯暮らし応援事業	生活福祉課 43
・ 所沢市障害のある人もない人も共に生きる社会づくり条例推進事業	障害福祉課 43
・ 対話支援システム導入事業	障害福祉課 29
・ 福祉総合システム(障害福祉システム)改修事業(福祉部所管分)	障害福祉課 44
・ 老人憩の家こてさし荘屋根及び外壁改修事業	高齢者支援課 44
・ 対話支援システム導入事業	高齢者支援課 29
・ 新所沢けやき通り老人デイサービスセンター空調設備等改修事業	高齢者支援課 45

・ ところ荘老人デイサービスセンター等空調設備改修事業	高齢者支援課	45
・ 高齢者福祉施設整備費補助事業(地域密着型サービス)	介護保険課	46
こども未来部		47
・ 保育所等感染症対策改修整備等事業	こども政策課	51
・ 若者応援事業(16歳から18歳の未来へ)	こども政策課	51
・ 子育て家庭応援事業	こども政策課	52
・ 出産・子育て応援事業(経済的支援)	こども政策課	52
・ 低所得の子育て世帯生活支援特別給付金支給事業	こども支援課	53
・ 子育て世帯特別一時金支給事業	こども支援課	53
・ 対話支援システム導入事業	こども福祉課	29
・ 福祉総合システム(障害福祉システム)改修事業(こども未来部所管分)	こども福祉課	54
・ 児童クラブ施設整備事業(小手指児童クラブ他)	青少年課	54
・ 放課後児童健全育成事業(民設民営児童クラブ)	青少年課	55
・ 児童福祉施設等における感染拡大防止等対策事業(放課後児童クラブ)	青少年課	55
・ 放課後児童クラブ物価高騰対策給付事業	青少年課	56
・ 保育園給食調理業務委託事業	保育幼稚園課	56
・ 保育園施設整備事業	保育幼稚園課	57
・ “子どものために” 保育施設等応援事業	保育幼稚園課	57
健康推進部		59
・ 保健事業と介護予防の一体的実施事業	国民健康保険課	62
・ 精神障害者アウトリーチ支援事業	健康管理課	62
・ 新型コロナウイルスワクチン接種事業	健康管理課	63
・ 各種予防接種事業(HPVワクチンキャッチアップ接種)	健康管理課	63
・ 対話支援システム導入事業	健康管理課	29
・ 産後ケア事業(デイサービス型)	健康づくり支援課	64
・ 産婦健康診査助成事業	健康づくり支援課	64
・ 市民健康管理支援システム改修事業(母子保健事業対応)	健康づくり支援課	65
・ トコトコ健幸マイレージ事業	健康づくり支援課	65
・ 出産・子育て応援事業(伴走型相談支援)	健康づくり支援課	66
・ 不妊検査・治療費等助成事業	健康づくり支援課	66
環境クリーン部		67
・ 持続可能なまちづくり調査研究事業	まちごとエコタウン推進課	21
・ まちごとゼロカーボン市民会議開催事業	まちごとエコタウン推進課	72
・ 公共施設太陽光発電導入調査事業	まちごとエコタウン推進課	72
・ 再生可能エネルギー普及推進事業	まちごとエコタウン推進課	73
・ COP27サイドイベント参加事業(国際都市地域間協力プロジェクト推進事業の一環)	まちごとエコタウン推進課	73
・ 緑地紹介映像作成事業	みどり自然課	74
・ 里山保全地域等指定整備事業	みどり自然課	74
・ みどりのエコスポット整備事業	みどり自然課	75
・ 一般廃棄物減量化方策推進事業	資源循環推進課	75
・ 第2一般廃棄物最終処分場整備事業	資源循環推進課	76
・ 東部クリーンセンター長期包括運營業務委託に係る家庭ごみ等受入業務追加事業	東部クリーンセンター	76
・ 北野一般廃棄物最終処分場浸出液処理施設整備事業	西部クリーンセンター	77
産業経済部		79
・ 運送事業者支援事業(所沢元気回復プロジェクト)	産業振興課	81

・ 企業誘致活動推進事業	産業振興課	81
・ 公務におけるシェアサイクルの活用実証実験事業	商業観光課	27
・ 「フランス航空教育団と日仏交流」次の100年事業	商業観光課	82
・ 「所沢市観光情報・物産館」活用事業(COOL JAPAN FOREST構想事業)	商業観光課	82
・ 香(こう)感度アップ！狭山茶PR事業	農業振興課	83
・ 物価高騰に負けるな 所沢市農業者支援事業(所沢元気回復プロジェクト)	農業振興課	83
街づくり計画部		85
・ 持続可能なまちづくり調査研究事業	都市計画課	21
・ パブリック空間創出・利活用推進事業	都市計画課	88
・ 地域循環乗合ワゴン(ところワゴン)実証運行事業	都市計画課	88
・ 交通事業者支援給付事業	都市計画課	89
・ ファルマン通り交差点外無電柱化整備事業	市街地整備課	89
・ 土地利用転換推進事業	市街地整備課	90
・ 日東地区まちづくり事業	市街地整備課	90
・ ファルマン通り交差点改良事業	市街地整備課	91
・ 市営住宅東所沢和田団地施設整備事業	市街地整備課	91
・ 所沢駅ふれあい通り線道路築造事業(1工区)	所沢駅西口区画整理事務所	92
・ 所沢駅西口区画まちづくり事業	所沢駅西口区画整理事務所	92
建設部		93
・ 持続可能なまちづくり調査研究事業	道路建設課	21
・ 市道4-1386号線(上藤沢・林・宮寺間新設道路3工区)築造事業	道路建設課	97
・ COOL JAPAN FOREST 周辺道路整備事業	道路建設課	97
・ 所沢市総合治水対策事業(清柳橋改築事業)	道路建設課	98
・ 北野下富線道路築造事業	計画道路整備課	98
・ 松葉道北岩岡線道路築造事業	計画道路整備課	99
・ 北秋津・上安松地区都市緑地保全事業	公園課	99
・ 北秋津・上安松地区都市緑地保全事業(クラウドファンディング)	公園課	100
出納室		101
教育委員会		103
・ 学校施設太陽光発電設備設置事業	教育施設課	109
・ 小学校施設整備事業	教育施設課	109
・ 中学校校舎内部改修(木質化)事業	教育施設課	110
・ 中学校施設整備事業	教育施設課	110
・ 所沢市立山口中学校既存擁壁改修事業	教育施設課	111
・ 公民館施設整備事業(新所沢東公民館自動昇降機設置)	社会教育課	111
・ 小手指公民館太陽光発電設備設置事業	社会教育課	112
・ 公民館施設整備事業	社会教育課	112
・ 歴史的建造物整備活用事業	文化財保護課	113
・ スクールカウンセラー学校派遣事業	学校教育課	113
・ 「学び創造アクティブPLUS」学力向上推進事業	学校教育課	114
・ 中学校夜間学級教育費負担事業	学校教育課	114
・ 第1学校給食センター受水槽改修事業(設計業務委託)	保健給食課	115
・ 小中学校給食費保護者負担軽減事業	保健給食課	115
・ 小中学校給食食材費補助事業	保健給食課	116
・ 清進小学校給食室食器消毒保管庫更新事業	保健給食課	116

・ 上新井小学校給食用リフト修繕事業	保健給食課	117
・ ICT支援員導入事業	教育センター	117
・ 教育相談アドバイザー支援事業	教育センター	118
・ 教育ネットワークシステム更新に伴う電源設備整備事業	教育センター	118
議会事務局		119
選挙管理委員会事務局		121
監査事務局		123
農業委員会事務局		125
・ 農地情報タブレット端末整備事業	農業委員会事務局	126
特別会計		127
交通災害共済特別会計		129
所沢都市計画事業狭山ヶ丘土地区画整理特別会計		131
所沢都市計画事業所沢駅西口土地区画整理特別会計		133
・ 所沢駅西口土地区画整理事業	所沢駅西口区画整理事務所	135
国民健康保険特別会計		137
・ トコトコ健幸マイレージ事業	国民健康保険課	140
・ 特定保健指導業務委託事業	国民健康保険課	140
・ 対話支援システム導入事業	国民健康保険課	141
介護保険特別会計		143
・ 対話支援システム導入事業	介護保険課	146
後期高齢者医療特別会計		147
・ 対話支援システム導入事業	国民健康保険課	149
(参考)事業会計		151
水道事業会計		153
・ 環境対策推進事業(低公害車導入)	経営課	158
・ 水道管整備事業	水道建設課	158
・ 浄水場整備事業(西部浄水場更新工事)	給水管理課	159
・ 浄水場整備事業(耐震補強工事)	給水管理課	159
・ “いのちの水”暮らしと産業支援事業	経営課・ 窓口サービス課	160
下水道事業会計		161
・ イメージアップ事業(マンホールサミット開催)	経営課・下水道維持課	166
・ 雨天時浸入水対策事業	窓口サービス課・ 下水道整備課・ 下水道維持課	166
・ 雨水浸透化事業	下水道整備課	167
・ 下水道管渠布設事業	下水道整備課	167
・ 下水道地震対策事業	下水道整備課	168
病院事業会計		169
・ 所沢市市民医療センター再整備基本計画・経営強化プラン策定事業	市民医療センター	173
・ 小児初期救急医療体制推進事業	市民医療センター	173
・ 自動遺伝子解析装置整備事業(新型コロナウイルス感染症対策)	市民医療センター	174

※水道事業会計、下水道事業会計及び病院事業会計は、地方公営企業法を適用していることから、参考として掲載するものです。

一 般 会 計

令和4年度所沢市一般会計補正状況一覧表

単位:千円

区 分	議決(承認)年月日	当初予算額及び 補正前の額	補 正 額	計
当 初 予 算 令和4年第1回定例会	令和4年3月25日	110,330,000	—	110,330,000
補正予算第1号 令和4年第1回定例会	令和4年3月25日	110,330,000	△ 791,524	109,538,476
補正予算第2号 令和4年第2回定例会	令和4年6月7日	109,538,476	448,992	109,987,468
補正予算第3号 令和4年第2回定例会	令和4年6月29日	109,987,468	1,470,742	111,458,210
補正予算第4号 令和4年第2回定例会	令和4年6月29日	111,458,210	1,542,823	113,001,033
補正予算第5号 令和4年第3回定例会	令和4年9月14日	113,001,033	854,263	113,855,296
補正予算第6号 令和4年第1回臨時会	令和4年10月6日	113,855,296	3,098,873	116,954,169
補正予算第7号 令和4年第4回定例会	令和4年12月15日	116,954,169	6,769,456	123,723,625
補正予算第8号 令和5年第1回臨時会	令和5年2月8日	123,723,625	7,937	123,731,562
補正予算第9号 令和5年第1回定例会	令和5年2月22日	123,731,562	△ 48,175	123,683,387
補正予算第10号 令和5年第1回定例会	令和5年3月23日	123,683,387	1,535,801	125,219,188
合 計		—	14,889,188	125,219,188

令和4年度所沢市一般会計歳入歳出決算表

(1) 歳入

区 分 款 別	当初予算額	補正予算額	前 年 度 か ら の 繰 越 額	予算現額	収入済額	予算現額に 対 する 増 減	予算現額に 対 する 収入比率
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	%
1 市税	52,508,806	0	0	52,508,806	54,972,793	2,463,987	104.7
2 地方譲与税	637,000	2,000	0	639,000	613,662	△ 25,338	96.0
3 利子割交付金	32,000	0	0	32,000	22,014	△ 9,986	68.8
4 配当割交付金	245,000	0	0	245,000	316,968	71,968	129.4
5 株式等譲渡所得割交付金	426,000	0	0	426,000	246,759	△ 179,241	57.9
6 法人事業税交付金	604,000	0	0	604,000	510,595	△ 93,405	84.5
7 地方消費税交付金	7,400,000	0	0	7,400,000	7,727,613	327,613	104.4
8 ゴルフ場利用税交付金	20,000	0	0	20,000	23,831	3,831	119.2
9 環境性能割交付金	124,000	0	0	124,000	103,303	△ 20,697	83.3
10 国有提供施設等所在市町村助成交付金等	446,600	0	0	446,600	454,783	8,183	101.8
11 地方特例交付金	335,000	2,607	0	337,607	407,550	69,943	120.7
12 地方交付税	1,820,000	1,071,856	0	2,891,856	3,048,138	156,282	105.4
13 交通安全対策特別交付金	39,000	0	0	39,000	33,586	△ 5,414	86.1
14 分担金及び負担金	605,761	0	0	605,761	595,527	△ 10,234	98.3
15 使用料及び手数料	1,466,579	△ 26,980	0	1,439,599	1,364,997	△ 74,602	94.8
16 国庫支出金	21,426,337	7,718,277	2,026,240	31,170,854	28,523,112	△ 2,647,742	91.5
17 県支出金	7,898,162	108,181	24,687	8,031,030	7,595,462	△ 435,568	94.6
18 財産収入	194,442	0	0	194,442	188,487	△ 5,955	96.9
19 寄附金	10	11,614	0	11,624	23,541	11,917	202.5
20 繰入金	6,086,947	△ 18,465	0	6,068,482	6,060,677	△ 7,805	99.9
21 繰越金	1,000,000	6,588,396	341,162	7,929,558	7,929,557	△ 1	100.0
22 諸収入	1,255,256	418,083	24,484	1,697,823	1,834,129	136,306	108.0
23 市債	5,759,100	△ 986,381	842,200	5,614,919	4,126,219	△ 1,488,700	73.5
歳 入 合 計	110,330,000	14,889,188	3,258,773	128,477,961	126,723,303	△ 1,754,658	98.6

(2) 歳 出

区 分 款 別	当初予算額	補正予算額	前 年 度 か ら の 繰 越 額	予 備 費 充 用 額	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度への 繰 越 額	不 用 額	予算現額に 対 する 支 出 比 率
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	%
1 議会費	570,462	4,152	0	0	574,614	557,428	0	17,186	97.0
2 総務費	9,958,062	5,358,317	140,931	174	15,457,484	15,053,196	0	404,288	97.4
3 民生費	53,464,741	5,765,100	1,806,081	0	61,035,922	55,131,855	513,716	5,390,351	90.3
4 衛生費	12,625,399	2,184,087	67,404	6,979	14,883,869	12,447,125	192,605	2,244,139	83.6
5 労働費	84,355	5,128	0	0	89,483	84,699	0	4,784	94.7
6 農林水産業費	219,418	198,824	240	0	418,482	263,324	0	155,158	62.9
7 商工費	689,263	104,759	0	0	794,022	717,198	0	76,824	90.3
8 土木費	10,055,959	△ 28,491	434,793	0	10,462,261	9,822,302	223,031	416,928	93.9
9 消防費	4,121,903	1,151	0	0	4,123,054	4,099,524	0	23,530	99.4
10 教育費	10,952,534	1,326,258	809,324	0	13,088,116	10,777,006	1,567,301	743,809	82.3
11 災害復旧費	4	0	0	0	4	0	0	4	0.0
12 公債費	7,517,900	△ 30,097	0	0	7,487,803	7,485,332	0	2,471	100.0
13 予備費	70,000	0	0	△ 7,153	62,847	0	0	62,847	0.0
歳 出 合 計	110,330,000	14,889,188	3,258,773	0	128,477,961	116,438,989	2,496,653	9,542,319	90.6

(3) 性質別決算額

区 分	決 算 額	特 定 財 源			一 般 財 源	決 算 額 構 成 比
		国県支出金	地 方 債	そ の 他		
	千円	千円	千円	千円	千円	%
1 人件費	17,854,720	812,189	0	425,129	16,617,402	15.3
2 物件費	19,396,697	4,226,055	6,900	1,630,572	13,533,170	16.7
3 維持補修費	1,290,051	244	0	59,486	1,230,321	1.1
4 扶助費	33,310,487	24,289,861	0	146,947	8,873,679	28.6
5 補助費等	16,190,934	1,199,844	0	562,638	14,428,452	13.9
6 普通建設事業費	7,334,000	649,444	2,881,700	1,487,855	2,315,001	6.3
7 災害復旧費	0	0	0	0	0	0.0
8 公債費	7,485,332	0	0	7	7,485,325	6.4
9 積立金	6,153,773	0	0	185,559	5,968,214	5.3
10 投資及び出資金	0	0	0	0	0	0.0
11 貸付金	0	0	0	0	0	0.0
12 繰出金	7,422,995	1,681,577	0	0	5,741,418	6.4
歳 出 合 計	116,438,989	32,859,214	2,888,600	4,498,193	76,192,982	100.0

所沢市一般会計決算前年度比較

(1) 歳入

款 別	令 和 4 年 度		令 和 3 年 度		比 較 増 減	増 減 率
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比		
	千円	%	千円	%	千円	%
1 市税	54,972,793	43.4	53,459,944	42.6	1,512,849	2.8
2 地方譲与税	613,662	0.5	613,875	0.5	△ 213	△ 0.0
3 利子割交付金	22,014	0.0	35,708	0.0	△ 13,694	△ 38.3
4 配当割交付金	316,968	0.2	349,764	0.3	△ 32,796	△ 9.4
5 株式等譲渡所得割交付金	246,759	0.2	414,904	0.3	△ 168,145	△ 40.5
6 法人事業税交付金	510,595	0.4	464,043	0.4	46,552	10.0
7 地方消費税交付金	7,727,613	6.1	7,372,467	5.9	355,146	4.8
8 ゴルフ場利用税交付金	23,831	0.0	21,678	0.0	2,153	9.9
9 環境性能割交付金	103,303	0.1	79,509	0.1	23,794	29.9
10 国有提供施設等所在市町村助成交付金等	454,783	0.4	447,628	0.4	7,155	1.6
11 地方特例交付金	407,550	0.3	694,372	0.5	△ 286,822	△ 41.3
12 地方交付税	3,048,138	2.4	3,725,959	3.0	△ 677,821	△ 18.2
13 交通安全対策特別交付金	33,586	0.0	38,452	0.0	△ 4,866	△ 12.7
14 分担金及び負担金	595,527	0.5	566,738	0.4	28,789	5.1
15 使用料及び手数料	1,364,997	1.1	1,325,696	1.1	39,301	3.0
16 国庫支出金	28,523,112	22.5	30,265,209	24.1	△ 1,742,097	△ 5.8
17 県支出金	7,595,462	6.0	7,075,761	5.6	519,701	7.3
18 財産収入	188,487	0.1	215,347	0.2	△ 26,860	△ 12.5
19 寄附金	23,541	0.0	42,920	0.0	△ 19,379	△ 45.2
20 繰入金	6,060,677	4.8	3,636,968	2.9	2,423,709	66.6
21 繰越金	7,929,557	6.3	6,064,342	4.8	1,865,215	30.8
22 諸収入	1,834,129	1.4	1,796,412	1.4	37,717	2.1
23 市債	4,126,219	3.3	6,883,561	5.5	△ 2,757,342	△ 40.1
歳 入 合 計	126,723,303	100.0	125,591,257	100.0	1,132,046	0.9

(2) 歳出

区 分 款 別	令 和 4 年 度		令 和 3 年 度		比 較 増 減	増 減 率
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比		
	千円	%	千円	%	千円	%
1 議会費	557,428	0.5	543,473	0.5	13,955	2.6
2 総務費	15,053,196	12.9	14,313,485	12.2	739,711	5.2
3 民生費	55,131,855	47.4	56,214,853	47.8	△ 1,082,998	△ 1.9
4 衛生費	12,447,125	10.7	12,886,061	10.9	△ 438,936	△ 3.4
5 労働費	84,699	0.1	120,285	0.1	△ 35,586	△ 29.6
6 農林水産業費	263,324	0.2	199,408	0.2	63,916	32.1
7 商工費	717,198	0.6	1,544,014	1.3	△ 826,816	△ 53.5
8 土木費	9,822,302	8.4	9,850,556	8.4	△ 28,254	△ 0.3
9 消防費	4,099,524	3.5	4,059,936	3.4	39,588	1.0
10 教育費	10,777,006	9.3	10,420,950	8.8	356,056	3.4
11 災害復旧費	0	0.0	0	0.0	0	-
12 公債費	7,485,332	6.4	7,508,679	6.4	△ 23,347	△ 0.3
13 予備費	0	0.0	0	0.0	0	-
歳出合計	116,438,989	100.0	117,661,700	100.0	△ 1,222,711	△ 1.0

(3) 性質別決算額

区 分	令 和 4 年 度		令 和 3 年 度		比 較 増 減	増 減 率
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比		
	千円	%	千円	%	千円	%
1 人件費	17,854,720	15.3	17,844,072	15.2	10,648	0.1
2 物件費	19,396,697	16.7	18,285,958	15.5	1,110,739	6.1
3 維持補修費	1,290,051	1.1	1,119,508	0.9	170,543	15.2
4 扶助費	33,310,487	28.6	37,078,226	31.5	△ 3,767,739	△ 10.2
5 補助費等	16,190,934	13.9	14,417,185	12.3	1,773,749	12.3
6 普通建設事業費	7,334,000	6.3	7,434,837	6.3	△ 100,837	△ 1.4
7 災害復旧費	0	0.0	0	0.0	0	-
8 公債費	7,485,332	6.4	7,508,679	6.4	△ 23,347	△ 0.3
9 積立金	6,153,773	5.3	6,912,711	5.9	△ 758,938	△ 11.0
10 投資及び出資金	0	0.0	0	0.0	0	-
11 貸付金	0	0.0	0	0.0	0	-
12 繰出金	7,422,995	6.4	7,060,524	6.0	362,471	5.1
歳 出 合 計	116,438,989	100.0	117,661,700	100.0	△ 1,222,711	△ 1.0

一 般 会 計

- (1) 令和4年度一般会計当初予算は、1,103億3,000万円を計上し、その後の補正において148億8,918万8千円の増額を行い、最終予算額は、1,252億1,918万8千円となった。

補正の主な内容としては、「住民税非課税世帯等価格高騰緊急支援給付金支給事業」や「子育て家庭応援事業」などが挙げられる。

なお、前年度からの繰越額を加えた予算現額については、1,284億7,796万1千円となった。

- (2) 令和4年度一般会計決算は、収入済額が1,267億2,330万3千円となり、前年度比0.9%、11億3,204万6千円の増となった。

歳入の主なものは、市税549億7,279万3千円（構成比43.4%）、国庫支出金285億2,311万2千円（構成比22.5%）などで、予算現額に対する収入割合は98.6%となった。

このうち、市税収入は、前年度比2.8%、15億1,284万9千円の増となった。

次に、国庫支出金は、前年度比△5.8%、17億4,209万7千円の減となった。主な要因としては、前年度にあった子育て世帯等臨時特別支援事業費補助金の減が挙げられる。

一方、支出済額は、1,164億3,898万9千円、前年度比△1.0%、12億2,271万1千円の減となった。

目的別の歳出の主なものは、民生費551億3,185万5千円（構成比47.4%）、総務費150億5,319万6千円（構成比12.9%）、衛生費124億4,712万5千円（構成比10.7%）等で執行率は90.6%となった。

なお、令和4年度も前年度と同様、民生費が歳出の最も多くを占めているが、前年度比△1.9%、10億8,299万8千円の減となった。これは、前年度にあった子育て世帯等臨時特別給付金支給事業の減などによるものである。

総務費では、前年度比5.2%、7億3,971万1千円の増となった。

これは、市庁舎施設整備事業（空調・給水設備改修設計業務委託）などの増によるものである。

衛生費では、前年度比△3.4%、4億3,893万6千円の減となった。主な要因としては、新型コロナウイルスワクチン接種事業の減が挙げられる。

参考として、性質別の歳出は扶助費 333億1,048万7千円（構成比 28.6%）、物件費 193億9,669万7千円（構成比 16.7%）、人件費 178億5,472万円（構成比 15.3%）等となった。

この結果、令和4年度の純剰余金は、歳入歳出差引額 102億8,431万4千円から、翌年度への繰越財源 2億8,808万円を差し引いた 99億9,623万4千円となった。

- (3) 経常収支比率は前年度と比較し、2.7ポイント増加し 92.7%に、財政力指数は前年度と比較し、0.009ポイント減少し 0.949 となった。

秘 書 室

- (1) 市長及び副市長の業務の円滑な遂行のために、通年で秘書業務を行った。
 - ① 交際費の支出について、引き続き適正な執行と支出の節減に努めるとともに、市ホームページに交際費の支出状況を掲載した。
 - ② 市長の行事記録について、市ホームページにフォトページを掲載したり、市長メッセージを随時更新したりするなど、情報の積極的な公開を図った。
- (2) 栄典事務について、所沢市表彰のほか、春秋叙勲及び紺綬褒章並びに埼玉県表彰等、国や県の表彰に関する事務を行った。
 - ① 所沢市表彰式は、令和4年11月13日に市役所大会議室で開催し、市勢振興への貢献に対する感謝の意を表すものとして、功績の顕著であった功労表彰57名、善行表彰24組の表彰を行った。
 - ② 叙勲候補者の内申や春秋叙勲潜在候補者の調査、埼玉県表彰候補者の推薦等を適切に執行した。
- (3) 「所沢市新春のつどい」について、令和5年1月13日に所沢市民文化センターにおいて、飲食を伴わない形式で開催した（参加者688名）。また、市長挨拶をホームページ（所沢市公式YouTubeチャンネル）に掲載した。

危 機 管 理 室

- (1) 防災行政無線整備・管理事業として、災害時に備え、固定系防災行政無線子局を新たに 3 基設置し、また既存の防災行政無線の点検を実施した。
- (2) 防災倉庫等整備・管理事業として、新所沢まちづくりセンターに防災備蓄倉庫を設置した。
- (3) 所沢市地域防災計画改定事業として、所沢市地域防災計画の全面改定作業を実施した。
- (4) 避難行動要支援者支援システム更新事業として、システム機器のリース契約満了に伴いシステム更新を実施した。
- (5) 避難行動要支援者支援事業として、平常時から避難行動要支援者の情報を避難支援関係者に提供することに同意を得た方の名簿について、自治会・町内会長、民生委員に配布した。
- (6) 所沢市総合防災訓練について、新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮しながら、災害対策本部設置訓練、現地災害対策本部設置訓練、指定避難場所参集訓練、各地区自主防災活動訓練（市内 11 地区 39 会場）、関係機関等との連携訓練（大規模訓練）を令和 4 年 9 月 3 日（土）に実施し、計 37,730 人が参加した。
- (7) 消防車両更新整備事業として、消防団第 7 分団の消防ポンプ車 1 台を購入した。
- (8) 消防団第 7 分団詰所整備事業として、詰所の建設を行った。
- (9) 新型コロナウイルス感染症における自宅療養者食糧支援事業として、自宅療養者に対し、食糧の支援を行った。

事務事業名 新型コロナウイルス感染症における自宅療養者食糧支援事業	予算現額	992,000 円
	決算額	991,778 円
所 管 危機管理室	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 4 項 1 目 2 説明 02 感染症予防費	不用額	222 円
事業概要 (R4-2 議案第 40 号 P.16)	前年度決算額	—
<p><事業の目的・内容></p> <p>新型コロナウイルス感染症対策の一環で、埼玉県が令和 2 年 11 月より配食サービスを開始したが、配食されるまでに日数を要していたことから、この間を市が補完する形で令和 3 年 9 月から災害対策用備蓄品（アルファ米等）と所沢市社会福祉協議会からの提供品により食糧支援を行った。</p> <p>令和 4 年度においても、感染者数が減少せず、備蓄品の必要数が不足したことから、新たに支援用食糧の購入を行うものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・期間：令和 4 年 7 月 1 日～12 月 14 日 ・食糧支援購入品 <ul style="list-style-type: none"> 主食 5,000 食（パックご飯） 副食 5,000 食（レトルト食品） 麺類 4,000 食（即席麺） <p>なお、上記の購入品には予備費による購入分を含む。</p>		

経 営 企 画 部

1 企画総務課

- (1) 平和推進事業として、平和の語り部を小学校等へ派遣するとともに、市役所及びまちづくりセンターにおいて、平和祈念資料展を開催した。また、3年ぶりに平和大使と共に、広島平和記念式典に参加した。
- (2) 男女共同参画事業では、DV被害者支援の総合窓口である配偶者暴力相談支援センター事業を開始し、被害者への支援強化を図った。
また、LGBT等性的少数者が社会的配慮を受けやすくするための「パートナーシップ・ファミリーシップ制度」について、埼玉県西部地域まちづくり協議会（ダイアプラン）で連携協定を締結し、利便性の向上を図った。
- (3) 男女共同参画推進センターふらっとでは、各種講座や相談事業、ふらっと祭り、女性に対する暴力をなくす運動（パープルリボンキャンペーン）、新規事業として「みんなの子育てフォトコンテスト」等を実施するとともに、デートDVとLGBT等についての啓発パンフレットと男女共同参画情報誌「SUN」の発行を行った。
- (4) 人権啓発推進事業では、「性の多様性」、「部落差別」の各テーマについて、市職員及び企業向け研修会を実施した。
- (5) 国際交流事業では、イタリア共和国・ティエーネ市を訪問し、今後、文化・芸術をはじめ様々な分野で継続的に交流していくことで正式に合意した。
また、米国・ディケイター市との姉妹都市締結55周年を記念する事業として、代表訪問団を派遣した。
- (6) 基地対策では、東西連絡道路開通後の新たな返還運動方針について、所沢市基地対策協議会で協議、決定し、国に対し要望活動を行った。

2 経営企画課

- (1) COOL JAPAN FOREST 構想推進事業については、（仮称）開智所沢小

学校・中等教育学校の令和 6 年 4 月開校に向け、開発の相談や自治会との情報交換等を行った。また、株式会社 KADOKAWA と庁内各課との連携事業の調整を図った。

(2) 地方創生の取組では、市政への e スポーツ活用可能性を研究するため、市役所 1 階市民ホールで、e スポーツのパネル展示及び小学生向けの体験会を行った。

(3) 公民連携の推進では、11 月に国から認定を受けた地域再生計画に基づき、本市の取組に賛同する企業 2 社から、企業版ふるさと納税制度を活用した寄附を受けた。

(4) 公共施設マネジメントについては、長寿命化改修の検討や、各施設の日常点検、公共施設マネジメントシステムを用いた情報管理等を実施し、「所沢市公共施設長寿命化計画」の推進を図った。

併せて、長寿命化改修を直近で予定している市立小学校 3 校に対し、建物のコンクリート強度等を把握するための調査を実施し、長寿命化改修の実施に支障がないことを確認した。

(5) 市民参加の取組では、市長と職員が直接市政を伝える場として、「市の仕事報告会」を令和 4 年 5 月と 7 月に各 1 回開催した。

(6) 行政改革関連事業については、「所沢市行政経営のための職員行動ガイドライン」に基づく推進体制として、次長級職員で構成する事務改善委員会をリーダーとし、「一人一改善」、「職員提案」等の取組を実施した。

あわせて、取り組まれた改革改善事例を広く職員に周知するため、「有言実行発表会」を開催するとともに、効率的に働くための具体的な方法を集約した「業務改善メソッド」を作成し、庁内に発信した。

(7) マイナンバーカードの普及を図るため国が実施するマイナポイント事業については、マイナポイント第 2 弾の開始に合わせて、本庁舎低層棟 2 階（道路建設課前踊り場スペース）に特設窓口を設置して対応した。その後、設定支援を希望する利用者が増加したため、10 月 28 日から高層棟 8 階ロビーに特設窓口を移設し、自身での申


込手続が困難な市民のための支援体制を拡充した。

3 広報課

- (1) 広報紙発行事業では、引き続き紙面の充実に努めた結果、公益社団法人日本広報協会が毎年行っている全国広報コンクール埼玉県審査において、「広報ところざわ」令和4年1月号が「広報写真・組み写真部」で1席を受賞した。
- (2) 市ホームページにおいては、埼玉県のセキュリティアクラウド切替えへの対応を行い、安定した運用の維持に努めた。
- (3) ところざわほっとメールや YouTube、Facebook 等を活用した情報発信を引き続き行うとともに、テレ玉や J:COM のテレビ番組にも積極的に出演し、市の魅力を P R した。

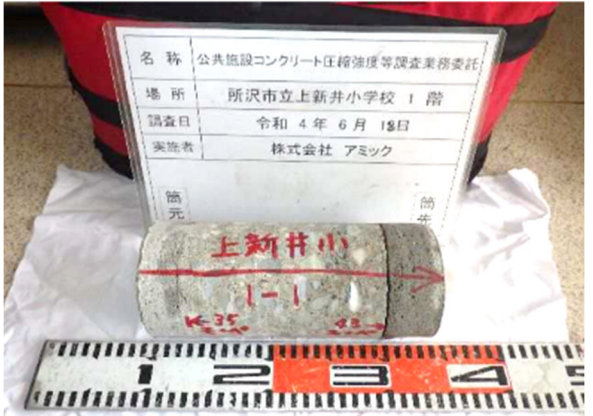
4 デジタル戦略課

- (1) 全庁ネットワーク及び統合仮想化基盤等の安定的な稼働に努めるとともに、情報セキュリティ監査を実施した。
- (2) 情報政策では、「所沢市 D X 推進基本方針」に基づき、組織横断的に D X を推進した。
- (3) 子育て・介護分野の主要手続について、マイナポータルからマイナンバーカードを用いてオンライン手続ができる体制を整備した。
- (4) A I が音声データをテキスト化し、議事録作成事務等の効率化を図る「A I 音声テキスト化サービス」を導入した。
- (5) 全庁ネットワーク及び統合仮想化基盤等の運用管理については、職員がインターネットを介した業務を行う際に利用する「インターネット閲覧システム」及び基幹系ネットワークに接続する際に本人認証を行う「二要素認証システム」を更新した。
- (6) データ容量の大きなファイルを相手方とやり取りする「大容量ファイル送受信システム」について、新たなシステム（サービス）を導入した。

事務事業名 イタリア都市文化交流推進事業		予算現額	2,908,000 円																												
		決算額	2,480,192 円																												
所 管 秘書室、経営企画部企画総務課		翌年度繰越額	0 円																												
予算区分	款 項 目 説明 (下記のとおり)	不用額	427,808 円																												
事業概要 (R4-1 議案第 11~20 号 P.50)		前年度決算額	—																												
<p><事業の目的・内容></p> <p>航空にゆかりのあるティエーネ市と都市文化交流を進めることにより、本市における国際理解や多文化共生の推進を図っていくものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問先： イタリア共和国ヴェネト州ヴィチエンツァ県ティエーネ市 ・期 間： 令和 4 年 6 月 30 日~7 月 6 日 ・人 員： 市長及び企画総務課職員 3 名 計 4 名 ・成 果： ティエーネ市長と様々な分野で交流していく趣旨の覚書を取り交わした。また、地元企業や経済団体等の関係機関を訪問したことで、今後の交流の可能性が広がった。 <p>帰国後も市民文化センターミュージズでティエーネ市との交流を紹介する講演会を実施するなど、広く市民に周知した（来場者 103 名）。</p>																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>所属</th> <th>款</th> <th>項</th> <th>目</th> <th>説明</th> <th>事業</th> <th>決算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>秘書室</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>02</td> <td>秘書経費</td> <td>559,272</td> </tr> <tr> <td>企画総務課</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>6</td> <td>08</td> <td>国際交流費</td> <td>1,920,920</td> </tr> <tr> <td colspan="6">合計</td> <td>2,480,192</td> </tr> </tbody> </table>				所属	款	項	目	説明	事業	決算額	秘書室	2	1	1	02	秘書経費	559,272	企画総務課	2	1	6	08	国際交流費	1,920,920	合計						2,480,192
所属	款	項	目	説明	事業	決算額																									
秘書室	2	1	1	02	秘書経費	559,272																									
企画総務課	2	1	6	08	国際交流費	1,920,920																									
合計						2,480,192																									
																															
			所沢市長とティエーネ市長																												

事務事業名 ウクライナ避難民支援事業		予算現額	2,251,000 円																								
		決算額	1,580,580 円																								
所 管 経営企画部企画総務課		翌年度繰越額	0 円																								
予算区分	款 2 項 1 目 6 説明 08 国際交流費	不用額	670,420 円																								
事業概要 (R4-2 議案第 38 号 P.5)		前年度決算額	—																								
<p><事業の目的・内容></p> <p>ロシア連邦による軍事侵攻により避難を余儀なくされ、本市で生活することとなったウクライナからの避難民に対して、支援金を給付し、スムーズな生活基盤形成の一助となるよう支援するものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <p>○受入・支援実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4 世帯 5 名のウクライナ避難民を市内に受け入れ、支援金を給付した。 																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>申請世帯</th> <th>一時支援金</th> <th>生活支援金</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 名</td> <td>100,000 円</td> <td>442,320 円(6 か月分)</td> <td>542,320 円</td> </tr> <tr> <td>2 名</td> <td>200,000 円</td> <td>358,080 円(3 か月分)</td> <td>558,080 円</td> </tr> <tr> <td>1 名</td> <td>100,000 円</td> <td>206,460 円(3 か月分)</td> <td>306,460 円</td> </tr> <tr> <td>1 名</td> <td>100,000 円</td> <td>73,720 円(1 か月分)</td> <td>173,720 円</td> </tr> <tr> <td>計 5 名</td> <td>500,000 円</td> <td>1,080,580 円(13 か月分)</td> <td>1,580,580 円</td> </tr> </tbody> </table>				申請世帯	一時支援金	生活支援金	計	1 名	100,000 円	442,320 円(6 か月分)	542,320 円	2 名	200,000 円	358,080 円(3 か月分)	558,080 円	1 名	100,000 円	206,460 円(3 か月分)	306,460 円	1 名	100,000 円	73,720 円(1 か月分)	173,720 円	計 5 名	500,000 円	1,080,580 円(13 か月分)	1,580,580 円
申請世帯	一時支援金	生活支援金	計																								
1 名	100,000 円	442,320 円(6 か月分)	542,320 円																								
2 名	200,000 円	358,080 円(3 か月分)	558,080 円																								
1 名	100,000 円	206,460 円(3 か月分)	306,460 円																								
1 名	100,000 円	73,720 円(1 か月分)	173,720 円																								
計 5 名	500,000 円	1,080,580 円(13 か月分)	1,580,580 円																								
<p>なお、上記の支援金には予備費による執行分を含む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その他、市営住宅の提供や避難民向け情報の提供、受入に係る行政手続の支援を随時行った。 																											

事務事業名 持続可能なまちづくり調査研究事業				予算現額	5,073,000 円																																										
				決算額	2,645,752 円																																										
所管	経営企画部経営企画課、環境クリーン部まちごとエコタウン推進課、街づくり計画部都市計画課、建設部道路建設課			翌年度繰越額	0 円																																										
予算区分	款	項	目	説明 (下記のとおり)	不用額	2,427,248 円																																									
事業概要	(R4-1 議案第 11～20 号 P.52) (R4-3 議案第 53～57 号 P.30)				前年度決算額	—																																									
<p><事業の目的・内容></p> <p>人と環境にやさしい「スーパーブロック」(自動車空間を歩行者空間に置き換える取組)の導入やまちづくりに対する市民参加の仕組みづくりなど、先進的な取組をしているバルセロナ市への視察等を通じて、持続可能なまちづくりに資する政策及び施策の推進を図るものである。</p>																																															
<p><事業の実績・成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問先：スペイン王国バルセロナ市 ・期 間：令和 4 年 11 月 13 日～19 日 ・人 員：職員 6 名 ・成 果：「スーパーブロック」に加え、自転車専用レーンの整備や道路の緑化等による交通部門の脱炭素化、再生可能エネルギー利用促進等の状況を視察することで、脱炭素社会実現に向けた施策や市民合意形成プロセスに関する知見を得た。 																																															
																																															
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>所属</th> <th>款</th> <th>項</th> <th>目</th> <th>説明</th> <th>事業</th> <th>決算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経営企画課</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>6</td> <td>02</td> <td>行政管理費</td> <td>342,689</td> </tr> <tr> <td>まちごとエコタウン推進課</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>01</td> <td>環境総務費</td> <td>1,277,480</td> </tr> <tr> <td>都市計画課</td> <td>8</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>02</td> <td>都市計画事務費</td> <td>685,110</td> </tr> <tr> <td>道路建設課</td> <td>8</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>01</td> <td>道路新設改良等工事費</td> <td>340,473</td> </tr> <tr> <td colspan="6">合計</td> <td>2,645,752</td> </tr> </tbody> </table>				所属	款	項	目	説明	事業	決算額	経営企画課	2	1	6	02	行政管理費	342,689	まちごとエコタウン推進課	4	1	3	01	環境総務費	1,277,480	都市計画課	8	4	1	02	都市計画事務費	685,110	道路建設課	8	2	3	01	道路新設改良等工事費	340,473	合計						2,645,752
所属	款	項	目	説明	事業	決算額																																									
経営企画課	2	1	6	02	行政管理費	342,689																																									
まちごとエコタウン推進課	4	1	3	01	環境総務費	1,277,480																																									
都市計画課	8	4	1	02	都市計画事務費	685,110																																									
道路建設課	8	2	3	01	道路新設改良等工事費	340,473																																									
合計						2,645,752																																									

事務事業名 公共施設コンクリート圧縮強度等調査事業				予算現額	1,159,000 円					
				決算額	957,000 円					
所管	経営企画部経営企画課			翌年度繰越額	0 円					
予算区分	款	2	項	1	目	6	説明	02 行政管理費	不用額	202,000 円
事業概要	(R4-1 議案第 11～20 号 P.54)				前年度決算額	—				
<p><事業の目的・内容></p> <p>所沢市公共施設長寿命化計画において長寿命化改修を予定する施設のうち、安松小学校・上新井小学校・林小学校について、事前に建物のコンクリート圧縮強度等を把握するための調査を実施するものである。</p>										
<p><事業の実績・成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・圧縮強度試験及び中性化進行状態を把握する試験を行い、経年変化に伴うコンクリートの強度及び防錆性の調査を行った結果、改修の実施に問題がないことを確認した。 										
<p>○公共施設コンクリート圧縮強度等調査業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定方法：指名競争入札(4者) ・委託先：株式会社アミック ・委託期間：令和4年5月25日～7月31日 ・委託金額：957,000円 ・内 容：コンクリート圧縮強度等の調査 										
										

事務事業名 AI等技術推進事業	予算現額	6,159,000円
	決算額	5,221,700円
所管 経営企画部デジタル戦略課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 2 項 1 目 1 説明 08 情報化推進費	不用額	937,300円
事業概要 (R4-1 議案第11~20号 P.60)	前年度決算額	—
<p><事業の目的・内容></p> <p>AI-OCR（人工知能を利用した光学式文字読取装置）やRPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）などのAI等の新技術等を活用して職員が行う作業を自動化することにより、業務効率化及び企画立案等の業務に集中できる体制の推進を行うものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・AI-OCR：8所属で活用し、年間380時間の業務時間削減効果が得られた。 ・RPA：6所属で活用し、年間945時間の業務時間削減効果が得られた。 <p>○AI-OCRサービス使用契約</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定方法：随意契約 ・契約先：株式会社日立システムズ 関東甲信越支社営業本部第一営業部 ・使用期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日 ・契約金額：1,188,000円 <p>○RPA使用契約</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定方法：指名競争入札（3者） ・契約先：株式会社日東テクノブレーション ・使用期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日 ・契約金額 3,890,700円 <p>○RPA講習（WinActor 集合研修）業務委託契約</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定方法：随意契約 ・契約先：株式会社日東テクノブレーション ・委託期間：令和4年9月12日 ・委託金額：143,000円 		

事務事業名 大容量ファイル送受信サービス利用事業	予算現額	462,000円
	決算額	271,920円
所管 経営企画部デジタル戦略課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 2 項 1 目 1 説明 08 情報化推進費	不用額	190,080円
事業概要 (R4-4 議案第73~75号 P.12)	前年度決算額	—
<p><事業の目的・内容></p> <p>本事業は、平成29年度から利用してきた埼玉県情報セキュリティクラウド共同運営事業における大容量ファイル送受信サービスが令和5年3月31日で終了することから、新たな大容量ファイル送受信サービスを利用するものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <p>令和5年度使用開始に向け、初期設定作業を実施した。</p> <p>○大容量ファイル送受信サービス調整作業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定方法：指名競争入札（4者） ・契約先：リコージャパン株式会社 マーケティング本部 埼玉支社 公共文教営業部 ・契約期間：令和4年12月26日～令和5年3月31日 ・契約金額：271,920円 		

総 務 部

1 文書行政課

- (1) 総務事務として、次の事務を実施した。
 - ① 市議会に関する事務として、定例会及び臨時会へ計 125 件の議案提出とこれに伴う議案資料作成等を行った。
 - ② 文書管理事務として、ファイリングシステムの維持管理のため、29 所属の巡回点検、令和 2 年度文書 1,692 箱の引継ぎ等を行った。
 - ③ 庁内で共用している大型図面コピー機及び高速カラープリンターの更新を行った。
- (2) 法規事務として、次の事務を実施した。
 - ① 法務推進室において、条例、規則等の立案支援及び審査等を行い、条例及び規則については、新規制定 11 件、一部改正 77 件、廃止 1 件を公布した。
 - ② 顧問弁護士による法律相談を 21 件、任期付職員である法曹有資格職員による法律相談を 248 件実施した。
- (3) 統計事務として、次の事務を実施した。
 - ① 基幹統計調査事務として、就業構造基本調査、住宅・土地統計調査単位区設定及び学校基本調査を実施した。
 - ② 市勢統計として、令和 3 年版所沢市統計書を刊行した。
- (4) 公平委員会事務局事務として、所沢市公平委員会を 7 回開催した。

2 職員課

- (1) 人事院勧告に準じ、若年層の給料月額について、平均改定率 0.3% 引上げを行った。また、勤勉手当の支給月数について、再任用職員以外の正規職員は 0.1 月分、再任用職員は 0.05 月分引上げを行った。
- (2) 職員厚生関係では、職員のメンタルヘルス不調の未然防止と職場環境の改善につなげるため、法に基づくストレスチェックを例年同様 7 月に実施し、2,388 人の職員が受検した。
- (3) 職員の勤怠管理に係る申請・承認・取りまとめ等の事務をシステムで管理する「庶務事務システム」を令和 4 年 6 月から稼働し、事

務の効率化による職員の負担軽減と適切な労務管理による職員の働き方改革の促進を図った。

3 契約課

(1) 工事契約として、年間 95 件、36 億 5,644 万 822 円の契約を締結し、契約手続の透明性等を確保する目的で入札監視委員会を 2 回開催した。

(2) 物品契約として、指名競争入札 91 件、指名見積合せ 21 件、オープンカウンター方式による見積合せ 263 件、1 者特命による見積合せ 91 件、年間 4 億 8,770 万 807 円の入札等事務を行った。

また、令和 5・6 年度の入札参加資格審査受付を実施し、1,732 件の登録事務を行った。

(3) 工事検査において、市が発注した建設工事及び施設修繕のうち、請負代金額が 500 万円以上の工事等について、厳正かつ公正を旨として、完成検査及び中間検査等を含め、合計 292 件の検査を執行した。

財 務 部

1 財政課

- (1) 新型コロナウイルス感染症に係る状況変化やエネルギー、食料品価格等の物価高騰に対し迅速に対応するとともに、令和5年度予算の編成に当たっては、前年度に引き続き一件査定方式を採用し、歳出全般に対して精査を行った。
- (2) 新地方公会計制度に対応した財務諸表の作成や、市民に分かりやすい財政情報の公表に努めた。

2 管財課

- (1) 市庁舎施設整備事業として、空調・給水設備改修設計業務及び令和3年度から令和4年度にかけての自動昇降機改修工事を実施した。
- (2) 市有財産活用事業として、若狭四丁目の市有地を売却し、540万円の売払収入があった。

3 市民税課

- (1) 各税目について関係法令等の遵守に努め、適正かつ公平に課税した。
- (2) 軽自動車税関係手続の電子化に対応するため、基幹システムの改修を行い、市民サービスの向上を図った。
- (3) コロナ禍における感染対策として、マスクの着用や窓口における身体的距離の確保などで、会話が聞き取りづらい環境を改善するため、音声をクリアにする指向性の高い対話支援システムを導入した。

4 資産税課

- (1) 令和6年度の評価替えに向けて、価格調査基準日の令和5年1月1日における標準宅地の不動産鑑定評価を行った。
- (2) 令和3年度に実施した家屋経年異動調査の結果に基づき家屋の一斉調査を行った。

- (3) コロナ禍における感染対策として、マスクの着用や窓口における身体的距離の確保などで、会話が聞き取りづらい環境を改善するため、音声をクリアにする指向性の高い対話支援システムを導入した。

5 収税課

- (1) 所沢市収納率向上計画に基づき、未整理事案の解決を中心とした滞納整理を行った。

市税（国民健康保険税を除く。）収入は、調定額 558 億 638 万 4 千円に対し、収入済額 549 億 7,279 万 3 千円、収納率は 98.5%であった。

- (2) コロナ禍における感染対策として、マスクの着用や窓口における身体的距離の確保などで、会話が聞き取りづらい環境を改善するため、音声をクリアにする指向性の高い対話支援システムを導入した。

事務事業名 市庁舎施設整備事業（空調・給水設備改修設計業務委託）	予算現額	127,600,000円
	決算額	125,400,000円
所管 財務部管財課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 2 項 1 目 5 説明 01 財産維持管理費	不用額	2,200,000円
事業概要 (R4-1 議案第11～20号 P.63)	前年度決算額	—
<p><事業の目的・内容></p> <p>本事業は、老朽化する施設について、「所沢市公共施設長寿命化計画」に基づき、施設の延命化を図るため改修対象設備の設計業務を行うものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <p>○空調・給水設備改修設計業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定方法：指名競争入札（10者） ・委託先：株式会社日建設計 ・委託期間：令和4年4月28日～令和5年3月31日 ・委託金額：125,400,000円 ・内容：以下設備の改修設計を行った。 空気熱源HPチリングユニット、冷却塔、エアーハンドリングユニット、レターンファン、全熱交換器、空調監視盤／中継盤、ファンコイルユニット、揚水／冷却水／冷温水／加圧ポンプ、受水槽／高置水槽 		

事務事業名 公務におけるシェアサイクルの活用実証実験事業	予算現額	1,471,000円
	決算額	65,672円
所管 財務部管財課、産業経済部商業観光課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 2 項 1 目 5 説明 02 自動車管理費	不用額	1,405,328円
事業概要 (R4-1 議案第11～20号 P.64)	前年度決算額	—

<事業の目的・内容>

本事業は、ゼロカーボンシティ実現に向けた取組の一環として、公用車に替わるシェアサイクル活用の可能性について実証実験を実施し、検証を行うものである。

<事業の実績・成果>

- ・対象期間：令和4年8月～令和5年3月
- ・利用申請所属数：30所属
- ・ICカード発行枚数：43枚
- ・利用回数：126回
- ・走行距離累計：375.2km

事務事業名 市庁舎施設整備事業（自動昇降機改修工事）	予算現額	254,210,000円
	決算額	242,000,000円
所管 財務部管財課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 2 項 1 目 5 説明 01 財産維持管理費	不用額	12,210,000円
事業概要 (R4-1 議案第11～20号 P.65)	前年度決算額	—
<p><事業の目的・内容></p> <p>本事業は、老朽化する施設について、「所沢市公共施設長寿命化計画」に基づいて計画的に整備し、施設の安全上適正な管理を図るものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <p>○所沢市庁舎自動昇降機改修工事(令和3・4年度継続事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定方法：一般競争入札(1者) ・契約先：三菱電機ビルソリューションズ株式会社 関越支社 ・工期：令和3年6月30日～令和5年1月31日 ・契約金額：242,000,000円 ・内容：エレベーター改修6基（高層棟4基・低層棟2基） 中央制御装置改修工事一式 		



事務事業名 低公害車導入事業	予算現額	8,929,000円
	決算額	8,794,340円
所管 財務部管財課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 2 項 1 目 5 説明 02 自動車管理費	不用額	134,660円
事業概要 (R4-1 議案第11～20号 P.66)	前年度決算額	7,472,344円
<p><事業の目的・内容></p> <p>本事業は、所沢市マチごとエコタウン推進計画及び埼玉県地球温暖化対策推進条例に基づき、地球温暖化緩和策を推進するため、ハイブリッド車及び電動アシスト自転車を導入することにより二酸化炭素の排出を削減し、本市が掲げるゼロカーボンシティの実現に寄与するものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・共用車 (小型貨物バン) トヨタ プロボックス ハイブリッド 5台 ・共用自転車 電動アシスト自転車 パナソニックビビ DX26 インチ 5台 <p>○令和4年度末現在車両台数 136台（自動車管理費）うち低公害車134台（低公害車導入率 98.5%）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラグインハイブリッド車 2台 ・ハイブリッド車 12台 ・クリーンディーゼル車 4台 ・電気自動車 1台 		

事務事業名 対話支援システム導入事業		予算現額	12,952,000円
		決算額	12,251,800円
所管	財務部市民税課・資産税課・収税課、市民部地域づくり推進課・市民相談課・市民課、福祉部障害福祉課・高齢者支援課、こども未来部こども福祉課、健康推進部健康管理課	翌年度繰越額	0円
予算区分	款 項 目 説明 (下記のとおり)	不用額	700,200円
事業概要	(R4-3 議案第53～57号 P.13)	前年度決算額	—

<事業の目的・内容>

コロナ禍において、窓口等における市民との円滑なコミュニケーションを支援するため、音声をクリアにする指向性の高い対話支援システムを導入し、市民サービスの向上につなげるものである。

<事業の実績・成果>

マスクの着用やパーテーション設置に関わらず、職員と市民の会話がスムーズになった。

- ・設置機器：周波数変調方式窓口スピーカーシステム（スピーカー、ショットガンマイク、ACアダプタ等）
- ・設置月：令和4年12月
- ・設置数：64セット

設置所属	款	項	目	説明	事業	決算額
市民税課	2	2	2	01	市民税等賦課事務費	381,150円
資産税課	2	2	2	02	資産税賦課事務費	381,150円
収税課	2	2	2	03	徴収事務費	381,150円
地域づくり推進課 (狭山ヶ丘コミュニティセンター)	2	1	8	04	狭山ヶ丘コミュニティセンター費	381,150円
市民相談課	2	1	13	01	市民相談費	664,290円
市民課	2	3	1	02	戸籍住民基本台帳事務費	4,573,800円
市民課(所沢市パスポートセンター)	2	3	1	03	旅券事務費	381,150円
市民課(国民年金)	3	1	3	02	国民年金事務費	1,143,450円
障害福祉課	3	1	1	07	障害福祉総務費	534,160円
高齢者支援課	3	1	2	04	老人援護対策費	381,150円
こども福祉課	3	2	1	10	障害児福祉費	381,150円
健康管理課	4	1	1	06	保健センター施設管理費	2,668,050円
合計						12,251,800円

市 民 部

1 地域づくり推進課

- (1) 自治会・町内会の支援として、市政運営への協力に対し報償金を交付するとともに、地域集会施設の修繕、維持管理に係る費用の助成等により、自治会等の活動拠点の整備を行った。
- (2) 「コミュニティづくりの推進」を目的とする所沢市民フェスティバルは、新型コロナウイルスの影響により3年ぶりの開催となった。令和4年10月29日（土）・30日（日）の両日、所沢航空記念公園を会場として行われ、約30万人の来場があった。実行委員会では、新型コロナウイルス感染症対策を含め安心・安全なイベントとなるよう慎重に検討が行われ、市は事務局として円滑な運営となるようその支援を行った。
- (3) 狭山ヶ丘コミュニティセンターでは、窓口において会話が聞き取りづらい環境を改善するため、音声をクリアにする指向性の高い対話支援システムを導入した。
- (4) 市民活動支援の拠点である市民活動支援センターでは、登録団体への支援及び市民活動の普及啓発を目的として、市民活動支援講座、市民活動支援センターまつり及び市民活動見本市の開催のほか、市民活動支援システム「トころんWeb」を活用した情報発信に努めた。
- (5) 中富南コミュニティセンターでは、受水槽給水加圧ポンプ修繕を実施し、施設の環境整備に努めた。
- (6) 椿峰コミュニティ会館別館では、ナラ枯れにより枯死した樹木の伐採を実施し、施設の環境整備に努めた。

2 文化芸術振興課

- (1) 街を歩くとふと音楽が聞こえてくる「音楽のあるまち」として、「まちなかコンサート」や「音まちコンサート」を開催するとともに、引き続きグランエミオ所沢にストリートピアノを設置し、幅広

い年代の方々の演奏や鑑賞に供した。なお、1日当たりの平均演奏者数は78人であった。

- (2) 所沢ゆかりの若手作家の作品発表の機会及び市民が気軽にアートに触れる機会を提供するため、令和5年1月14日（土）から29日（日）まで現代美術展「ところざわ アートのミライ」を所沢駅周辺3会場で開催し、3,141人の来場があった。
- (3) 令和4年4月に予定していた第37回市民文化フェアについては、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。
- (4) 所沢駅東口市民ギャラリーについては、指定管理者制度による管理を行い、施設利用率は65.5%であった。
- (5) 所沢市民文化センター・ミュージズについては、指定管理者による新たな指定管理期間が開始し、引き続き管理運営を行うとともに、PFI事業者による維持管理を行い、施設利用率は73.3%であった。

また、コロナ禍における原油価格・物価の高騰による影響を大きく受けたため、事業の継続と経営維持を支援し、市民の文化活動等への影響を軽減することを目的に、指定管理者に対し、支援金を交付した。

3 まちづくりセンター

- (1) 地域づくり支援事業として、次の各事項に取り組んだ。
 - ① 各地区における自治連合会等の地域団体の事務局として、各種事業への参画や、地域コミュニティ活動の支援を行った。
 - ② 地域住民の相談窓口として、関係各課と調整を図りながら、多様な要望・相談等の処理や地域に関する情報共有の促進を行った。
 - ③ 市の基本計画、市政に関する情報及び地域情報を提供した。
 - ④ 地域づくり協議会に交付金を交付し、その活動を支援した。
 - ⑤ 地域ネットワークの強化を図る取組を支援した。
 - ⑥ 所沢市総合防災訓練の会場の円滑な運営を支援した。
- (2) 公民館に係る事業として、次の各事項に取り組んだ。
 - ① 市民等と協働で企画・実施した事業を含め、市民を対象にした

学級・講座、行事等の事業を合計 295 件実施した。

② 「公民館（まちづくりセンター）だより」などの各種印刷物を発行した。

③ 市内全 11 地区で、二十歳のつどいを開催した（令和 5 年 1 月 9 日）。

④ 公民館施設提供事業として、各種学習活動の場を提供し、公民館全館で合計 52,889 件、延べ 527,434 人の利用があった。

(3) 地域に最も近い行政サービスの拠点として、転居等の届出の受付、住民票等の各種証明書の発行をはじめ、市の各部署から依頼のあった窓口事務を行った。まちづくりセンターでの証明発行件数（市民課小手指サービスコーナー取扱分を含む有料交付分）は、合計 105,359 件で、市全体の件数の 39.12%であった。

(4) 高齢者をはじめとするインターネット端末の操作が困難な方を対象に、新型コロナウイルスワクチン Web 予約の支援を実施した。

(5) SNS 情報発信プロジェクトにより、将来の地域の担い手となる若い市民に自分の住む地域に愛着を持ってもらえるよう、市内各地区のおすすめ情報を継続的に発信した。

4 市民相談課

(1) 市民の方の日常生活に生じる諸問題や悩みごとに応じる一般相談、弁護士や税理士等による各種の専門相談を実施し、3,025 件の相談があった。

(2) 広聴業務では、市政への提案制度としての「市長への手紙」を 495 件、各種団体等からの「陳情書」を 15 件受理したほか、陳情書に基づく「市政懇談会」を 8 回実施した。

(3) 市民保養業務では、協定施設の宿泊料金の優待サービスなどを実施し、338 件の利用があった。

(4) 市政情報センターでは、本市の情報公開制度及び個人情報保護制度の総合窓口として開示請求、個人情報保護制度の見直し等に対応した。公文書公開請求は 159 件、個人情報開示請求は 65 件であった。

(5) 消費生活センターでは、消費生活上の様々な商品やサービスに関

する消費生活相談を実施し、2,358件の相談があった。また、消費者問題に係る講座及び消費生活展を関係機関と連携して開催するなど、消費生活の啓発を図った。

- (6) 窓口において会話が聞き取りづらい環境を改善するため、音声をクリアにする指向性の高い対話支援システムを導入した。

5 市民課

- (1) 各種住民異動届出及び異動に伴う庁内の各種手続について、申請書類をシステム上で作成できるようにすることで、届出に係る1人当たりの所要時間の短縮、記載台の縮小に伴う待合スペース拡充を実現し、密接・密集を回避するとともに、届出人が何度も申請書類に記載する手間を省く、いわゆる「書かない窓口」を実現するためのシステムを構築した。
- (2) 窓口において会話が聞き取りづらい環境を改善するため、音声をクリアにする指向性の高い対話支援システムを導入した。
- (3) 市民生活にとって必要不可欠な施設である所沢市斎場について、コロナ禍における原油価格・物価の高騰による影響を大きく受けたため、同施設の事業の継続と経営維持を支援し、市民生活等への影響を軽減することを目的に、指定管理者に対し支援金を交付した。
- (4) マイナンバーカード交付については、マイナポイントの付与対象となるカードの申請期限の延長や健康保険証との一体化の報道等により申請件数が急増したため、会計年度任用職員の増員、派遣業務委託等によって人員を確保し、交付体制を強化した。

6 防犯交通安全課

- (1) 西所沢駅西口改札口開設事業では、鉄道事業者と協議を行うとともに、駅舎の位置や規模などを検討する基本計画を鉄道事業者に依頼し、作成した。
- (2) 水銀灯の製造・輸入の禁止を踏まえ、消費電力の抑制による二酸化炭素の排出削減及び光熱費等の維持管理費の削減を目的に、市営

自転車駐車場の 14 か所の水銀照明灯や蛍光灯などをLED照明灯に交換した。

- (3) 交通安全運動推進事業及び交通安全教育推進事業では、交通事故の防止に向けて、市民に対して交通ルールの遵守を促すため、啓発活動や交通安全教室等を開催した。
- (4) 所沢市客引き対策事業では、市、地元商店街及び警察が連携し所沢市客引き行為等の禁止に関する条例の周知活動を行うとともに、市職員及び委託事業者警備員が禁止地区内を巡回し、客引き行為等を行う者に対して指導を行った。
- (5) 地域安全活動推進事業では、自主防犯組織の支援として、青色回転灯装着パトロール車や防犯パトロールに必要な資器材の貸出し、防犯指導者養成講座などを行い、防犯のまちづくりの推進に努めた。
- (6) 空き家対策事業では、市民からの連絡により把握した管理不全な空き家について、所沢市空き家等の適正管理に関する条例に基づき、現地確認や所有者調査を行い、積極的に所有者に対し指導改善を促した。

事務事業名 中富南コミュニティセンター受水槽給水加圧ポンプ修繕事業	予算現額	2,530,000 円
	決算額	2,530,000 円
所 管 市民部地域づくり推進課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 2 項 1 目 8 説明 06 中富南コミュニティセンター費	不用額	0 円
事業概要 (R4-3 議案第 53～57 号 P.15)	前年度決算額	—
<p><事業の目的・内容></p> <p>中富南コミュニティセンターの受水槽給水加圧ポンプについて、当該施設及び併設しているひかり児童館に水道水を供給するため必要な設備であることから、交換修繕を実施するものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <p>○中富南コミュニティセンター受水槽給水加圧ポンプ修繕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定方法：指名競争入札（4 者） ・契 約 先：株式会社貫井産業 ・工 期：令和 4 年 10 月 3 日～令和 5 年 3 月 15 日 ・契約金額：2,530,000 円 		

事務事業名 「（仮称）ところざわアートのミライ」開催事業	予算現額	2,570,000 円
	決算額	2,238,761 円
所 管 市民部文化芸術振興課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 2 項 1 目 7 説明 01 文化芸術振興費	不用額	331,239 円
事業概要 (R4-1 議案第 11～20 号 P.71)	前年度決算額	—
<p><事業の目的・内容></p> <p>これから更なる活躍が期待される所沢ゆかりの若手作家を多くの市民に知ってもらうとともに、作品発表の機会をすることで創作活動を支援することを目的に、作品展を開催するものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <p>○現代美術展「ところざわ アートのミライ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会 期：令和 5 年 1 月 14 日（土）～29 日（日） ・会 場：グランエミオ所沢 2F セントラルプラザイベントスペース 所沢駅、所沢駅東口市民ギャラリー ・来 場 者 数：3,141 人（所沢駅来場者を除く。） ・内 容：8 組 11 名による展覧会 ・関連イベント：各会場を巡るスタンプラリー（景品としてところんグッズを配布） 出品作家によるワークショップ（会場：グランエミオ所沢 2F ノースプラザ） ・アンケート結果：満足度：94.9%（「大変よかった」・「よかった」の合計） 		

事務事業名 所沢市民文化センター光熱費等高騰対策支援事業	予算現額	24,227,000円								
	決算額	23,058,000円								
所 管 市民部文化芸術振興課	翌年度繰越額	0円								
予算区分 款 2 項 1 目 7 説明 02 市民文化センター運営費	不用額	1,169,000円								
事業概要 (R5-1 議案第2~8号 P.17)	前年度決算額	—								
<p><事業の目的・内容></p> <p>本事業は、所沢市民文化センターの事業の継続と経営維持を支援し、コロナ禍における原油価格・物価の高騰による市民の文化活動等への影響を軽減することを目的に、運営事業者に対し支援金を交付するものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <p>・支援金額：光熱費等の予算額と年度末見込額（令和4年12月末日時点）の差額の8割の金額</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">年度末見込額</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">86,028,000円</td> </tr> <tr> <td>一) 予算額</td> <td style="text-align: right;">57,206,000円</td> </tr> <tr> <td>差額</td> <td style="text-align: right;">28,822,000円</td> </tr> <tr> <td>差額 × 8割</td> <td style="text-align: right;"><u>23,058,000円</u></td> </tr> </table>			年度末見込額	86,028,000円	一) 予算額	57,206,000円	差額	28,822,000円	差額 × 8割	<u>23,058,000円</u>
年度末見込額	86,028,000円									
一) 予算額	57,206,000円									
差額	28,822,000円									
差額 × 8割	<u>23,058,000円</u>									

事務事業名 住民異動受付支援システム構築事業	予算現額	69,665,000円												
	決算額	63,438,100円												
所 管 市民部市民課	翌年度繰越額	0円												
予算区分 款 2 項 3 目 1 説明 02 戸籍住民基本台帳事務費	不用額	6,226,900円												
事業概要 (R4-3 議案第53~57号 P.16)	前年度決算額	—												
<p><事業の目的・内容></p> <p>各種住民異動届出及び異動に伴う庁内の各種手続について、申請書類をシステム上で作成できるようにすることで、届出に係る1人当たりの所要時間の短縮、記載台縮小に伴う待合スペース拡充を実現し、密接・密集を回避するとともに、届出人が何度も書類に記載する手間を省く、いわゆる「書かない窓口」を実現するためのシステムを構築するものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <p>システム稼働により、記載台の縮小及び待合スペースの拡充並びに届出人の申請書類記載の簡便化ができた。</p> <p>○導入機器：端末10台、タブレット30台、スキャナ46台、プリンター36台（購入金額：24,060,300円）</p> <table style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">○住民異動受付支援システム構築委託</td> <td style="width: 50%;">○住民異動受付支援システム機器等設定委託</td> </tr> <tr> <td>・選定方法：随意契約</td> <td>・選定方法：随意契約</td> </tr> <tr> <td>・委託先：富士フイルムシステムサービス(株) 公共事業本部首都圏支店</td> <td>・委託先：富士通 Japan(株)埼玉支社</td> </tr> <tr> <td>・委託期間：令和4年11月9日～令和5年3月31日</td> <td>・委託期間：令和4年12月14日～令和5年3月31日</td> </tr> <tr> <td>・委託金額：33,880,000円</td> <td>・委託金額：5,060,000円</td> </tr> <tr> <td>・内 容：システム構築及び各種システム用機器設定</td> <td>・内 容：導入機器の設置及び設定</td> </tr> </table>			○住民異動受付支援システム構築委託	○住民異動受付支援システム機器等設定委託	・選定方法：随意契約	・選定方法：随意契約	・委託先：富士フイルムシステムサービス(株) 公共事業本部首都圏支店	・委託先：富士通 Japan(株)埼玉支社	・委託期間：令和4年11月9日～令和5年3月31日	・委託期間：令和4年12月14日～令和5年3月31日	・委託金額：33,880,000円	・委託金額：5,060,000円	・内 容：システム構築及び各種システム用機器設定	・内 容：導入機器の設置及び設定
○住民異動受付支援システム構築委託	○住民異動受付支援システム機器等設定委託													
・選定方法：随意契約	・選定方法：随意契約													
・委託先：富士フイルムシステムサービス(株) 公共事業本部首都圏支店	・委託先：富士通 Japan(株)埼玉支社													
・委託期間：令和4年11月9日～令和5年3月31日	・委託期間：令和4年12月14日～令和5年3月31日													
・委託金額：33,880,000円	・委託金額：5,060,000円													
・内 容：システム構築及び各種システム用機器設定	・内 容：導入機器の設置及び設定													

事務事業名 所沢市斎場光熱費等高騰対策支援事業	予算現額	19,965,000 円								
	決算額	19,965,000 円								
所 管 市民部市民課	翌年度繰越額	0 円								
予算区分 款 4 項 1 目 3 説明 05 斎場運営費	不用額	0 円								
事業概要 (R5-1 議案第 2~8 号 P. 30)	前年度決算額	—								
<p><事業の目的・内容></p> <p>本事業は、所沢市斎場の事業の継続と経営維持を支援し、コロナ禍における原油価格・物価の高騰による影響を軽減することを目的に、運営事業者に対し支援金を交付するものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <ul style="list-style-type: none"> 支援金額：光熱費等の予算額と年度末見込額（令和 4 年 12 月末日時点）の差額の 8 割の金額 <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>年度末見込額</td> <td>55,994,000 円</td> </tr> <tr> <td>一) 予算額</td> <td>31,038,000 円</td> </tr> <tr> <td>差額</td> <td>24,956,000 円</td> </tr> <tr> <td>差額 × 8 割</td> <td><u>19,965,000 円</u></td> </tr> </table>			年度末見込額	55,994,000 円	一) 予算額	31,038,000 円	差額	24,956,000 円	差額 × 8 割	<u>19,965,000 円</u>
年度末見込額	55,994,000 円									
一) 予算額	31,038,000 円									
差額	24,956,000 円									
差額 × 8 割	<u>19,965,000 円</u>									

事務事業名 西所沢駅西口改札口開設事業	予算現額	8,163,000 円
	決算額	8,114,097 円
所 管 市民部防犯交通安全課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 2 項 1 目 12 説明 01 交通対策費	不用額	48,903 円
事業概要 (R4-1 議案第 11~20 号 P. 78)	前年度決算額	3,575,000 円
<p><事業の目的・内容></p> <p>西所沢駅の利用者の利便性向上と安全性確保のため、「西所沢駅西口開設整備計画」に基づき、事業を進めている。西所沢駅西口改札口の早期開設に向け、鉄道事業者と協議を行うものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <ul style="list-style-type: none"> 鉄道事業者との協議 鉄道事業者による基本計画作成 <p>○西所沢駅西口改札口開設に伴う基本計画作成</p> <ul style="list-style-type: none"> 作成者：西武鉄道株式会社 期 間：令和 4 年 9 月 2 日～令和 5 年 3 月 31 日 金 額：7,864,500 円 内 容：駅舎の位置や規模を検討するための「西所沢駅西口改札口開設に伴う基本計画」の作成 		

福 祉 部

1 福祉総務課

- (1) 電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい住民税非課税世帯等に対し、1世帯当たり5万円の給付金を支給した（31,016世帯、15億5,080万円）。
- (2) 戦没者遺族等援護事業として、10月7日に中央公民館ホールにおいて、市内在住の戦没者遺族参加のもと、戦没者追悼式を開催した（参加者124人）。
- (3) 適正な法人運営と社会福祉事業の健全な経営の確保を図ることを目的に、所沢市が所轄庁となる社会福祉法人のうち8法人に対して指導監査を実施した。
- (4) 介護給付対象等サービスの質の確保と保険給付の適正化を図ることを目的に、所沢市が指定する介護サービス事業者等に対する集団指導（全事業所：書面開催）及び運営指導（36事業所：訪問）を実施した。

2 生活福祉課

- (1) 生活保護法に基づき、生活に困窮する方に対し、必要な保護を実施した（3,860世帯、4,925人）。
- (2) 生活保護世帯暮らし応援事業として、3,307世帯におこめ券を支給した。
- (3) 生活困窮者自立促進支援事業として、自立相談支援13,271件、家計改善支援738件、一時生活支援5世帯6人200日、就労準備支援事業642件、住居確保給付金294件等の支援を行った。
- (4) 生活困窮者自立支援金支給事業として、1,091件の支援を行った。
- (5) 生活困窮世帯の子どもに対する学習・生活支援事業として、学習支援教室を77回開催した。

3 障害福祉課

- (1) 「所沢市障害のある人もない人も共に生きる社会づくり条例」の取組の一環として、グランエミオ所沢の各店舗に筆談ボードを配布

した（配布数 135 個）。

- (2) 障害福祉サービス事業として、障害者の日常生活及び社会生活を支援するため障害福祉サービスを提供した（利用者 3,576 人）。
- (3) 自立支援医療給付事業として、障害者がその障害を除去・軽減するための医療を指定医療機関で受ける場合に、医療費を給付した（支給認定者 441 人）。
- (4) 地域生活支援事業として、障害者週間記念事業（参加者延べ 3,325 人）、コミュニケーション支援事業（派遣件数 1,039 件）、移動支援事業（実利用者 173 人）、日中一時支援事業（実利用者 66 人）等を実施した。
- (5) 重度心身障害福祉手当事業として、重度の心身障害者に手当を支給した（対象者 6,607 人）。
- (6) 外出援助事業として、タクシー券交付及びガソリン費の一部の補助を行った（補助件数：タクシー券 46,749 件、ガソリン費 19,692 件）。
- (7) 重度心身障害児等医療費助成事業として、保険診療医療費等の自己負担分を助成した（受給者 5,237 人）。
- (8) 障害者就労支援事業として、一般就労に向けた支援を行った（ところざわ就労支援センター登録者 1,227 人うち就職者 760 人）。

4 高齢者支援課

- (1) 長生クラブ支援事業として、高齢者の知識及び経験を活かし、明るい長寿社会づくりに資することを目的として活動している長生クラブを支援した（長生クラブ 60 クラブ、会員 3,287 人）。
- (2) 高齢者交流・研修支援事業として、高齢者団体が高齢者の福祉増進に寄与する活動等において貸切バスを利用した場合における賃借料の一部を補助した（利用団体数 45 団体、利用人数 1,157 人）。
- (3) 健康の増進や教養の向上等の場としてお互いに学び、仲間づくりを大切にしながら心身ともに健康で明るい日常生活を送ることができる活動拠点として、老人福祉センター等を運営した（利用人数：老人福祉センター4か所77,223人、老人憩の家8か所83,123人）。

- (4) 令和 6 年度から令和 8 年度までの 3 年間を期間とする「第 9 期所沢市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の予備調査として、「所沢市高齢者福祉・介護実態調査」を実施した（配布件数 8,100 件、回収件数 5,981 件、回収率 73.8%）。

5 介護保険課

- (1) 低所得者に対する介護サービス利用の促進のため、介護保険の利用者負担の一部を助成する利用者負担助成金を支給した（14,636 件、39,959,105 円）。
- (2) 「第 8 期所沢市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」に基づき、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）及び定期巡回・随時対応型訪問介護看護、看護小規模多機能型居宅介護を整備する法人に対して、基盤整備費及び開設準備経費を対象とした補助を行った（2 法人、1 億 6,383 万 2 千円）。

6 地域福祉センター

- (1) 地域福祉推進事業として、所沢市地域福祉推進委員会を 2 回開催した。
- (2) 罹災見舞金等支給事業として、火災による被害を受けた 9 世帯に罹災見舞金を支給した。
- (3) 第 46 回所沢市社会福祉大会を実施し、地域福祉の向上に寄与した 48 団体、108 人及び青少年の健全育成に寄与した 1 団体、17 人を表彰した。
- (4) 民生委員推薦会について、民生委員・児童委員の欠員補充及び一斉改選のため、市推薦会を 7 回、地区推薦会を 40 回開催した。
- (5) 成年後見制度推進事業の中核機関として所沢市成年後見センターを設置し、周知活動や福祉の相談窓口による権利擁護相談 696 件を行った。また、所沢市成年後見制度推進検討委員会を 2 回開催した。
- (6) こどもと福祉の未来館管理運営事業として、来館者の利便性や安全性に配慮した施設提供を行った（利用人数 137,453 人）。

事務事業名 住民税非課税世帯等価格高騰緊急支援給付金支給事業	予算現額	2,238,550,000円
	決算額	1,699,864,128円
所管 福祉部福祉総務課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 3 項 1 目 1 説明 18 住民税非課税世帯等価格高騰緊急支援給付金費	不用額	538,685,872円
事業概要 (R4-臨時1 議案第72号 P.6)	前年度決算額	—
<p><事業の目的・内容></p> <p>電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい住民税非課税世帯等に対して1世帯当たり5万円の給付金を支給するものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <p>○支給実績 ①基準日(令和4年10月1日)において令和4年度住民税均等割が非課税である世帯(住民税課税者の扶養親族等のみからなる世帯を除く。) 30,816世帯(支給金額:1,540,800,000円)</p> <p>②令和4年10月以降に予期せず収入が減少し、①と同様の事情にあると認められる世帯(家計急変世帯) 200世帯(支給金額:10,000,000円)</p> <p>○住民税非課税世帯等価格高騰緊急支援給付金支援業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定方法:随意契約 ・委託先:パーソルワークスデザイン株式会社 ・委託期間:令和4年10月17日～令和5年3月31日 ・委託金額:単価契約(支払額136,593,704円) ・内容:コールセンター業務、支給決定支援ほか <p>○住民税非課税世帯等価格高騰緊急支援給付金人材派遣委託</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定方法:随意契約 ・委託先:パーソルテンプスタッフ株式会社 ・委託期間:令和4年10月17日～令和5年3月31日 ・委託金額:単価契約(支払額7,980,620円) ・内容:窓口受付業務 		

事務事業名 生活困窮者自立促進支援事業	予算現額	91,549,000円
	決算額	73,638,778円
所管 福祉部生活福祉課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 3 項 1 目 1 説明 13 生活困窮者自立促進支援事業費	不用額	17,910,222円
事業概要 (R4-1 議案第11～20号 P.83)	前年度決算額	71,689,550円
<p><事業の目的・内容></p> <p>生活困窮者自立支援法に基づき、地域で孤立する生活困窮者からの相談支援、プラン作成等を行う「自立相談支援事業」、家計に問題を抱える生活困窮者への「家計改善支援事業」、何らかの理由で住居を失った生活困窮者に対し一時的な宿泊場所や飲食を提供する「一時生活支援事業」、様々な問題を抱え一般就労に向けた準備が整っていない方に対し「就労準備支援事業」、生活困窮家庭の子どもへの「学習支援事業」、離職等により住宅を喪失又は喪失するおそれのある生活困窮者等に対し家賃相当の「住居確保給付金の支給」を実施するものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <p>○自立相談支援事業委託、家計改善支援事業委託、一時生活支援事業委託及び就労準備支援事業委託</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定方法:随意契約 ・委託先:社会福祉法人 所沢市社会福祉協議会 ・委託期間:令和4年4月1日～令和5年3月31日 ・委託金額及び実績:自立相談支援事業委託 48,867,500円(総支援人数13,271人) 家計改善支援事業委託 3,217,500円(相談件数738件) 一時生活支援事業委託 1,445,622円(5世帯6人) 就労準備支援事業委託 4,807,000円(延べ642件) <p>○学習支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実績:77回開催、延べ269人参加 <p>○住居確保給付金の支給</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実績:294件(13,214,107円) 		

事務事業名 生活保護世帯暮らし応援事業	予算現額	11,392,000円
	決算額	10,527,516円
所 管 福祉部生活福祉課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 3 項 1 目 1 説明 17 生活保護世帯生活支援事業費	不用額	864,484円
事業概要 (R4-2 議案第49号 P.7)	前年度決算額	—
<p><事業の目的・内容></p> <p>コロナ禍における物価高騰等の影響を受けている生活保護世帯への生活支援として、おこめ券を支給することにより、生活保護世帯の負担軽減を図るものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <p>○支給実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単身・2人世帯：3,097世帯（おこめ券5枚（5kg分）） ・3人以上世帯：210世帯（おこめ券10枚（10kg分）） 		

事務事業名 所沢市障害のある人もない人も共に生きる社会づくり条例推進事業	予算現額	1,909,000円
	決算額	740,517円
所 管 福祉部障害福祉課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 3 項 1 目 1 説明 07 障害福祉総務費	不用額	1,168,483円
事業概要 (R4-1 議案第11～20号 P.86)	前年度決算額	1,217,561円
<p><事業の目的・内容></p> <p>平成30年7月に施行された「所沢市障害のある人もない人も共に生きる社会づくり条例」に基づき、社会的障壁の除去の推進を図るための総合的な取組として、本事業を実施するものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <p>○周知啓発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初級職員研修：令和4年10月13日開催 ・職員研修：令和5年1月19日、20日開催 ・出前講座その他研修：計17回開催 <p>○社会的障壁の除去推進事業補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間事業者等による社会的障壁の除去を目的とした物品購入等に対する補助金の交付 ・件数：2件（車椅子購入費、アプローチ舗装工事費） ・補助金額：239,600円 <p>○筆談ボードの配布</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会的障壁除去をより浸透させる手段として需要の大きい筆談ボードを市が一括購入し、希望する店舗へ配布 ・配布数：グランエミオ所沢の全店舗に計135個 ・購入金額：391,875円 <p>○障害者文化芸術活動ワークショップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者の社会参加の促進及び障害理解の普及啓発を目的とした、障害のある人もない人も参加できるワークショップの開催 ・ダンスワークショップ：令和4年10月10日開催 ・書道ワークショップ：令和4年12月3日開催 		

事務事業名 福祉総合システム（障害福祉システム）改修事業（福祉部所管分）	予算現額	358,000 円
	決算額	358,000 円
所 管 福祉部障害福祉課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 3 項 1 目 1 説明 08 障害者支援費	不用額	0 円
事業概要 (R4-3 議案第 53～57 号 P.19)	前年度決算額	—
<p><事業の目的・内容></p> <p>令和 5 年 4 月稼働の厚生労働省の障害福祉データベースに対応するため、福祉総合システムを改修するものである。</p> <p>障害福祉データベースは、匿名化された障害者の障害の状態と障害福祉サービスの利用状況をデータ収集し分析することにより、今後の制度改正や事業者に支払う報酬の改定などに反映させるものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <p>○福祉総合システム（障害福祉システム）改修事業業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定方法：随意契約 ・委 託 先：株式会社ジーシーシー 埼玉支社 ・委託期間：令和 4 年 10 月 5 日～令和 5 年 3 月 31 日 ・委託金額：715,000 円（障害福祉課分 358,000 円） ・内 容：令和 5 年 4 月稼働の障害福祉データベース創設に伴うシステム改修 		

事務事業名 老人憩の家こてさし荘屋根及び外壁改修事業	予算現額	30,998,000 円
	決算額	27,339,400 円
所 管 福祉部高齢者支援課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 3 項 1 目 4 説明 02 老人憩の家費	不用額	3,658,600 円
事業概要 (R4-1 議案第 11～20 号 P.88)	前年度決算額	—
<p><事業の目的・内容></p> <p>本事業は、老朽化する公共施設について、「所沢市公共施設長寿命化計画」に基づいて計画的に整備し、施設の安全上適正な管理を図るものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <p>○所沢市立老人憩の家こてさし荘屋根及び外壁改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定方法：一般競争入札（4 者） ・契 約 先：アポロ工業株式会社 ・工 期：令和 4 年 6 月 21 日～11 月 30 日 ・契約金額：27,339,400 円 ・内 容：屋上防水工事及び外壁改修工事 		

事務事業名 新所沢けやき通り老人デイサービスセンター空調設備等改修事業	予算現額	11,990,000 円
	決算額	4,600,000 円
所 管 福祉部高齢者支援課	翌年度繰越額	7,390,000 円
予算区分 款 3 項 1 目 2 説明 04 老人援護対策費	不用額	0 円
事業概要 (R4-4 議案第 73～75 号 P. 17)	前年度決算額	—
<p><事業の目的・内容></p> <p>新所沢けやき通り老人デイサービスセンターのガス式ヒートポンプマルチエアコンが故障したことから、施設で提供するサービスに支障を来すことがないように改修工事を実施するものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <p>○所沢市立新所沢けやき通り老人デイサービスセンター空調設備改修工事（令和 4・5 年度継続事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定方法：一般競争入札（3 者） ・契 約 先：株式会社キノシタ ・工 期：令和 5 年 2 月 10 日～9 月 29 日 ・契約金額：29,095,000 円 ・内 容：ガス式ヒートポンプマルチエアコンの更新、厨房照明の L E D 化及び厨房用給排気ファンの更新 <p>※本事業については、予算額 7,390,000 円を令和 5 年度へ通次繰越し、実施する。</p>		

事務事業名 ところ荘老人デイサービスセンター等空調設備改修事業	予算現額	12,500,000 円																				
	決算額	5,000,000 円																				
所 管 福祉部高齢者支援課	翌年度繰越額	7,500,000 円																				
予算区分 款 項 目 説明 (下記のとおり)	不用額	0 円																				
事業概要 (R4-4 議案第 73～75 号 P. 18)	前年度決算額	—																				
<p><事業の目的・内容></p> <p>ところ荘老人デイサービスセンター（併設の老人憩の家ところ荘のホールを含む。）の空調設備が故障したことから、施設で提供するサービスに支障を来すことがないように、改修工事を実施するものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <p>○所沢市立ところ荘老人デイサービスセンター等空調設備改修工事（令和 4・5 年度継続事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定方法：一般競争入札（4 者） ・契 約 先：平岩設備工業株式会社 ・工 期：令和 5 年 2 月 14 日～10 月 13 日 ・契約金額：27,390,000 円 ・内 容：既存空調設備の冷媒抜き取り、空調設備及び換気設備の新設 <p><決算額内訳></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>所管</th> <th>款</th> <th>項</th> <th>目</th> <th>説明</th> <th>事業</th> <th>決算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">高齢者支援課</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>04</td> <td>老人援護対策費</td> <td>3,750,000 円</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>02</td> <td>老人憩の家費</td> <td>1,250,000 円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※本事業については、予算額 7,500,000 円を令和 5 年度に通次繰越し、実施する。</p>			所管	款	項	目	説明	事業	決算額	高齢者支援課	3	1	2	04	老人援護対策費	3,750,000 円	3	1	4	02	老人憩の家費	1,250,000 円
所管	款	項	目	説明	事業	決算額																
高齢者支援課	3	1	2	04	老人援護対策費	3,750,000 円																
	3	1	4	02	老人憩の家費	1,250,000 円																

事務事業名 高齢者福祉施設整備費補助事業（地域密着型サービス）	予算現額	163,832,000 円
	決算額	163,832,000 円
所 管 福祉部介護保険課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 3 項 1 目 2 説明 04 老人援護対策費	不用額	0 円
事業概要 (R4-1 概案第 11～20 号 P.89)	前年度決算額	—

<事業の目的・内容>

市内に地域密着型サービスの施設を整備しようとする法人に対して、その費用を補助することにより、地域密着型サービスの充実、ひいては地域における高齢者福祉の促進を図るものである。

<事業の実績・成果>

「第 8 期所沢市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」に基づき、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）及び定期巡回・随時対応型訪問介護看護、看護小規模多機能型居宅介護を整備する 2 法人（4 事業所）に対して、基盤整備費（施設整備）及び開設準備経費を対象とした補助を行った。

補助区分	補助額	サービス種別及び内訳	
基盤整備費	112,077 千円	認知症対応型共同生活介護	70,560 千円
		定期巡回・随時対応型訪問介護看護	6,237 千円
		看護小規模多機能型居宅介護	35,280 千円
開設準備経費	51,755 千円	認知症対応型共同生活介護	30,204 千円
		定期巡回・随時対応型訪問介護看護	14,000 千円
		看護小規模多機能型居宅介護	7,551 千円

こども未来部

1 こども政策課

- (1) 子ども・子育て会議を3回開催し、子育て支援に関する各種事業の進捗管理を行うとともに、「ヤングケアラー」に係る意見交換を行うことにより、地域の実情を踏まえた施策の推進に努めた。
- (2) 第2期所沢市子ども・子育て支援事業計画に基づき、地域型保育事業所(令和5年4月1日開園)を整備し、待機児童対策を進めた。
- (3) 特定教育・保育施設等の質の確保及び給付費の支給の適正化を図るため、124施設に対する集団指導を実施するとともに、39施設に対し実地指導を行い、74件の指摘事項について改善が図られた。
- (4) 保育所等(24園)で実施した、感染症対策のために必要な施設の改修や設備の整備等に係る経費を補助した。
- (5) コロナ禍における食材料費等の物価高騰等の影響を受けている子育て家庭及び高校生世代のいる家庭への支援として、デジタルギフト等を支給することにより、対象世帯の家計負担の軽減を図った。

2 こども支援課

- (1) 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う子育て世帯への支援として、低所得の子育て世帯生活支援特別給付金を3,723世帯に対して支給した。
- (2) 児童扶養手当支給事業として、ひとり親家庭等の受給者およそ1,760人に対して支給した。
- (3) 児童手当支給事業として、受給者およそ21,000人に対して支給した。
- (4) 子ども医療費助成事業として、受給者およそ38,400人に対して医療費助成を行った。
- (5) ひとり親家庭等の医療費助成事業として、受給者およそ4,100人に対して医療費助成を行った。
- (6) こども相談センターにおいて、家庭児童相談員等による児童や家

庭に関する相談を 1,273 件実施した。

- (7) こども支援センター運営事業（子育て支援）を実施し、4 歳未満の乳幼児とその保護者を対象とした交流の場に、延べ 50,654 人が来場した。
- (8) ところっこ親子ふれあい絵本事業として、1 歳 6 か月児健康診査の受診者 1,149 組に絵本の読み聞かせを行い、絵本の引換チケットを配付した。また、絵本は、図書館や地域子育て支援施設で 764 冊交換され、施設の利用につなげた。
- (9) 一時預かり事業、病児・病後児保育事業、ファミリーサポート事業として、一時的な保育が必要な方に預かりの場を提供し、計 38,707 件の利用があった。
- (10) ひとり親家庭等自立支援事業として、母子・父子自立支援員によるひとり親家庭に関する相談を 429 件実施した。

3 こども福祉課

- (1) 在宅で医療的ケアが必要な児童を養育する家族同士の交流を通して情報交換を行い、家族への心理的サポートを行うために、「子育て交流会」を開催した。
- (2) 障害児通所支援事業として、障害児が通所施設で、日常生活における基本的な動作の指導や訓練等を受け、地域での自立した生活を支援するための児童発達支援、放課後等デイサービスなどを延べ 19,760 人に提供した。
- (3) こども支援センター（発達支援）では、発達障害やその心配のある子どもと保護者に対し、早期からの相談や子どもの特性に応じた発達支援等を行った。
- (4) 松原学園では 58 人を、かしの木学園では 56 人を受け入れ、子どもが日常生活や社会生活を円滑に営めるような発達・成長のための支援に努めた。

また、かしの木学園においては、未就学の重症心身障害児や医療的ケアを必要とする障害児及びその保護者の支援を実施した。

4 青少年課

- (1) 放課後児童健全育成事業として、31か所の公設児童クラブを指定管理者により運営した。
- (2) 第二上新井、北秋津、中富小児童クラブの狭隘化などの解消のため、小学校の教室を利用できるように修繕を実施し、定員を拡大した。
- (3) 新規の民設民営児童クラブを1か所開所し、既存の民設民営児童クラブの定員を拡大するなど、10か所の民設民営児童クラブを運営した。
- (4) 放課後児童クラブを利用している多子世帯や低所得世帯への支援として、保育料の免除や減額を行った。
- (5) 11か所の児童館について、放課後児童健全育成事業のほか、地域子育て支援拠点事業などを指定管理者により運営した。
- (6) 新型コロナウイルス感染症対策に必要な消毒液やマスク等の消耗品等を放課後児童クラブの運営事業者が購入するための経費、職員のかかり増し経費等を支援した。
- (7) 原油価格と物価高騰により影響を受けている児童クラブ運営事業者の負担軽減のため、補助金を交付した。
- (8) 国の「コロナ克服・新時代開拓のための経済政策」を受け、放課後児童クラブ職員の処遇改善を行う事業者に対して、処遇改善に必要な経費を支援した。

5 保育幼稚園課

- (1) 公立保育園において安心・安全な給食を安定的に提供し、保育の一環である食育の充実を図るため、保育園給食調理業務委託契約の更新を西所沢保育園・西新井保育園・吾妻保育園・山口保育園の4園で、新規の委託契約を富岡保育園・中新井保育園の2園で、それぞれプロポーザル方式により実施した。
- (2) 「所沢市公共施設長寿命化計画」に基づき、西所沢保育園屋上防水改修工事、小手指保育園の屋上防水及び外壁改修工事、山口保育

園の受変電設備改修工事を行った。

- (3) 新たに「“子どものために” 保育施設等応援事業」を実施し、コロナ禍における原油価格・物価高騰等による食材料費や光熱費等の高騰により、施設の運営経費が増大する中、保護者に負担を求めることなく安定した施設運営ができるよう、保育施設等に対して補助金を交付した。

事務事業名 保育所等感染症対策改修整備等事業	予算現額	36,224,000 円
	決算額	19,377,000 円
所 管 こども未来部こども政策課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 3 項 2 目 1 説明 09 子ども・子育て支援対策推進費	不用額	16,847,000 円
事業概要 (R4-3 議案第 53～57 号 P.22)	前年度決算額	—
<p><事業の目的・内容></p> <p>保育園等において実施する新型コロナウイルス感染症等の感染症対策のために必要な施設の改修や設備の整備等に係る費用を補助するものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象施設：保育園（55 園）、認定こども園（8 園）、地域型保育事業（22 園） ・実施施設：24 園（内訳：保育園 15 園、認定こども園 3 園、地域型保育事業 6 園） ・実施期間：令和 4 年 10 月～令和 5 年 3 月 ・補助上限額：1 施設当たり 1,029,000 円 ・対象工事：換気扇・吸排気口の設置、網戸の取り付け、調理場・トイレの床等の乾式化、手洗い場の設置・増設 等 ・補助金額：19,377,000 円 		

事務事業名 若者応援事業（16 歳から 18 歳の未来へ）	予算現額	183,006,000 円
	決算額	167,119,063 円
所 管 こども未来部こども政策課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 3 項 2 目 1 説明 09 子ども・子育て支援対策推進費	不用額	15,886,937 円
事業概要 (R4-4 議案第 73～75 号 P.19)	前年度決算額	—
<p><事業の目的・内容></p> <p>コロナ禍における食材費等の物価高騰等の影響を受けている高校生世代への支援として、デジタルギフト等を支給することにより、高校生世代及び高校生世代のいる家庭の負担軽減を図るものである。</p> <p>また、申請の際に LINE アプリ登録を経ることにより、デジタルのコミュニケーション手段を確保し、高校生世代の現状把握や情報発信等に活用するものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・支給した人数：7,962 人 <p>○若者応援事業委託</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定方法：随意契約 ・委託先：株式会社クオカード ・委託期間：令和 4 年 12 月 15 日～令和 5 年 3 月 31 日 ・委託金額：単価契約（支払金額 166,305,063 円） ・内 容：デジタルギフト等の封入封緘・発送作業、コールセンターの対応等 <p>○子ども・若者情報配信システム開発委託</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定方法：随意契約 ・委託先：トランス・コスモス株式会社 ・委託期間：令和 4 年 12 月 16 日～令和 5 年 3 月 31 日 ・委託金額：814,000 円 ・内 容：システムの導入、構築等 		

事務事業名 子育て家庭応援事業	予算現額	850,507,000円
	決算額	843,560,423円
所管 子育て未来部子育て政策課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 3 項 2 目 1 説明 09 子ども・子育て支援対策推進費	不用額	6,946,577円
事業概要 (R4-4 議案第73～75号 P.20)	前年度決算額	—
<p><事業の目的・内容></p> <p>コロナ禍における食料費等の物価高騰の影響を受けている子育て家庭を応援するため、0歳から15歳の子どもがいる家庭へ、対象者1人当たり2万円のデジタルギフト等を支給し、負担軽減を図るものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・支給した人数：40,679人 <p>○子育て家庭応援事業委託</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定方法：随意契約 ・委託先：株式会社クオカード ・委託期間：令和4年12月15日～令和5年3月31日 ・委託金額：単価契約（支払金額843,560,423円） ・内 容：デジタルギフト等の封入封緘・発送作業、コールセンターの対応等 		

事務事業名 出産・子育て応援事業（経済的支援）	予算現額	498,826,000円
	決算額	0円
所管 子育て未来部子育て政策課	翌年度繰越額	498,826,000円
予算区分 款 3 項 2 目 1 説明 09 子ども・子育て支援対策推進費	不用額	0円
事業概要 (R5-1 議案第2～8号 P.22)	前年度決算額	—
<p><事業の目的・内容></p> <p>全ての妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てできるよう、妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ伴走型相談支援の充実と出産育児関連用品の購入等の負担軽減を図るための経済的支援を一体的に実施するものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <p>妊娠の届出や出生の届出を行った妊婦・子育て世帯等に対して、令和5年度に出産応援ギフトや子育て応援ギフトを支給するための契約事務等を行った。</p> <p>○所沢市出産・子育て応援事業業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定方法：随意契約 ・委託先：トランス・コスモス株式会社 ・委託期間：令和5年3月27日～9月30日 ・委託金額：47,300,000円 ・内 容：電子マネーの調達、対象者への案内送付、申請受付、審査及び発送 コールセンターの設置・運営 <p>※本事業については、予算額498,826,000円を令和5年度へ繰越明許し、実施する。</p>		

事務事業名 低所得の子育て世帯生活支援特別給付金支給事業	予算現額	339,533,000円
	決算額	296,391,414円
所 管 こども未来部こども支援課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 3 項 2 目 1 説明 13 子育て世帯生活支援特別給付金費	不用額	43,141,586円
事業概要 (R4-2 議案第38号 P.6)	前年度決算額	—
<p><事業の目的・内容></p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、低所得の子育て世帯に対し、実情を踏まえた生活の支援を行うため、対象児童1人当たり5万円の特別給付金を支給するものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <p>【ひとり親世帯分】</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象者：①～③のいずれかの要件を満たす者 <ul style="list-style-type: none"> ① 令和4年4月分の児童扶養手当を受給している者（申請不要） ② 公的年金等の受給により児童扶養手当を受給していない者（要申請） ③ 新型コロナウイルス感染症の影響を受けて収入が減少し、児童扶養手当の受給者と同程度になった者（要申請） 支給実績：1,869世帯 対象児童数2,744人 支給金額137,200,000円 <p>【ひとり親世帯以外の世帯分】</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象者：①～②のいずれかの要件を満たす者 <ul style="list-style-type: none"> ① 令和4年4月分の児童手当又は特別児童扶養手当の受給者で、令和4年度の住民税が非課税の者（申請不要） ② 令和4年度末に18歳に達するまでの児童（障害児については20歳未満）の養育者で、令和4年度の住民税が非課税の者又は新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少し、非課税の者と同程度になった者（要申請） 支給実績：1,854世帯 対象児童数3,119人 支給金額155,950,000円 		

事務事業名 子育て世帯特別一時金支給事業	予算現額	602,000円
	決算額	400,672円
所 管 こども未来部こども支援課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 3 項 2 目 1 説明 12 子育て支援事業費	不用額	201,328円
事業概要 (R4-2 議案第40号 P.15)	前年度決算額	—
<p><事業の目的・内容></p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、子育て世帯の生活を支援するため、令和3年度子育て世帯等臨時特別給付金の支給対象外であった令和4年4月1日生まれの児童に対して、特別一時金を支給するものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <ul style="list-style-type: none"> 対象児童：令和4年4月1日生まれの児童（同日において所沢市住民基本台帳に登録がある児童） 対 象 者：対象児童の保護者であり、児童手当（本則給付）と同等の所得である者 申請及び決定件数：4件 支給金額：400,000円（児童1人当たり10万円） 		

事務事業名 福祉総合システム（障害福祉システム）改修事業（こども未来部所管分）	予算現額	357,000 円
	決算額	357,000 円
所 管 こども未来部こども福祉課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 3 項 2 目 1 説明 10 障害児福祉費	不用額	0 円
事業概要 (R4-3 議案第 53～57 号 P.24)	前年度決算額	—
<p><事業の目的・内容></p> <p>令和 5 年 4 月稼働の厚生労働省の障害福祉データベースに対応するため、福祉総合システムを改修するものである。</p> <p>障害福祉データベースは、匿名化された障害者の障害の状態と障害福祉サービスの利用状況をデータ収集し分析することにより、今後の制度改正や事業者に支払う報酬の改定などに反映させるものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <p>○福祉総合システム（障害福祉システム）改修事業業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定方法：随意契約 ・委 託 先：株式会社ジーシーシー 埼玉支社 ・委託期間：令和 4 年 10 月 5 日～令和 5 年 3 月 31 日 ・委託金額：715,000 円（こども福祉課分 357,000 円） ・内 容：令和 5 年 4 月稼働の障害福祉データベース創設に伴うシステム改修 		

事務事業名 児童クラブ施設整備事業（小手指児童クラブ他）	予算現額	21,500,000 円																
	決算額	19,955,251 円																
所 管 こども未来部青少年課	翌年度繰越額	0 円																
予算区分 款 3 項 2 目 1 説明 08 放課後児童健全育成費	不用額	1,544,749 円																
事業概要 (R4-1 議案第 11～20 号 P.94)	前年度決算額	—																
<p><事業の目的・内容></p> <p>放課後児童クラブの狭隘化、大規模化等を解消するため、国から示された基準に基づき条例で定めた面積要件（専用区画が児童 1 人につきおおむね 1.65 m²以上）を満たすよう施設の整備を進めるものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <p>・狭隘化の著しい小手指・第二上新井・北秋津・中富小児童クラブを対象とし、小学校施設の修繕を行った。</p> <p>また、小学校と共有する形で児童クラブの 2 支援単位（2 クラス目）を整備し、定員増を図った（各クラブの概要は以下のとおり）。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>第二上新井児童クラブ</th> <th>北秋津児童クラブ</th> <th>中富小児童クラブ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>修繕場所</td> <td>上新井小学校さとやま</td> <td>北秋津小学校外集会室</td> <td>中富小学校 1 階生活科室</td> </tr> <tr> <td>修繕内容</td> <td>空調、床修繕等</td> <td>空調、床修繕等</td> <td>空調、ロッカー設置等</td> </tr> <tr> <td>成 果</td> <td>定員 52 人→92 人</td> <td>定員 37 人→77 人</td> <td>定員 28 人→68 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※小手指児童クラブ（図工室にエアコン設置）は、学校施設整備後に対象の教室が普通教室となったため、児童クラブとしての活用ができなかった。</p>				第二上新井児童クラブ	北秋津児童クラブ	中富小児童クラブ	修繕場所	上新井小学校さとやま	北秋津小学校外集会室	中富小学校 1 階生活科室	修繕内容	空調、床修繕等	空調、床修繕等	空調、ロッカー設置等	成 果	定員 52 人→92 人	定員 37 人→77 人	定員 28 人→68 人
	第二上新井児童クラブ	北秋津児童クラブ	中富小児童クラブ															
修繕場所	上新井小学校さとやま	北秋津小学校外集会室	中富小学校 1 階生活科室															
修繕内容	空調、床修繕等	空調、床修繕等	空調、ロッカー設置等															
成 果	定員 52 人→92 人	定員 37 人→77 人	定員 28 人→68 人															

事務事業名 放課後児童健全育成事業（民設民営児童クラブ）	予算現額	131,249,000 円
	決算額	130,895,911 円
所 管 こども未来部青少年課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 3 項 2 目 1 説明 08 放課後児童健全育成費	不用額	353,089 円
事業概要 (R4-1 議案第 11～20 号 P.95) (R4-3 議案第 53～57 号 P.25) (R5-1 議案第 2～8 号 P.24)	前年度決算額	122,211,150 円
<p><事業の目的・内容></p> <p>放課後児童クラブの狭隘化、大規模化等を解消するため、早急に対応が必要な小学校区に対して、民設民営児童クラブを設置し、運営を委託するものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <p>民設民営児童クラブを設置した小学校区では受入児童数が増加し、既存児童クラブの狭隘化等の解消につながった。また、令和 5 年度から民設民営クラブを 1 支援単位増やすための準備を進めた。</p> <p>○所沢市民設民営児童クラブ業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラブ数：10 クラブ ・クラブ名：KIRACCO、KIRACCO 小手指、YMCA キッズクラブ、北秋津ゴロニャンクラブ、わくわくクラブ、KIRACCO 所沢、KIRACCO Ami、サクラタウン児童クラブ、ひだまりみなみ、ひまわり ・委託期間：令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日 ・委託金額：130,895,911 円 		

事務事業名 児童福祉施設等における感染拡大防止等対策事業（放課後児童クラブ）	予算現額	31,700,000 円
	決算額	29,871,610 円
所 管 こども未来部青少年課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 3 項 2 目 1 説明 08 放課後児童健全育成費 ほか	不用額	1,828,390 円
事業概要 (R4-4 議案第 73～75 号 P.22)	前年度決算額	—
<p><事業の目的・内容></p> <p>放課後児童クラブにおいて、新型コロナウイルス感染症対策に必要な経費（マスクや消毒液等の購入費、施設の消毒等に要する経費、かかり増し経費等）を事業者に支給するものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象施設：放課後児童クラブ（児童館生活クラブ、公設民営児童クラブ及び民設民営児童クラブ） ・補助上限額：放課後児童クラブ 1 支援単位当たり児童数により 30 万円～50 万円 ・支給実績：児童館生活クラブ（22 支援単位/22 支援単位） 8,351,980 円 公設民営児童クラブ（44 支援単位/44 支援単位） 17,519,630 円 民設民営児童クラブ（10 支援単位/10 支援単位） 4,000,000 円 計 29,871,610 円 ・購入物品：消毒液、キッチンペーパー、サーキュレーター、空気清浄機等 		

事務事業名 放課後児童クラブ物価高騰対策給付事業	予算現額	2,817,000 円
	決算額	2,817,000 円
所 管 こども未来部青少年課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 3 項 2 目 1 説明 08 放課後児童健全育成費	不用額	0 円
事業概要 (R4-4 議案第 73～75 号 P.23)	前年度決算額	—
<p><事業の目的・内容></p> <p>物価と光熱水費高騰の影響を受けている放課後児童クラブ事業者の負担軽減を図るため、補助金を交付し、事業の継続を支援するものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <p>○物価高騰対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象施設：全ての放課後児童クラブ ・補助金額：児童 1 人当たり 500 円×3,357 人=1,678,500 円 <p>○光熱水費高騰対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象施設：光熱水費を負担している放課後児童クラブ ・補助金額：児童 1 人当たり 500 円×2,277 人=1,138,500 円 		

事務事業名 保育園給食調理業務委託事業	予算現額	209,563,000 円																												
	決算額	209,562,100 円																												
所 管 こども未来部保育幼稚園課	翌年度繰越額	0 円																												
予算区分 款 3 項 2 目 4 説明 02 保育園運営費	不用額	900 円																												
事業概要 (R4-1 議案第 11～20 号 P.97)	前年度決算額	201,504,836 円																												
<p><事業の目的・内容></p> <p>民間事業者に保育園給食調理業務を委託することで、安定的に安心・安全な給食を提供するとともに、保育の一環である食育の推進を図るものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・委託概要：栄養士が作成した献立を施設内の調理室において調理する給食調理業務及びこれに付随する業務 保育士、栄養士と連携して行う食育活動、直営と同等以上の水準で実施 ・選定方法：プロポーザル方式 <table border="1"> <thead> <tr> <th>委託実施園</th> <th>委託先</th> <th>委託期間</th> <th>委託金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小手指保育園</td> <td>株式会社レクトン</td> <td>令和 4 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日</td> <td>61,380,000 円(R4 分：20,460,000 円)</td> </tr> <tr> <td>新所沢保育園</td> <td>株式会社東京天竜</td> <td>令和 4 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日</td> <td>83,160,000 円(R4 分：27,720,000 円)</td> </tr> <tr> <td>柳瀬保育園・松郷保育園</td> <td>株式会社レクトン</td> <td>令和 3 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日</td> <td>133,211,100 円(R4 分：44,403,700 円)</td> </tr> <tr> <td>松井保育園・並木保育園</td> <td>一富士フードサービス株式会社</td> <td>令和 3 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日</td> <td>118,800,000 円(R4 分：39,600,000 円)</td> </tr> <tr> <td>西所沢保育園・西新井保育園</td> <td>株式会社東京天竜</td> <td>令和 2 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日</td> <td>117,374,400 円(R4 分：39,124,800 円)</td> </tr> <tr> <td>吾妻保育園・山口保育園</td> <td>一富士フードサービス株式会社</td> <td>令和 2 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日</td> <td>114,760,800 円(R4 分：38,253,600 円)</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・令和 5 年度から富岡保育園・中新井保育園について新規で委託をするための準備を進めた。 			委託実施園	委託先	委託期間	委託金額	小手指保育園	株式会社レクトン	令和 4 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日	61,380,000 円(R4 分：20,460,000 円)	新所沢保育園	株式会社東京天竜	令和 4 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日	83,160,000 円(R4 分：27,720,000 円)	柳瀬保育園・松郷保育園	株式会社レクトン	令和 3 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日	133,211,100 円(R4 分：44,403,700 円)	松井保育園・並木保育園	一富士フードサービス株式会社	令和 3 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日	118,800,000 円(R4 分：39,600,000 円)	西所沢保育園・西新井保育園	株式会社東京天竜	令和 2 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日	117,374,400 円(R4 分：39,124,800 円)	吾妻保育園・山口保育園	一富士フードサービス株式会社	令和 2 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日	114,760,800 円(R4 分：38,253,600 円)
委託実施園	委託先	委託期間	委託金額																											
小手指保育園	株式会社レクトン	令和 4 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日	61,380,000 円(R4 分：20,460,000 円)																											
新所沢保育園	株式会社東京天竜	令和 4 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日	83,160,000 円(R4 分：27,720,000 円)																											
柳瀬保育園・松郷保育園	株式会社レクトン	令和 3 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日	133,211,100 円(R4 分：44,403,700 円)																											
松井保育園・並木保育園	一富士フードサービス株式会社	令和 3 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日	118,800,000 円(R4 分：39,600,000 円)																											
西所沢保育園・西新井保育園	株式会社東京天竜	令和 2 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日	117,374,400 円(R4 分：39,124,800 円)																											
吾妻保育園・山口保育園	一富士フードサービス株式会社	令和 2 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日	114,760,800 円(R4 分：38,253,600 円)																											

事務事業名 保育園施設整備事業	予算現額	94,776,000 円
	決算額	79,915,000 円
所 管 こども未来部保育幼稚園課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 3 項 2 目 4 説明 3 保育園施設費	不用額	14,861,000 円
事業概要 (R4-1 議案第 11~20 号 P.96)	前年度決算額	27,390,000 円
<p><事業の目的・内容></p> <p>老朽化する施設について、「所沢市公共施設長寿命化計画」に基づいて計画的に整備し、施設の安全上適正な管理を図るものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <p>○所沢市立西所沢保育園屋上防水改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定方法：一般競争入札（2 者） ・契 約 先：株式会社アベックス ・工 期：令和 4 年 6 月 9 日～9 月 30 日 ・契約金額：12,430,000 円 ・内 容：西所沢保育園屋上の防水改修工事 <p>○所沢市立小手指保育園屋上防水及び外壁改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定方法：一般競争入札（1 者） ・契 約 先：株式会社アベックス ・工 期：令和 4 年 9 月 21 日～令和 5 年 3 月 15 日 ・契約金額：49,225,000 円 ・内 容：小手指保育園の屋上防水及び外壁改修工事 <p>○所沢市立山口保育園受変電設備改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定方法：一般競争入札（4 者） ・契 約 先：株式会社トコデン ・工 期：令和 4 年 6 月 15 日～12 月 15 日 ・契約金額：18,260,000 円 ・内 容：山口保育園の受変電設備改修工事 		

事務事業名 “子どものために” 保育施設等応援事業	予算現額	171,120,000 円
	決算額	156,920,000 円
所 管 こども未来部保育幼稚園課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 3 項 2 目 2 説明 01 児童福祉運営費 ほか	不用額	14,200,000 円
事業概要 (R4-2 議案第 49 号 P.8)	前年度決算額	—
<p><事業の目的・内容></p> <p>コロナ禍における原油価格・物価高騰等による食材料費や光熱費等の高騰により、施設の運営経費が増大する中、保護者に負担を求めることなく安定した施設運営ができるよう、保育施設等に対して補助金を交付するものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象施設：市内の私立保育園（36）、認定こども園（8）、地域型保育事業施設（22）、私立幼稚園（19）、認可外保育施設（25）、幼稚園類似施設（1） 計 111 施設 ・補助金額：児童 1 人当たり 2 万円×7,846 人=156,920,000 円 		

健 康 推 進 部

1 保健医療課

- (1) 保健医療計画推進事業として、第2次所沢市保健医療計画の進捗管理及び点検・評価を行うなど、計画の推進に努めた。
- (2) 救急医療提供体制整備として、初期救急では在宅当番医制事業を、また、第二次救急では、所沢市、狭山市及び入間市の3市で構成される所沢地区において、所沢地区病院群輪番制病院運営事業及び小児科救急医療病院群輪番制事業を実施した。
- (3) 埼玉県と締結した「新型コロナウイルス感染症の自宅療養者に係る連携事業に関する覚書」に基づき、自宅療養者に対してパルスオキシメーターの貸与を行った。また、市独自の支援として、狭山保健所を通じた酸素濃縮装置の貸与及び小児用パルスオキシメーターの乳幼児への貸与と子育て支援施設への配布を行った。また、埼玉県からの要請を受け、有症状者や濃厚接触者等へ自己検査に使用するための抗原検査キットの配布を行った。
- (4) 歯科診療事業として、所沢市歯科医師会を指定管理者とした「所沢市歯科診療所あおぞら」において、一般の診療所では診療が困難な在宅要介護高齢者及び障害児者の歯科診療並びに休日緊急歯科診療を実施した。

2 国民健康保険課

- (1) 老人医療に関する事業として、後期高齢者の健康の保持増進のため健康診査を実施し、令和5年4月末時点の集計で14,020人が受診した。
- (2) 人間ドックの助成について、市民医療センターでの受診者に対し、人間ドック日帰りコース763人、生活習慣病コース134人、合計897人に検診料の助成を行った。

3 健康管理課

- (1) 精神保健事業については、精神保健福祉に係る相談や訪問支援等を実施するとともに、重篤な精神障害者が住み慣れた地域で生活を維持していくことができるよう、引き続き、精神障害者アウトリーチ支援事業を実施した。また、ピアサポーターの養成を実施したほか、思春期専門相談において若年層への早期支援に努めた。
- (2) 保健事業については、がん検診等の各種検診を行い、疾病の早期発見・早期治療につながるよう努めた。集団のがん検診では、受診者が女性だけの日を設定し、受診しやすい検診となるよう努めた。また、広報ところざわ3月号にがん検診の特集記事を掲載し、がん検診の定期・継続受診についての重要性の周知啓発を図った。
- (3) 予防接種事業については、予防接種法に定められている疾病に対して、小児及び高齢者を対象とした定期予防接種を実施し、対象者への個別通知等による周知を行った。また、HPVワクチンキャッチアップ接種の接種事業及び助成事業を実施した。
- (4) 新型コロナウイルスワクチン接種事業については、5月から4回目接種、9月からオミクロン株対応ワクチン接種、11月からは乳幼児接種を開始した。医療機関と連携し、接種を希望する方が安心、安全、迅速に接種できるよう努め、集団接種及び個別接種により、1回目から5回目の接種を実施した。
- (5) 保健センター施設管理業務については、市民が安全に利用できるよう、老朽化した自動火災報知設備の改修工事を実施した。

4 健康づくり支援課

- (1) 健康指導事業については、市民の健康の保持・増進、疾病の予防・早期発見等を目的に、健診結果活用講座をはじめとする健康教育、健康相談、機能訓練、訪問指導等の各種事業を実施した。

また、気軽にできる「歩き」を中心に、楽しみながら健康増進を図ることを目的として、令和2年7月から実施している『トコトコ健幸マイレージ』については、累計の参加申込者数が、令和4年度

末で 13,798 人となった。

- (2) 母子保健事業については、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、妊産婦及び乳幼児の疾病の早期発見及び早期治療につながるよう努めるとともに、乳児家庭全戸訪問などの各種事業を通じて、母子の心身の状況や養育環境等の把握に努めた。

また、妊娠届出をされた方に対し、両親学級を案内するとともに、自宅でいつでも気軽に視聴できるように、子育てに関する動画を配信するなど、必要な助言及び指導を実施した。

① 産後ケア事業（デイサービス型）

育児に不安を抱えている退院直後の母子に対する産後ケア事業（宿泊型）に加え、支援拡充のため出産後 1 年までを対象とする産後ケア事業（デイサービス型）を実施した。

② 産婦健康診査助成事業

産後うつの予防や新生児への虐待予防等を図る観点から、産婦健康診査助成事業を開始した。

③ 市民健康管理支援システム改修事業（母子保健事業対応）

令和 4 年度新規母子保健事業開始に伴い、市民健康管理支援システムの改修を実施した。

④ 不妊検査・治療費等助成事業

子どもを望む方に対し、不妊検査、不育症検査及び不妊治療に係る経費の一部を助成した。

⑤ 出産・子育て応援事業（伴走型相談支援）

妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ伴走型相談支援の充実に向け、準備を開始した。事業の実施に当たっては、令和 4 年度に契約事務等を行い、事業予算を令和 5 年度に繰り越した。

事務事業名 保健事業と介護予防の一体的実施事業	予算現額	6,446,000 円
	決算額	5,949,690 円
所 管 健康推進部国民健康保険課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 3 項 1 目 2 説明 03 老人医療費	不用額	496,310 円
事業概要 (R4-1 議案第 11～20 号資料 P.98)	前年度決算額	5,320,119 円
<p><事業の目的・内容></p> <p>後期高齢者が抱えるフレイル（加齢に伴う虚弱）や認知症等の進行、社会的なつながりの低下といった課題に対応するため、保険者である埼玉県後期高齢者医療広域連合との連携の下、後期高齢者の保健事業及び国民健康保険保健事業並びに介護保険の地域支援事業を一体的に実施するものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <p>○企画調整</p> <ul style="list-style-type: none"> ・KDBシステム等を用いた地域分析及び健康課題の抽出 ・ハイリスクアプローチ及びポピュレーションアプローチの企画調整 ・ワーキンググループや担当者打合せの実施 <p>○ハイリスクアプローチ（対象者を絞って個別に行う支援）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高血圧未治療の被保険者への健康相談イベント及び家庭訪問の実施：対象者 212 名のうち 163 名と面談 ※実施後アンケート回答の結果、医療機関に「行った」者 20 名、「これから行く予定」の者 14 名 ・健康状態が不明な被保険者への健康相談イベント及び家庭訪問の実施：対象者 40 名のうち 34 名と面談 ・地域包括支援センターとの連携（高齢者支援課に情報提供）：1 人 ・不在者等（高齢者支援課に情報提供）：6 人 <p>○ポピュレーションアプローチ（通いの場を利用した健康教育及び健康相談）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施場所：「お達者倶楽部」、「ところん元気百歳体操」（高齢者支援課所管） 「すこやか栄養教室」（健康づくり支援課所管） ・参加者：合計 301 人（お達者倶楽部 57 人（3 回）、ところん元気百歳体操 119 人（9 回）、すこやか栄養教室 125 人（12 回）） ・内 容：健康教育等 		

事務事業名 精神障害者アウトリーチ支援事業	予算現額	44,550,000 円
	決算額	44,550,000 円
所 管 健康推進部健康管理課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 4 項 1 目 1 説明 07 精神保健事業費	不用額	0 円
事業概要 (R4-1 議案第 11～20 号 P.100)	前年度決算額	42,759,882 円
<p><事業の目的・内容></p> <p>重篤な精神障害者が住み慣れた地域で生活を継続していくために、医療・保健・福祉の各分野の専門職チーム（アウトリーチチーム）による包括的な支援を実施するものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者：精神疾患が疑われる未受診者、精神科医療の受診中断者等 ・支援内容：対象者及び家族への訪問・来所相談・電話相談（24 時間）対応、ピアサポーター養成 ・支援実績：令和 5 年 3 月末 登録者数 92 人（累計登録者数 160 人） 延べ支援件数 8,372 件（訪問件数 2,792 件、来所相談 666 件、電話相談 4,914 件） ピアサポーター養成のつどい 11 回開催 延べ 79 人参加 <p>○精神障害者アウトリーチ支援事業業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定方法：随意契約 ・委託先：国立研究開発法人 国立精神神経医療研究センター ・委託期間：令和 3 年 10 月 1 日～令和 6 年 9 月 30 日 ・委託金額：133,650,000 円（令和 4 年度分 44,550,000 円） 		

事務事業名 新型コロナウイルスワクチン接種事業		予算現額	3,197,924,000円																																									
		決算額	2,028,475,769円																																									
所管	健康推進部健康管理課		翌年度繰越額	0円																																								
予算区分	款 4 項 1 目 2 説明	05 新型コロナウイルスワクチン接種事業費	不用額	1,169,448,231円																																								
事業概要	(R4-1 議案第11号～20号 P.101) (R4-2 議案第40号 P.20) (R4-臨時1 議案第72号 P.7) (R5-1 議案第9号 P.32)		前年度決算額	2,783,548,555円																																								
<p><事業の目的・内容></p> <p>国の方針に基づき、新型コロナウイルスワクチン接種を希望する市民が安心、安全、迅速にワクチン接種を受けることができるように接種体制を整備し、ワクチン接種を滞りなく実施するものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <p>令和4年5月から4回目接種、9月からオミクロン株対応ワクチン接種、11月からは乳幼児接種を開始。</p> <p>個別医療機関：111機関</p> <p>集団接種会場：保健センター（令和4年4月～令和5年3月）</p> <p><接種実績> 令和5年3月31日現在</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年代 (対象者数)</th> <th colspan="4">従来型ワクチン</th> <th rowspan="2">オミクロン株 対応ワクチン</th> </tr> <tr> <th>1回目</th> <th>2回目</th> <th>3回目</th> <th>4回目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>65歳以上 (94,409人)</td> <td>88,622人 93.9%</td> <td>88,404人 93.6%</td> <td>85,834人 90.9%</td> <td>72,802人 77.1%</td> <td>72,703人 77.0%</td> </tr> <tr> <td>12歳～64歳 (219,574人)</td> <td>184,001人 83.8%</td> <td>182,951人 83.3%</td> <td>142,490人 64.9%</td> <td>18,766人 8.5%</td> <td>86,893人 39.6%</td> </tr> <tr> <td>5歳～11歳 (18,857人)</td> <td>4,915人 26.1%</td> <td>4,618人 24.5%</td> <td>2,281人 12.1%</td> <td>-</td> <td>174人 0.9%</td> </tr> <tr> <td>生後6か月～4歳 (11,027人)</td> <td>619人 5.6%</td> <td>522人 4.7%</td> <td>255人 2.3%</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>全体 (343,867人)※</td> <td>278,157人 80.9%</td> <td>276,495人 80.4%</td> <td>230,860人 67.1%</td> <td>91,568人 29.2%</td> <td>159,770人 48.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※4回目接種対象者数は313,983人、オミクロン株対応ワクチン接種対象者数は332,840人</p> <p>令和5年度においても事業を実施するため、債務負担行為を設定し、予め委託の準備を行った。</p>					年代 (対象者数)	従来型ワクチン				オミクロン株 対応ワクチン	1回目	2回目	3回目	4回目	65歳以上 (94,409人)	88,622人 93.9%	88,404人 93.6%	85,834人 90.9%	72,802人 77.1%	72,703人 77.0%	12歳～64歳 (219,574人)	184,001人 83.8%	182,951人 83.3%	142,490人 64.9%	18,766人 8.5%	86,893人 39.6%	5歳～11歳 (18,857人)	4,915人 26.1%	4,618人 24.5%	2,281人 12.1%	-	174人 0.9%	生後6か月～4歳 (11,027人)	619人 5.6%	522人 4.7%	255人 2.3%	-	-	全体 (343,867人)※	278,157人 80.9%	276,495人 80.4%	230,860人 67.1%	91,568人 29.2%	159,770人 48.0%
年代 (対象者数)	従来型ワクチン					オミクロン株 対応ワクチン																																						
	1回目	2回目	3回目	4回目																																								
65歳以上 (94,409人)	88,622人 93.9%	88,404人 93.6%	85,834人 90.9%	72,802人 77.1%	72,703人 77.0%																																							
12歳～64歳 (219,574人)	184,001人 83.8%	182,951人 83.3%	142,490人 64.9%	18,766人 8.5%	86,893人 39.6%																																							
5歳～11歳 (18,857人)	4,915人 26.1%	4,618人 24.5%	2,281人 12.1%	-	174人 0.9%																																							
生後6か月～4歳 (11,027人)	619人 5.6%	522人 4.7%	255人 2.3%	-	-																																							
全体 (343,867人)※	278,157人 80.9%	276,495人 80.4%	230,860人 67.1%	91,568人 29.2%	159,770人 48.0%																																							

事務事業名 各種予防接種事業（HPVワクチンキャッチアップ接種）		予算現額	371,593,000円	
		決算額	32,347,941円	
所管	健康推進部健康管理課		翌年度繰越額	0円
予算区分	款 4 項 1 目 2 説明	04 各種予防接種費	不用額	339,245,059円
事業概要	(R4-2 議案第40号 P.19)		前年度決算額	—
<p><事業の目的・内容></p> <p>予防接種法施行令の一部改正に基づき、HPVワクチン（子宮頸がん予防ワクチン）の積極的勧奨の差控えによって接種機会を逃した方に対し、定期接種の対象年齢を超える接種（キャッチアップ接種）を開始するとともに、定期接種の機会を逃し、任意接種として自費でHPVワクチンを接種した方に対し、費用の助成を実施するものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <p>○キャッチアップ接種</p> <ul style="list-style-type: none"> ・接種対象者：平成9年度から平成17年度までの生まれで、過去にHPVワクチンの接種を合計3回受けていない女性 ・接種者数：1,564人（延べ） <p>○任意接種費用助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成対象者：平成9年度から平成17年度までの生まれで、定期接種の対象年齢を過ぎて、HPVワクチンを自費で接種した女性 ・申請件数：171件 ・助成金額：1回当たり16,990円（上限）。接種費用等を証明する書類がない場合は、15,000円（一律） 				

事務事業名 産後ケア事業（デイサービス型）	予算現額	885,000 円												
	決算額	355,234 円												
所 管 健康推進部健康づくり支援課	翌年度繰越額	0 円												
予算区分 款 4 項 1 目 4 説明 03 母子保健事業費	不用額	529,766 円												
事業概要 (R4-1 議案第 11～20 号 P.103)	前年度決算額	—												
<p><事業の目的・内容></p> <p>産後ケア事業について、従来の宿泊型の支援に加えて、日中に母親の身体的回復と心理的安定を図れるようデイサービス型の支援を実施することにより、支援の拡充を図るものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <ul style="list-style-type: none"> 対象者：所沢市に住民登録がある出産後 1 年以内の母子 助成額等： <table border="1"> <thead> <tr> <th>コース</th> <th>施設基本利用額</th> <th>自己負担額（住民税課税世帯 / 非課税・生活保護受給世帯）</th> <th>公費負担額（住民税課税世帯 / 非課税・生活保護受給世帯）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 日 (3 時間半超)</td> <td>10,000 円</td> <td>3,000 円 / 1,500 円</td> <td>7,000 円 / 8,500 円</td> </tr> <tr> <td>半日 (3 時間半以内)</td> <td>4,000 円</td> <td>1,200 円 / 600 円</td> <td>2,800 円 / 3,400 円</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 助成回数：1 回の出産につき 7 回（上限） 助成実績：52 回（延べ 38 人） <p>○所沢市産後ケア事業（デイサービス型）業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> 選定方法：随意契約 委 託 先：学校法人渡辺学園（東京家政大学かせい森のクリニック産後ケア部門（かせい森の産後ケアサロン）） 委託期間：令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日 委託金額：単価契約（1 日：10,000 円 半日：4,000 円）※利用者の自己負担額を差し引いた額を公費負担とする。 内 容：「所沢市産後ケア事業実施要綱」に基づき、産後ケア事業（デイサービス型）を提供する。 			コース	施設基本利用額	自己負担額（住民税課税世帯 / 非課税・生活保護受給世帯）	公費負担額（住民税課税世帯 / 非課税・生活保護受給世帯）	1 日 (3 時間半超)	10,000 円	3,000 円 / 1,500 円	7,000 円 / 8,500 円	半日 (3 時間半以内)	4,000 円	1,200 円 / 600 円	2,800 円 / 3,400 円
コース	施設基本利用額	自己負担額（住民税課税世帯 / 非課税・生活保護受給世帯）	公費負担額（住民税課税世帯 / 非課税・生活保護受給世帯）											
1 日 (3 時間半超)	10,000 円	3,000 円 / 1,500 円	7,000 円 / 8,500 円											
半日 (3 時間半以内)	4,000 円	1,200 円 / 600 円	2,800 円 / 3,400 円											

事務事業名 産婦健康診査助成事業	予算現額	11,561,000 円
	決算額	8,321,387 円
所 管 健康推進部健康づくり支援課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 4 項 1 目 4 説明 03 母子保健事業費	不用額	3,239,613 円
事業概要 (R4-1 議案第 11～20 号 P.104)	前年度決算額	—
<p><事業の目的・内容></p> <p>産後うつの予防や新生児への虐待予防等を図る観点から、産後 2 週間や 1 か月など出産後間もない時期の産婦に対する健康診査の重要性が指摘されている。このため、産婦健康診査の費用を助成することにより産後の初期段階における母子に対する支援を強化し、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を実施するものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <ul style="list-style-type: none"> 助成対象者：本市に住民登録がある産婦 助 成 額：5,000 円（上限） 助 成 回 数：産婦 1 人につき 1 回 対象となる健康診査：出産から概ね 1 か月後の産婦健康診査 助 成 件 数：1,668 件（うち償還払い：98 件） <p>○産婦健康診査業務委託（埼玉県による一括契約）</p> <ul style="list-style-type: none"> 委 託 先：埼玉県医師会・埼玉県助産師会加盟医療機関、県外医療機関 委託期間：令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日 委託金額：単価契約 1 回 5,000 円 内 容：基本的な産婦健康診査、こころの健康チェック 		

事務事業名 市民健康管理支援システム改修事業（母子保健事業対応）	予算現額	2,443,000円
	決算額	2,442,440円
所 管 健康推進部健康づくり支援課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 4 項 1 目 4 説明 01 健康指導費	不用額	560円
事業概要 (R4-3 議案第53～57号 P.29)	前年度決算額	—
<p><事業の目的・内容></p> <p>3歳児フッ化物塗布事業、視力屈折検査、産後ケア事業（デイサービス型）の開始に当たり、検査結果等をデータ化し一元管理することで、事務効率化、市民サービスの向上につなげるため、システムの改修を行うものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <p>○市民健康管理支援システム改修委託(母子保健事業対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定方法：随意契約 ・委 託 先：富士通 Japan 株式会社 埼玉支社 ・委託期間：令和4年9月28日～令和5年3月31日 ・委託金額：2,442,440円 ・内 容：3歳児フッ化物塗布、視力屈折検査及び産後ケア（デイサービス型）について、結果登録画面に項目を追加、帳票の変更等 		

事務事業名 トコトコ健幸マイレージ事業	予算現額	15,900,000円
	決算額	14,931,399円
所 管 健康推進部健康づくり支援課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 4 項 1 目 4 説明 01 健康指導費	不用額	968,601円
事業概要 (R4-1 議案第11～20号 P.105)	前年度決算額	9,044,541円
<p><事業の目的・内容></p> <p>本事業は、令和元年度まで実施してきた「トコロん健幸マイレージ事業」のコンセプトを継承し、参加者の拡大と事業費抑制の両立を図るため、令和2年7月より埼玉県が実施する「コバトン健康マイレージ事業」に参入したものである。気軽に実践できる「歩き」を中心に、市民が楽しんで健康づくりを継続できるよう支援するとともに、県のポイントや景品に加えて、市独自のポイントや景品を設定することで、より充実した事業を展開している。</p> <p><事業の実績・成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度末参加者：13,798人（スマホアプリ利用者10,825人、歩数計利用者2,973人） ・参加者の1日平均歩数：7,201歩 <p>○健幸マイレージ事業業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定方法：随意契約 ・委 託 先：日本健保株式会社 ・委託期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日 ・委託金額：3,168,000円のうち当課負担分2,471,040円 ※国民健康保険課と案分（78:22） ・内 容：参加者の情報及び歩数履歴の管理、市独自ポイントの集計とポイント付与メールの一斉配信 <p>○健幸マイレージ景品業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定方法：随意契約 ・委 託 先：株式会社 corot ・委託期間：令和4年12月13日～令和5年3月31日 ・委託金額：12,933,800円のうち当課負担分10,088,364円 ※国民健康保険課と案分（78:22） ・内 容：店舗との交渉及び連絡調整、お食事券等の印刷及び発送 		

事務事業名 出産・子育て応援事業（伴走型相談支援）	予算現額	26,416,000円
	決算額	0円
所 管 健康推進部健康づくり支援課	翌年度繰越額	26,416,000円
予算区分 款 4 項 1 目 4 説明 03 母子保健事業費	不用額	0円
事業概要 (R5-1 議案第2～8号 P.33)	前年度決算額	—
<p><事業の目的・内容></p> <p>全ての妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てができるよう、妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ伴走型相談支援の充実と出産育児関連用品の購入等の負担軽減を図るための経済的支援を一体的に実施するものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <p>伴走型相談支援の開始に向け、契約事務等を行った。</p> <p>○所沢市出産・子育て応援事業業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定方法：随意契約 ・委託先：トランス・コスモス株式会社 ・委託期間：令和5年3月27日～9月30日 ・委託金額：47,300,000円（こども政策課が契約）当課執行委任額 18,168,000円 ・内 容：電子マネーの調達、対象者への案内送付、申請受付、審査及び発送コールセンターの設置・運営 <p>○市民健康管理支援システム改修委託(出産・子育て応援事業対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定方法：随意契約 ・委託先：富士通 J a p a n 株式会社 埼玉支社 ・委託期間：令和5年3月6日～9月30日 ・委託金額：2,200,000円 ・内 容：対象者の抽出等、支給結果のデータ取込等の機能を追加する。 <p>※本事業については、予算額26,416,000円を令和5年度へ繰越明許し、実施する。</p>		

事務事業名 不妊検査・治療費等助成事業	予算現額	12,407,000円
	決算額	7,332,509円
所 管 健康推進部健康づくり支援課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 4 項 1 目 4 説明 03 母子保健事業費	不用額	5,074,491円
事業概要 (R4-1 議案第11～20号 P.106)	前年度決算額	11,109,066円
<p><事業の目的・内容></p> <p>晩婚化が進む中で、不妊の問題は一層深刻となっていることから、子どもを望む夫婦に対し早期の不妊検査及び治療に要する費用の一部を助成することにより、経済的負担の軽減を図るものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <p>○不妊検査費等助成事業（補助率：県10/10、事務費定額分10万円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成対象：医療機関において、夫婦が受けた不妊検査又は不育症検査に係る費用（妻年齢が43歳未満の夫婦） ・助 成 額：不妊検査及び不育症検査それぞれ2万円（上限） ・助成回数：1組の夫婦につき不妊検査及び不育症検査それぞれ1回限り ・助成件数：不妊検査129件、不育症検査9件 <p>○早期不妊治療助成事業（補助率：県1/2、事務費定額分10万円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成対象：県不妊治療費助成事業の初回助成の対象となった特定不妊治療に係る費用（妻年齢が35歳未満の夫婦） ・助 成 額：県の支給決定額を除いた金額。10万円（1回限り上限） ・助成件数：41件 		

環境クリーン部

1 マチごとエコタウン推進課

- (1) 脱炭素社会の実現に向けた各主体の責務を明らかにするとともに、施策の基本的な事項を定めた「所沢市脱炭素社会を実現するための条例」を制定した。
- (2) 無作為抽出により選出した市民に、脱炭素社会の実現に係る課題や方策等を議論してもらうことを目的として「マチごとゼロカーボン市民会議」を全5回開催した。
- (3) スマートハウス化推進補助事業では、断熱改修等のエコリフォームや太陽光発電等の導入に対して、その費用の一部を助成することにより、家庭から排出される二酸化炭素の排出量削減を推進した。
- (4) メガソーラー所沢及びフロートソーラー所沢の設置運営事業等により、市域での再生可能エネルギーの利用を推進した。
- (5) 世界首長誓約事業の一環として、国連気候変動枠組条約第27回締約国会議（COP27）のサイドイベントに市長が出席し、所沢市の取組等を世界に向けて発信した。

2 環境対策課

- (1) 大気汚染状況の常時監視事業として、常時監視測定局5局において、大気汚染物質（光化学オキシダント等）の監視測定を実施した。また、光化学スモッグ注意報等（注意報：5回）の発令時に、固定系防災行政無線及びところざわほっとメール等を利用し、市民に注意喚起を行った。
- (2) 公共用水域等汚濁状況の常時監視事業として、公共用水域においては、柳瀬川・東川・不老川の各地点で水質の監視測定を実施した（13地点×年12回）。また、地下水においては、概況調査（2地点）及び継続監視調査（16地点）を実施した。
- (3) ところざわ環境データブック作成事業として、大気・河川などの環境調査結果を取りまとめた「ところざわ環境データブック 2022年度版」を発行し、市内の環境情報を広く市民に周知した。

- (4) 規制対象事業所検査事業として、109 か所の大気規制対象事業所及び 52 か所の水質規制対象事業所に対して、立入検査又は報告徴収を行い、法令遵守不履行の事業所（大気規制対象事業所 10 か所、水質規制対象事業所 12 か所）については、注意等の指導を行った。

3 生活環境課

- (1) 「環境美化の日」市内一斉美化清掃活動について、環境推進員と連携して春と秋に実施し、町内会・自治会等から 40,040 人が参加し、65.5t のごみを回収した。
- (2) 一般家庭生活廃水くみ取り事業について、一般家庭から排出される生活廃水（し尿を除く。）のくみ取り（回数：742 回、くみ取り量：1,823,400ℓ、手数料：1,094,040 円）を行った。
- (3) 犬の登録・狂犬病予防注射管理事業について、新規に 1,340 頭を登録し、登録総数は 15,185 頭となった。また、狂犬病予防注射は、10,988 頭が接種を受け、狂犬病予防注射済票を交付した。その内訳は、集合注射が 1,814 頭（4 月 4 日～4 月 25 日：延べ 16 日間、市内 42 会場において実施）、動物病院での接種が 9,174 頭であった。
- (4) 歩きたばこ等防止啓発事業について、路上喫煙禁止地区内のパトロールの実施や市ホームページでの啓発を行い、歩行喫煙者調査では、平成 18 年度当初 2.19%であったものが、令和 4 年度は 0.04%へと減少した。
- (5) 害虫及び有害鳥獣駆除事業について、オオスズメバチの巣（1 件）、カラスの巣（2 件）の駆除及びアライグマの罠に入った錯誤捕獲のハクビシン（7 頭）の防除を行った。

また、埼玉県アライグマ防除実施計画に基づく「アライグマ個体分析調査業務単価契約」により、アライグマを 104 頭捕獲し、分析調査結果を県へ報告した。

4 みどり自然課

- (1) みどりの保全施策として、北岩岡・下富特別緑地保全地区及び北秋津・大堀山まちなかみどり保全地区の指定を行ったほか、「上山

口堀口天満天神社周辺里山保全地域」、「荒幡富士市民の森」、「三ヶ島二丁目里山保全地域」及び保存樹林指定地内の土地等、計 8 筆を購入し、公有地化した。

- (2) まちなかにおけるみどりを創出し、市民の憩いの場とするため、北中三丁目地内に市内 2 か所目の「みどりのエコスポット」を整備した。
- (3) 広く効果的に本市のみどりの魅力を発信し、保全への意識高揚を図るため、5 か所の緑地について、空撮等による紹介映像を作成した。
- (4) 大字上山口地内に残された貴重な水田の保全を図るため、地域団体（2 団体）との協働で、水田 5 筆について耕作、田植え、稲刈り等を行った。
- (5) みどりの保全及び緑化の推進に係る活動を行う団体や個人を対象とする「みどりのパートナー」(令和 4 年度末登録団体数 60 団体、登録者数 1,517 人)に対し、育成講座の開催や活動費助成等を行った。
- (6) 保存樹木、保存樹林、ふるさとの樹の永続的な指定のため、所有者への支援として 11 件の維持管理費補助を行った。

5 資源循環推進課

- (1) 総ごみ量は約 92,983t であり、前年度(約 96,021t)から約 3,038t の減、東西クリーンセンターにおける年間焼却量は約 75,538t で、前年度(約 78,569t)から約 3,031t の減、リサイクル率は 30.9% で、前年度(31.3%)から 0.4 ポイントの減となった。また、粗大ごみは、収集点数 27,279 点で、前年度(29,174 点)から約 6.5% 減少した。
- (2) 更なるごみの減量や効果的な資源化を推進するため、廃棄物減量等推進審議会(開催回数:5 回)に諮問し、所沢市一般廃棄物処理基本計画の中間改定について検討を進めた。
- (3) プラスチックごみ削減の取組として、公共施設に給水スポットを設置し、マイボトルの持ち歩きを促進した。

- (4) 第2一般廃棄物最終処分場整備事業については、建設地のうち1,513.29 m²の土地（全体取得率：100%）及び搬出入路用地のうち442.41 m²の土地（全体取得率：約94%）を取得した。また、処分場の設計及び建設を一括して行う事業者により、施設の設計を行った。
- (5) リサイクルふれあい館においてリデュース（発生抑制）、リユース（再使用）及びリサイクル（再生利用）に関する展示や各種体験講習会の開催、再生家具・古着・陶磁器等の頒布（全46,157点）を実施し、市民の意識啓発に努めた。

6 東部クリーンセンター

- (1) 焼却施設及びリサイクルプラザについては、施設運営の効率性の向上を図り、安定した稼働を確保するため、長期包括運營業務委託を引き続き実施し、委託事業者とともに質の高い施設運営に努めた。
- (2) 令和3年3月に完了した延命化工事による性能の向上により、発電量の増加や電力使用量の削減を図り、7,372,038kWhの余剰電力を売電した。
- (3) 本センターでのごみ受入量は、事業系11,576t、家庭系37,578tとなり、156,000台の搬入車両について迅速かつ適切な誘導等に努め、場内での安全を確保した。


7 西部クリーンセンター

- (1) 焼却施設及び容器包装プラスチック処理施設については、施設運営の効率性の向上を図り、安定した稼働を確保するため、長期包括運營業務委託を引き続き実施し、委託事業者とともに質の高い施設運営に努めた。
- (2) 北野一般廃棄物最終処分場（平成17年3月埋立終了）については、必要な水処理や環境測定を継続するなど適切な維持管理に努めた。なお、稼働開始から長期間経過して老朽化が著しい浸出液処理施設の延命化を図るため、改修工事を開始した。

- (3) 本センターでのごみ受入量は、事業系 2,106t、家庭系 25,462t となり、93,800 台の搬入車両について迅速かつ適切な誘導等に努め、場内での安全を確保した。



8 収集管理事務所


- (1) 市域の 30%のごみの収集を行うとともに、「所沢市家庭ごみ収集運搬業務の委託拡大に向けた計画」に基づき、市域の 70%分を業務委託し、安定した収集体制の維持に努めた。
- (2) ごみを出すことが困難な高齢者等に対して、戸口先まで直接伺い、ごみを収集する「ふれあい収集」（利用者数：742 世帯）を行った。

事務事業名 マチごとゼロカーボン市民会議開催事業	予算現額	5,008,000 円
	決算額	4,543,390 円
所 管 環境クリーン部マチごとエコタウン推進課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 4 項 1 目 3 説明 01 環境総務費	不用額	464,610 円
事業概要 (R4-1 議案第 11~20 号 P.108)	前年度決算額	—
<p><事業の目的・内容> 市民一人ひとりが脱炭素化に係る課題点や方策等を議論することを目的とした市民会議を開催し、ゼロカーボンシティ実現に向けた施策につなげていくものである。</p> <p><事業の実績・成果> グループワークを通して、一人一人が気候変動を自分事として捉え、問題意識を共有したことで、参加者全員に行動変容が見られた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>○マチごとゼロカーボン市民会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：8月21日(日)、9月25日(日)、10月23日(日)、11月27日(日)、12月18日(日) ・参加者：無作為抽出により選出した市民51人 <p>○所沢市マチごとエコタウン推進計画への反映</p> <p>市民会議で出された意見等を「所沢市マチごとエコタウン推進計画」の中間改定に反映させるため、会議の結果を報告書としてとりまとめ、所沢市環境審議会に提出した。</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>○マチごとゼロカーボン市民会議開催支援業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定方法：随意契約 ・委託先：一般社団法人環境政策対話研究所 ・委託期間：令和4年4月27日～令和5年3月31日 ・委託金額：2,948,000 円 ・委託内容：会議の運営、開催に必要な情報収集、関係者との連絡調整等 </div> </div> 		

事務事業名 公共施設太陽光発電導入調査事業	予算現額	14,239,000 円
	決算額	0 円
所 管 環境クリーン部マチごとエコタウン推進課	翌年度繰越額	14,223,000 円
予算区分 款 4 項 1 目 3 説明 01 環境総務費	不用額	16,000 円
事業概要 (R4-1 議案第 11~20 号 P.109)	前年度決算額	—
<p><事業の目的・内容> ゼロカーボンシティ実現に向けて、更なる再生可能エネルギーの導入を推進するため、太陽光発電設備が未設置の公共施設への導入に係る調査を実施するものである。</p> <p><事業の実績・成果> 調査対象の72施設のうち、耐震基準や屋根の形状、想定出力規模等の観点から導入可能性が高く、同様の施設への水平展開がしやすい20施設を絞り込み、現地調査等の詳細調査を実施した。また、本調査結果を今後の公共施設への太陽光発電設備の導入計画の基礎データとして、PPAやリースによる初期費用を抑えた導入手法を検討していくこととした。</p> <p>○公共施設太陽光発電導入調査委託</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定方法：公募型プロポーザル（5者） ・委託先：株式会社建設技術研究所関東事務所 ・委託期間：令和4年9月20日～令和5年4月30日 ・委託金額：14,223,000 円 ・委託内容：太陽光発電未導入の公共施設を対象とした現地調査、導入手法の検討等 <p>※本事業については、予算額14,223,000円を令和5年度に繰越明許し、実施する。</p>		

事務事業名 再生可能エネルギー普及推進事業	予算現額	64,757,000円
	決算額	64,709,165円
所管 環境クリーン部マチごとエコタウン推進課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 4 項 1 目 3 説明 01 環境総務費	不用額	47,835円
事業概要 (R4-1 議案第11~20号 P.110)	前年度決算額	64,550,220円
<p><事業の目的・内容></p> <p>所沢市マチごとエコタウン推進計画に基づき、脱炭素社会の実現に向け、市域の再生可能エネルギー利用を推進するものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メガソーラー所沢、フロートソーラー所沢の設置運営事業 ・市有施設の屋根貸しによる太陽光発電推進事業 		
		
<p><事業の実績・成果></p> <p>メガソーラー所沢及びフロートソーラー所沢について適切に管理運営することで、市域における再生可能エネルギーの普及を図るとともに、メガソーラー所沢、フロートソーラー所沢及び市有施設の屋根貸しによる太陽光発電により発電した電力を株式会社ところざわ未来電力に特定卸で供給し、電力の地産地消に貢献した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メガソーラー所沢 売電量：1,103,097kWh、売電額：43,682,634円 ・フロートソーラー所沢 売電量：458,445kWh、売電額：12,102,944円 ・市有施設の屋根貸しによる太陽光発電 発電量：993,950kWh 		

事務事業名 COP27サイドイベント参加事業（国際都市地域間協力プロジェクト推進事業の一環）	予算現額	1,740,000円																												
	決算額	1,714,416円																												
所管 秘書室、環境クリーン部マチごとエコタウン推進課	翌年度繰越額	0円																												
予算区分 款 項 目 説明 (下記のとおり)	不用額	25,584円																												
事業概要 (R4-臨時1 議案第72号 P.5)	前年度決算額	—																												
<p><事業の目的・内容></p> <p>世界首長誓約事業の一環として、日本の誓約自治体の取組を発信することを目的とし、国連気候変動枠組条約第27回締約国会議（COP27）のサイドイベントに市長が出席するものである。</p>																														
<p><事業の実績・成果></p> <p>3つのサイドイベント（会議）に参加し、所沢市の地球温暖化対策の取組事例や自治体としての気候変動対策をリードしていく姿勢を世界に向けて発信した。</p>																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>主催者</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世界気候エネルギー首長誓約</td> <td>防災：都市からの声</td> </tr> <tr> <td>イクレイ</td> <td>持続可能な社会の実現に向けた都市の役割</td> </tr> <tr> <td>環境省・OECD</td> <td>ゼロカーボンシティ実現に向けた先行的取組</td> </tr> </tbody> </table>			主催者	内容	世界気候エネルギー首長誓約	防災：都市からの声	イクレイ	持続可能な社会の実現に向けた都市の役割	環境省・OECD	ゼロカーボンシティ実現に向けた先行的取組																				
主催者	内容																													
世界気候エネルギー首長誓約	防災：都市からの声																													
イクレイ	持続可能な社会の実現に向けた都市の役割																													
環境省・OECD	ゼロカーボンシティ実現に向けた先行的取組																													
<p><決算額内訳></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>所管</th> <th>款</th> <th>項</th> <th>目</th> <th>説明</th> <th>事業</th> <th>決算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>秘書室</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>02</td> <td>秘書経費</td> <td>638,408円</td> </tr> <tr> <td>マチごとエコタウン推進課</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>01</td> <td>環境総務費</td> <td>1,076,008円</td> </tr> <tr> <td colspan="6">合計</td> <td>1,714,416円</td> </tr> </tbody> </table>			所管	款	項	目	説明	事業	決算額	秘書室	2	1	1	02	秘書経費	638,408円	マチごとエコタウン推進課	4	1	3	01	環境総務費	1,076,008円	合計						1,714,416円
所管	款	項	目	説明	事業	決算額																								
秘書室	2	1	1	02	秘書経費	638,408円																								
マチごとエコタウン推進課	4	1	3	01	環境総務費	1,076,008円																								
合計						1,714,416円																								
 																														

事務事業名 緑地紹介映像作成事業	予算現額	605,000 円
	決算額	586,850 円
所 管 環境クリーン部みどり自然課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 4 項 1 目 3 説明 04 みどり推進費	不用額	18,150 円
事業概要 (R4-1 議案第 11～20 号 P. 112)	前年度決算額	—
<p><事業の目的・内容></p> <p>これまで、みどりの保全への理解促進のため、みどりのふれあいウォークや、市民フェスティバルにおける展示等を実施してきたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により実施が困難な状況が続き、みどりの啓発の機会も減少したため、緑地の紹介映像を制作することで広く効果的に本市のみどりの魅力を発信し、みどりの保全への意識高揚を図るものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <p>荒幡富士特別緑地保全地区、くぬぎ山特別緑地保全地区、菩提樹池里山保全地域、三ヶ島二丁目里山保全地域、上山口堀口天満天神社周辺里山保全地域の 5 か所について、春季及び秋季における空撮を中心とした紹介映像を作成した。</p> <p>○緑地紹介映像作成業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定方法：指名競争入札（3 者） ・委託先：株式会社ヒロセ・スタジオ ・委託期間：令和 4 年 4 月 19 日～12 月 16 日 ・委託金額：586,850 円 ・内 容：緑地紹介映像の撮影及び編集 		
		

事務事業名 里山保全地域等指定整備事業	予算現額	59,160,850 円
	決算額	37,450,606 円
所 管 環境クリーン部みどり自然課	翌年度繰越額	20,480,906 円
予算区分 款 4 項 1 目 3 説明 04 みどり推進費	不用額	1,229,338 円
事業概要 (R4-1 議案第 11～20 号 P. 113)	前年度決算額	67,274,513 円
<p><事業の目的・内容></p> <p>本事業は、市内に残された貴重な緑地を保全し、未来の子どもたちにふるさと所沢のみどりを継承するため、地権者等の協力を得ながら、都市緑地法等に基づく緑地保全制度の指定を行い、保管理計画を策定するほか、相続や開発等により消失の恐れがある緑地について、土地の取得（寄附受入れを含む。）により、公有地化を行うものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <p>○地域制緑地の指定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北岩岡・下富特別緑地保全地区(大字北岩岡 25 番 3 外)の指定 指定面積：7.13ha（令和 5 年 2 月 1 日指定） ・北秋津・大堀山まちなかみどり保全地区(大字北秋津 353 番 5 外)の指定 指定面積：5,675.36 m²（令和 4 年 5 月 24 日指定） <p>○土地の購入による公有地化</p> <p>上山口堀口天満天神社周辺里山保全地域内、荒幡富士市民の森内、三ヶ島二丁目里山保全地域内、保存樹林指定地内の土地の一部を埼玉県と 2 分の 1 ずつ取得した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所在：大字上山口 446 番 1 外 1 筆、大字荒幡 585 番 1 外 3 筆、三ヶ島二丁目 491 番 1 外 1 筆 ・面積：9,575.27 m²（本市 4,792.06 m²、県 4,783.21 m²） <p>※本事業については、予算額 20,480,906 円を令和 5 年度に繰越明許し、実施する。</p>		

事務事業名 みどりのエコスポット整備事業	予算現額	5,200,000円
	決算額	4,996,200円
所管 環境クリーン部みどり自然課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 4 項 1 目 3 説明 04 みどり推進費	不用額	203,800円
事業概要 (R4-1 議案第11～20号 P.114)	前年度決算額	4,367,000円
<p><事業の目的・内容></p> <p>本事業は、所沢市みどりの基本計画において重点的に緑化に配慮すべき区域とした「緑化重点地区」内の低未利用地のうち、300㎡未満の土地について、市民の憩いの場として整備することで、みどりの貴重なまちなかにおいて動植物の生息・生育地を創出するものである。</p>		
<p><事業の実績・成果></p> <p>北中三丁目地内に、みどりのエコスポット1か所の整備を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所：北中三丁目4番2 外2筆 ・面積：120.27㎡ <p>○みどりのエコスポット整備工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定方法：指名競争入札（3者） ・契約先：株式会社本橋園 ・工期：令和4年12月27日～令和5年3月15日 ・契約金額：4,996,200円 ・内容：既設柵撤去、ナツハゼ・コナラ等在来種の植樹、草花植生マットの植栽、張芝、浸透柵の設置、市内樹林地の間伐材によるベンチの設置 		
		
		

事務事業名 一般廃棄物減量化方策推進事業	予算現額	12,078,000円
	決算額	11,631,815円
所管 環境クリーン部資源循環推進課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 4 項 2 目 1 説明 02 清掃総務事務費	不用額	446,185円
事業概要 (R4-1 議案第11号～20号 P.116)	前年度決算額	26,010,278円
<p><事業の目的・内容></p> <p>本市におけるごみ量の減少率の鈍化やこれまでの所沢市廃棄物減量等推進審議会の答申を踏まえ、更なるごみ減量・資源化の推進に向けて、引き続き同審議会で審議を進めるとともに、ごみ処理手数料の見直しや他市の先進的な事例の調査を行い、所沢市一般廃棄物処理基本計画の改定作業を進めるものである。</p>		
<p><事業の実績・成果></p> <p>○所沢市廃棄物減量等推進審議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催状況：6月30日、8月22日、10月31日、12月26日、令和5年3月9日の計5回開催 ・内容：所沢市一般廃棄物処理基本計画の改定について <p>○所沢市一般廃棄物減量化方策推進業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定方法：指名競争入札（6者） ・委託先：国際航業株式会社 埼玉支店 ・委託期間：令和4年6月23日～令和5年3月31日 ・委託金額：11,000,000円 ・内容：所沢市一般廃棄物処理基本計画改定作業及び審議会における資料作成支援等 		

事務事業名 第2一般廃棄物最終処分場整備事業	予算現額	601,231,306円
	決算額	465,964,496円
所管 環境クリーン部資源循環推進課	翌年度繰越額	38,552,000円
予算区分 款4項2目2説明06 一般廃棄物最終処分場整備費	不用額	96,714,810円
事業概要 (R4-1 議案第11~20号 P.117) (R4-4 議案第73~75号 P.26)	前年度決算額	120,657,902円
<p><事業の目的・内容></p> <p>市内で発生する一般廃棄物の最終処分については、市外の最終処分場と市内の北野一般廃棄物最終処分場で行ってきたが、北野一般廃棄物最終処分場の埋立てが平成17年3月末をもって終了したため、自区内処理の原則に基づき、市内に新たな一般廃棄物最終処分場を整備するものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <ul style="list-style-type: none"> 最終処分場用地購入実績：地権者数2名、筆数2筆、購入面積1,513.29㎡（全体面積の100%を購入済） 搬出入路用地購入実績：地権者数1名、筆数1筆、購入面積442.41㎡（全体面積の約94%を購入済） 処分場の設計及び建設を一括して行う事業者として、令和3年度に契約締結した戸田建設株式会社関東支店により、施設の設計を行った。 <p>○第2一般廃棄物最終処分場施工監理業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> 選定方法：指名競争入札（4者） 委託先：株式会社エイト日本技術開発 北関東支店 委託期間：令和4年8月24日～令和7年10月31日 委託金額：117,876,000円（令和4年度支払額2,673,000円） 内容：最終処分場の設計・建設工事についての監理業務 <p>※本事業については、予算額38,552,000円を令和5年度へ逐次繰越し、実施する。</p>		

事務事業名 東部クリーンセンター長期包括運營業務委託に係る家庭ごみ等受入業務追加事業	予算現額	—
	決算額	—
所管 環境クリーン部東部クリーンセンター	翌年度繰越額	—
予算区分 款4項2目2説明03 東部クリーンセンター費	不用額	—
事業概要 (R4-3 議案第53~57号 P31)	前年度決算額	—
<p><事業の目的・内容></p> <p>本事業は、第2次所沢市定員管理計画を踏まえ策定された清掃等現業業務委託拡大計画に基づき、令和5年度からプラットホームにおける受入業務を、令和7年度から計量受付業務を委託化するもので、既に締結済の長期包括運營業務委託契約に追加し実施するものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <p>○東部クリーンセンター長期包括運營業務委託（家庭ごみ受入業務分）</p> <ul style="list-style-type: none"> 選定方法：公募型プロポーザル（1者） 委託先：JFEエンジニアリング株式会社 委託期間：令和4年10月31日～令和18年3月31日 （運営期間は、令和5年4月1日～令和18年3月31日） 委託金額：1,980,000,000円（13年総額） 内容：①プラットホーム受入業務（有資格者（フォークリフト、ショベルローダー等）によるごみの受入れ、仕分け、粗大ごみ破砕、重機による搬出物の移動・積み込み等）（令和5年度～） ②計量受付業務（受付、計量、手数料の徴収等）（令和7年度～） 		

事務事業名 北野一般廃棄物最終処分場浸出液処理施設整備事業	予算現額	135,069,000 円
	決算額	52,800,000 円
所 管 環境クリーン部西部クリーンセンター	翌年度繰越額	82,269,000 円
予算区分 款 4 項 2 目 2 説明 4 西部クリーンセンター費	不用額	0 円
事業概要 (R4-1 議案第 11～20 号 P.118)	前年度決算額	—
<p><事業の目的・内容></p> <p>本事業は、稼働開始から長期間経過して老朽化が著しい北野一般廃棄物最終処分場の浸出液処理施設について、延命化を図るものである。浸出液処理施設の延命化に当たっては、埋立物の安定化が進み浸出液の水質が改善していることから、水質に合わせた処理システムを構築し、改修費用の削減とランニングコストの低減を図る。</p> <p><事業の実績・成果></p> <p>6月20日に工事契約を締結、仮設工事を施し、第1期撤去工事を終えた。部品の供給不足により、メーカーからの納品が遅れたため、工期を延期した。</p> <p>○北野一般廃棄物最終処分場浸出液処理施設改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定方法：一般競争入札（5者） ・契約先：株式会社糟谷設備工業所 ・工期：令和4年6月20日～令和5年11月30日 ・契約金額：132,220,000 円（令和4年度支払額 52,800,000 円） ・内容：北野一般廃棄物最終処分場浸出液処理施設の老朽化に伴う更新工事 <p>※本事業については、予算額 82,269,000 円を令和5年度に繰越明許し、実施する。</p>		

産 業 経 済 部

1 産業振興課

- (1) 所沢元気回復プロジェクト事業として、運送事業者支援事業を実施し、市民生活及び地域産業を支える物流サービスの担い手であり、コロナ禍における原油価格高騰による影響を大きく受けている運送事業者に対し、事業継続と経営維持を支援し、市民生活等への影響を軽減することを目的に事業用貨物自動車1台につき30,000円、事業用貨物軽自動車1台につき10,000円を給付した。
- (2) 産業施策として、所沢ブランド特産品創出支援事業において、新たに5品の特産品を認定するとともに、パンフレットやウェブサイト、市民フェスティバルへの出店等により積極的なPRに努めた。
- (3) 企業誘致施策として、市内へ工場等を立地した企業に対し企業立地等奨励金の交付や、事務所等を新たに賃貸し、製造業や都市型産業を営む企業に対し都市型産業等育成補助金の交付を行うとともに、企業誘致PR動画の作成及び製造業者へダイレクトメール発送を行いPRに努めた。
- (4) 労働施策として、指定管理者による勤労者福祉施設ラク所沢の運営を実施したほか、国や県と連携した就労支援事業や労働セミナーの実施や中小企業勤労者福祉サービスセンターへの支援を行った。

2 商業観光課

- (1) 観光振興策として、「航空発祥の地 所沢」を市内外に更にPRするため、日本初の飛行場跡地に整備されている所沢航空記念公園などを舞台に航空に関する歴史等を伝える短編映画を製作し、令和5年3月25日に所沢航空発祥記念館大型映像館で上映会を実施した。
- (2) 商業振興策として、魅力ある商店街創出支援事業において商店街事業及び商店街の施設環境整備について補助事業を実施した。
- (3) COOL JAPAN FOREST 構想の一環として、以下のとおり取り組んだ。
 - ① 所沢市観光情報・物産館 Y O T - T O K O (よっとこ) を、所

沢市の特産品の販売等を通じた魅力発信拠点にするため、指定管理者による管理運営を行った。

- ② 今後のインバウンド需要を取り込むため、11月4日から7日まで台湾の台北市で開催された「台北国際旅行博」に本市のブースを出展し、市のPRを行った。

3 農業振興課


- (1) 所沢元気回復プロジェクト事業として、コロナ禍における肥料、飼料のほか農産物の生産に必要な燃料費の価格高騰により影響を受けている農業生産者等に対し、経費の負担増の一部について支援を行った。
- (2) 「所沢市農業振興地域整備計画」に基づき適切な農用地管理を進めるとともに、全国的な課題となっている高齢化や後継者不足を起因とした農地の遊休化を未然に防ぐため、積極的に農地の貸借を進め、本市の農業の担い手となる認定農業者や認定新規就農者の規模拡大を支援した。
- (3) 農業者への農業経営支援として、認定農業者に対しては認定農業者等経営改善推進事業を、新規就農者に対しては経営開始資金事業などをそれぞれ進め、次世代の農業者育成に取り組んだ。
- (4) 所沢産農産物への支援として、お茶の香りを発する「茶香炉」を市の公共施設等に設置するとともに、イベント等で活用することにより市内外に本市が狭山茶の産地であることをPRした。さらに、さといもの安定した生産と品質向上を目指すため、農業者等が取り組む事業の経費に対して補助を行った。

事務事業名 運送事業者支援事業(所沢元気回復プロジェクト)	予算現額	124,160,000円
	決算額	88,929,459円
所管 産業経済部産業振興課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 7 項 1 目 2 説明 03 産業振興費	不用額	35,230,541円
事業概要 (R04-臨時1 議案第72号 P.8)	前年度決算額	—
<p><事業の目的・内容></p> <p>貨物運送事業者は、市民生活及び地域産業を支える物流サービスの担い手であり、コロナ禍における原油価格高騰による影響を大きく受けていることから、事業継続と経営維持を支援し、市民生活等への影響を軽減することを目的に支援金を給付するものである。</p> <p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象者：以下の要件全てを満たす者 <ul style="list-style-type: none"> ①市内に事業所がある法人又は個人事業者 ②貨物自動車運送事業法の許可を得ている事業者及び貨物軽自動車運送事業の経営届出を行っている事業者（一般貨物自動車運送事業、特定貨物自動車運送事業、貨物軽自動車運送事業（軽普通自動車のみ）を営む事業者） ③市内で事業を営んでおり、今後も市内で引き続き事業を継続する意思があること 交付額：事業用貨物自動車（緑ナンバー） 1台につき30,000円 事業用貨物軽自動車（黒ナンバー） 1台につき10,000円 <p><事業の実績・成果></p> <ul style="list-style-type: none"> 申請期間：令和4年10月19日～令和5年2月17日 支給件数：216件（法人162件、個人54件） 支給台数：3,355台（事業用貨物自動車2,767台、事業用貨物軽自動車588台） 支給額：88,890,000円 		

事務事業名 企業誘致活動推進事業	予算現額	202,585,000円																	
	決算額	202,023,600円																	
所管 産業経済部産業振興課	翌年度繰越額	0円																	
予算区分 款 7 項 1 目 2 説明 03 産業振興費	不用額	561,400円																	
事業概要 (R4-1 議案第11～20号 P.123)	前年度決算額	25,638,465円																	
<p><事業の目的・内容></p> <p>本事業は、本市の立地環境を活かし、製造業、都市型産業（※）等の立地・拡大の推進及び育成に向け、奨励金又は補助金の交付等を行い、市内経済の活性化、雇用の創出及び税収の確保を図るものである。</p> <p>※都市型産業：情報通信業、アニメーション・コンテンツ・ICT関連産業、宿泊施設、社員20人以上の本社等をいう。</p> <p><事業の実績・成果></p> <ul style="list-style-type: none"> 企業立地等奨励金の交付 <table border="1"> <thead> <tr> <th>奨励金の種類</th> <th>交付件数</th> <th>交付額</th> <th>業種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工場等立地奨励金</td> <td>6件</td> <td>192,482,600円</td> <td rowspan="2">製造業・情報通信業</td> </tr> <tr> <td>雇用促進奨励金</td> <td>1件</td> <td>3,000,000円</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 都市型産業等育成補助金の交付 <table border="1"> <thead> <tr> <th>交付件数</th> <th>交付額</th> <th>業種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5件</td> <td>5,940,000円</td> <td>製造業・情報通信業</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 製造業、都市型産業等の誘致に係る市の特性及び産業支援策等のPR <p>埼玉県主催の企業立地セミナーin名古屋への情報提供、企業誘致PR動画の作成、市内160社及び北海道、東北、中国、四国、九州地方に所在地のある製造業約500社へダイレクトメール発送を実施。</p>			奨励金の種類	交付件数	交付額	業種	工場等立地奨励金	6件	192,482,600円	製造業・情報通信業	雇用促進奨励金	1件	3,000,000円	交付件数	交付額	業種	5件	5,940,000円	製造業・情報通信業
奨励金の種類	交付件数	交付額	業種																
工場等立地奨励金	6件	192,482,600円	製造業・情報通信業																
雇用促進奨励金	1件	3,000,000円																	
交付件数	交付額	業種																	
5件	5,940,000円	製造業・情報通信業																	

事務事業名 「フランス航空教育団と日仏交流」 次の100年事業	予算現額	15,000,000円
	決算額	14,995,255円
所管 産業経済部商業観光課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 7 項 1 目 3 説明 01 観光振興費	不用額	4,745円
事業概要 (R4-1 議案第11~20号 P.124)	前年度決算額	—
<p><事業の目的・内容></p> <p>日本初の飛行場跡地に整備されている所沢航空記念公園について、航空に関する歴史等を伝える短編映画の製作、発信等により、観光資源としての魅力を磨き上げ、アフターコロナを見据えた市内のマイクロツーリズムを推進するとともに、フランス航空教育団を通じた日仏交流の更なる推進を図るものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・約40分の短編映画を製作し、完成後に上映会を開催した。 ・上映会 会場：所沢航空発祥記念館大型映像館 参加人数：130名 アンケート回答件数：41件 <p>○フランス航空教育団短編映画作成等業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定方法：プロポーザル方式(1者) ・委託先：株式会社JTB 川越支店 ・委託期間：令和4年6月15日 ～令和5年3月31日 ・委託金額：14,995,255円 ・内容：①短編映画の製作 ②上映会の開催(令和5年3月25日実施) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>アンケート結果(複数回答)</p> <p>【映画を見た感想】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所沢がなぜ航空発祥の地と言われるのか理解できた。：29件 ・他の人にもこの作品を観てもらいたい。：26件 ・所沢に愛着を(より一層)持った。：22件 ・フランスに親しみを持った。：19件 ・映画に出てきた史跡などを見に行きたいと思った。：14件 ・所沢とフランスの関係に驚いた。：13件 </div>		

事務事業名 「所沢市観光情報・物産館」活用事業(COOL JAPAN FOREST 構想事業)	予算現額	119,161,000円																					
	決算額	111,796,201円																					
所管 産業経済部商業観光課	翌年度繰越額	0円																					
予算区分 款 7 項 1 目 3 説明 01 観光振興費	不用額	7,364,799円																					
事業概要 (R4-1 議案第11~20号 P.125)	前年度決算額	659,457,920円																					
<p><事業の目的・内容></p> <p>本事業は、令和3年5月29日に開館した所沢市観光情報・物産館を、本市の観光資源や特産物等の魅力発信拠点として運営し、効果的に活用していくものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度の来館者数(推計)：約30万人 ・SNS(Instagram、Facebook、中国SNS「Weibo」等)や情報発信コーナーでの企画展示等により本市の魅力を発信 ・令和4年5月29日にYOT-TOKO1周年祭を開催 <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>【駐車場の利用状況】</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th></th> <th>駐車料金収入</th> <th>利用台数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般車</td> <td>12,817,000円</td> <td>54,898台</td> </tr> <tr> <td>大型車</td> <td>1,132,280円</td> <td>326台</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div style="width: 45%;"> <p>【特産品販売所及び飲食スペースの利用状況】</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th></th> <th>総売上</th> <th>売上点数</th> <th>レジ取引件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特産品販売所</td> <td>87,205,101円</td> <td>198,767点</td> <td>55,797件</td> </tr> <tr> <td>JIGONA cafe</td> <td>29,522,964円</td> <td>57,221点</td> <td>24,704件</td> </tr> </tbody> </table> </div> </div> <p>○所沢市観光情報・物産館の管理運営業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者：所沢まちづくり共同事業体 ・指定期間：令和3年5月1日～令和6年3月31日 ・契約金額：207,689,912円 (令和4年度支払額 64,823,912円) ・内容：所沢市観光情報・物産館の利用許可、利用料金の徴収、施設の維持管理等 <p>○旧コンポストセンター跡地利活用事業契約(PFI事業契約)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定方法：プロポーザル方式(1者) ・契約先：平岩建設株式会社 ・契約期間：平成30年10月4日～令和13年4月30日 ・契約金額：948,934,567円 (令和4年度支払額 39,935,544円) ・内容：所沢市観光情報・物産館の設計・建設、開設準備等 				駐車料金収入	利用台数	一般車	12,817,000円	54,898台	大型車	1,132,280円	326台		総売上	売上点数	レジ取引件数	特産品販売所	87,205,101円	198,767点	55,797件	JIGONA cafe	29,522,964円	57,221点	24,704件
	駐車料金収入	利用台数																					
一般車	12,817,000円	54,898台																					
大型車	1,132,280円	326台																					
	総売上	売上点数	レジ取引件数																				
特産品販売所	87,205,101円	198,767点	55,797件																				
JIGONA cafe	29,522,964円	57,221点	24,704件																				

事務事業名 香(こう)感度アップ! 狭山茶PR事業	予算現額	1,211,000円
	決算額	1,184,700円
所管 産業経済部農業振興課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 6 項 1 目 3 説明 02 園芸特産物振興費	不用額	26,300円
事業概要 (R4-1 議案第11~20号 P.119)	前年度決算額	—
<p><事業の目的・内容></p> <p>お茶の香りを発する「茶香炉」(※)を市の公共施設等に設置するとともに、イベント時等の活用を通じて、その香ばしい香り、市内外に本市が狭山茶の産地であることをPRするものである。</p> <p>※茶香炉：茶葉を熱して香りを出す機器</p> <p>本事業では製造工程で出る粉状の切れ端を集めた粉茶を使う</p> <p><事業の実績・成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・常設：2台（所沢市役所別館、所沢市観光情報・物産館） ・通年貸出：7台（狭山ヶ丘コミュニティセンター、市民活動支援センター、まちづくりセンター5か所（松井・富岡・柳瀬・三ヶ島・所沢）） ・一時貸出：2台（マイナポイント受付会場、ほか各種イベント、延べ77日間） ・茶香炉用茶葉：201kg ・狭山茶PR用マグネット：2種類 		
		

事務事業名 物価高騰に負けるな 所沢市農業者支援事業（所沢元気回復プロジェクト）	予算現額	177,743,000円
	決算額	43,721,550円
所管 産業経済部農業振興課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 6 項 1 目 3 説明 01 農業振興対策費	不用額	134,021,450円
事業概要 (R4-3 議案第53~57号 P.32)	前年度決算額	—
<p><事業の目的・内容></p> <p>コロナ禍における肥料、飼料のほか農産物の生産に必要な燃料費の価格高騰により大きな影響を受けている農業生産者等に対し、経営負担の軽減を図るため、経費の負担増の一部を補助するものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・申請受付期間：令和4年10月4日～令和5年1月31日 ・申請場所：所沢市役所別館で常時受付 富岡・柳瀬・三ヶ島まちづくりセンターで出張受付（計12回） ・申請件数：317件 ・補助金交付額：43,677,000円 		

街づくり計画部

1 都市計画課

- (1) パブリック空間創出・利活用推進事業では、街なかの回遊性と賑わいの創出を目的とした社会実験「TOKOROZAWA STREET PLACE」を実施するとともに、当該実験の実施報告及び地元事業者や有識者によるトークセッションを行うフォーラムを開催した。
- (2) 地域公共交通計画策定事業では、地域公共交通の状況などに関する基礎調査等の結果を踏まえ、所沢市地域公共交通計画を策定した。
- (3) 地域循環乗合ワゴン（ところワゴン）実証運行事業では、柳瀬地区において「ところワゴン」の実証運行を開始するとともに、富岡地区においても実証運行を開始するための準備を進めた。
- (4) 市内循環バス（ところバス）運行事業として4路線6コースを運行し、334,275人の利用があった。なお、西路線は、令和3年度の10便から、令和4年度は22便に増便した。

2 市街地整備課

- (1) 日東地区まちづくり事業では、所沢東町地区第一種市街地再開発事業を実施している市街地再開発組合に対して支援・指導を行うとともに、令和3年度補助対象事業のうち、令和4年度へ繰り越していた事業区域内における都市計画道路の拡幅整備に係る補助金を交付した。また、これと併せて実施しているファルマン通り交差点改良事業において、施工範囲の測量及び交差点改良工事を行った。さらに、両事業と一体的に実施しているファルマン通り交差点外無電柱化整備事業において、主に都市計画道路中央通り線の東側及び都市計画道路所沢浦和線の南側に電線共同溝の設置工事を実施した。
- (2) 土地利用転換推進事業では、北秋津・上安松地区、下安松東地区、三ヶ島工業団地周辺地区などにおいて地権者組織等が実施する事業に対する費用の助成や、都市計画道路北原安松線の道路予備設計など必要な業務委託を行った。

- (3) 市営住宅東所沢和田団地施設整備事業では、「所沢市公共施設長寿命化計画」及び「所沢市営住宅等長寿命化計画」に基づき、東所沢和田団地東棟及び付属施設の屋根及び外壁の改修工事を行った。

3 開発指導課

街づくり条例に基づく開発事業申請 106 件、都市計画法に基づく申請の主なものとして開発許可 56 件、建築許可 67 件、適合証明 208 件（うち手数料免除 6 件）の処理を行った。

4 建築指導課

(1) 計画変更を含む建築確認申請 13 件、計画変更を含む計画通知（行政が建てる建築物の通知）8 件、中間・完了検査（計画通知を含む。）13 件、建築許可申請及び認定申請 31 件、道路位置指定申請（変更・取消しを含む。）18 件、屋外広告物許可申請 346 件、道路位置指定図の写しの交付 2,328 件、建築計画概要書等の写しの交付 5,239 件、長期優良住宅建築等計画の認定申請 450 件、低炭素建築物新築等計画の認定申請 79 件、建築物エネルギー消費性能向上計画の認定申請 9 件の処理を行った。



(2) 住宅等の地震に対する安全確保の取組として、我が家の耐震診断・耐震改修補助事業において、耐震診断 6 件、耐震改修 1 件に対し、補助金を交付した。


5 所沢駅西口区画整理事務所

(1) 所沢駅ふれあい通り線道路築造事業（1 工区）では、所沢市土地開発公社から用地を買い戻したほか、道路の詳細設計や周知看板作成等の業務委託を行った。また、「所沢駅ふれあい通り線と西武鉄道池袋及び新宿線との立体交差化事業に伴う鉄道施設移設の施行に関する協定書」に基づき、西武鉄道株式会社が線路等の移設工事を行った。

(2) 所沢駅西口地区まちづくり事業では、所沢駅西口北街区第一種市

街地再開発事業が完了し、所沢駅西口北街区市街地再開発組合が解散した。また、歩行者ネットワーク形成に向けた各歩行者デッキの詳細設計や所沢駅西口駅前広場整備検討のための業務委託を行った。

事務事業名 パブリック空間創出・利活用推進事業	予算現額	3,300,000円
	決算額	3,300,000円
所管 街づくり計画部都市計画課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 8 項 4 目 1 説明 02 都市計画事務費	不用額	0円
事業概要 (R4-1 議案第 11~20 号 P.129)	前年度決算額	—
<p><事業の目的・内容></p> <p>令和3年度に策定した「所沢駅周辺グランドデザイン」に示す街のビジョンの実現に向けた具体的な取組として、街なかの回遊性と賑わいを創出することを目的に、パブリックスペースを活用した社会実験を実施した。</p> <p><事業の実績・成果></p> <ul style="list-style-type: none"> 社会実験の実施（令和4年11月19日及び11月20日の2日間） 秋田家住宅及び銀座中央広場 フォーラムの開催（令和5年2月5日） 参加者：92人 <p>○パブリック空間創出・利活用推進事業支援業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> 選定方法：随意契約 委託先：株式会社アール・エフ・エー 委託期間：令和4年6月9日～令和5年3月24日 委託金額：3,300,000円 内容：所沢駅周辺エリアのパブリックスペースにおける社会実験の実施やフォーラムの開催 		
		 <p>銀座中央広場</p>
		 <p>秋田家住宅</p>

事務事業名 地域循環乗合ワゴン（ところワゴン）実証運行事業	予算現額	83,677,200円
	決算額	53,985,353円
所管 街づくり計画部都市計画課	翌年度繰越額	17,916,954円
予算区分 款 8 項 4 目 1 説明 03 交通政策費	不用額	11,774,893円
事業概要 (R4-1 議案第 11 号~20 号 P.130) (R4-3 議案第 53 号~57 号 P.34) (R5-1 議案第 2 号~8 号 P.37)	前年度決算額	23,312,343円
<p><事業の目的・内容></p> <p>住まいと駅周辺の都市拠点を結ぶ公共交通ネットワークの構築に向けた取組として、新たな公共交通である乗合ワゴン「ところワゴン」の実証運行を行っている。</p> <p>令和3年度から運行を開始した三ヶ島地区ところワゴンは、令和4年度にルートの一部変更し利用促進を図った。また、令和4年度から、柳瀬地区においても実証運行を開始した。</p> <p><事業の実績・成果></p> <p>○所沢市地域公共交通アドバイザーの活用：1回</p> <p>○意見交換会等の開催：三ヶ島地区2回、柳瀬地区3回、富岡地区2回</p> <p>○ところワゴン実証運行事業（運行事業者：西武ハイヤー株式会社）</p> <p>【三ヶ島地区】利用者数：林・糞谷ルート 19,403人、三ヶ島ルート 13,339人、若狭ルート 1,844人 運賃収入：3,610,045円、運行補償費：22,092,566円、収支率：14.0% *R4.11.30から「若狭・三ヶ島ルート」を「若狭ルート」「三ヶ島ルート」に分けて運行を開始</p> <p>【柳瀬地区】利用者数：日比田・南永井ルート 441人、本郷・坂之下ルート 387人 運賃収入：91,728円、運行補償費：1,990,022円、収支率：4.4% *柳瀬地区はR5.3.7~R5.3.31分の実績値</p> <p>【富岡地区】令和5年1月に運行事業者と運行協定を締結し、事業実施に向けた準備を進めた。</p> <p>○令和5年度に向けて、引き続き運行協定を締結するための準備を進めた。</p> <p>※本事業については、令和5年度へ予算額4,081,000円を繰越明許し、また、予算額13,835,954円を事故繰越し、実施する。</p>		
		

事務事業名 交通事業者支援給付事業	予算現額	23,870,000 円
	決算額	23,550,000 円
所 管 街づくり計画部都市計画課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 8 項 4 目 1 説明 03 交通政策費	不用額	320,000 円
事業概要 (R4-臨時1 議案第 72 号 P.9)	前年度決算額	—
<p><事業の目的・内容></p> <p>本事業は、新型コロナウイルス感染症拡大に起因した利用者の減少及びコロナ禍における原油価格・物価の高騰により大きな影響を受けている交通事業者に対して給付金を交付し、事業の継続に向けた支援を行うものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <p>各交通事業者からの申請に基づき給付金を交付した。</p> <p>○交付件数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・路線バス事業者：1 者 ・所沢タクシー協議会加盟事業者及び個人タクシー事業者：13 者 ・市内観光バス事業者：4 者 <p>○交付額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・路線バス事業者：50 万円に市内路線バス 1 系統当たり 20 万円を加算した額 ・タクシー事業者：10 万円に所有車両 1 台当たり 3 万円（個人タクシー事業者を除く。）を加算した額 ・観光バス事業者：150 万円に所有車両 1 台当たり 10 万円を加算した額 <p>○交付総額：23,550,000 円</p>		

事務事業名 ファルマン通り交差点外無電柱化整備事業	予算現額	66,106,000 円
	決算額	61,880,584 円
所 管 街づくり計画部市街地整備課	翌年度繰越額	3,072,000 円
予算区分 款 8 項 4 目 6 説明 01 中心市街地整備費	不用額	1,153,416 円
事業概要 (R4-1 議案第 11~20 号 P.131)	前年度決算額	—
<p><事業の目的・内容></p> <p>本事業は、所沢東町地区第一種市街地再開発事業（組合施行）による都市計画道路中央通り線の拡幅整備及びファルマン通り交差点改良事業と一体的に効率的な無電柱化整備を行い、旧町地区における災害時の通行の確保、歩行者の安全で快適な空間の確保や、賑わいの創出などを図るものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <p>令和 4 年度は、主に都市計画道路中央通り線の東側、及び都市計画道路所沢浦和線の南側、市道 1-4 号線の一部に、電線共同溝の設置工事を実施した。</p> <p>○ファルマン通り交差点外電線共同溝整備工事（第 1 期）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定方法：一般競争入札（3 者） ・契 約 先：昭和建設興業株式会社 ・契約期間：令和 4 年 7 月 14 日～令和 5 年 3 月 15 日 ・契約金額：61,880,500 円 <p>※本事業については、予算額 3,072,000 円を令和 5 年度へ繰越明許し、実施する。</p>		

事務事業名 土地利用転換推進事業	予算現額	835,907,000 円
	決算額	782,328,542 円
所 管 街づくり計画部市街地整備課	翌年度繰越額	35,921,000 円
予算区分 款 8 項 4 目 4 説明 01 土地区画整理事務費 ほか	不用額	17,657,458 円
事業概要 (R4-1 議案第 11~20 号 P.136)	前年度決算額	1,051,344,672 円
<p><事業の目的・内容></p> <p>本事業は、市域を総合的に捉え、都市機能の無秩序な拡散防止と自然環境との調和に配慮しながら地域の活性化を図るため、計画的かつ適正な土地利用転換を目指すものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧暫定逆線引き地区 <p>土地区画整理事業を施行している所沢市北秋津・上安松土地区画整理組合及び若松町土地区画整理組合並びに市街化区域編入に向けて組合土地区画整理事業の実施を目指している下安松東地区及び上安松・下安松西地区の地権者組織に対し、事業の進捗にあわせて助成を行うとともに必要な業務委託を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土地利用推進エリア <p>産業団地創出に向けて市街化区域編入と組合土地区画整理事業の実施を目指している三ヶ島工業団地周辺地区及び関越自動車道所沢インターチェンジ周辺地区において、必要な業務委託を行った。</p> <p>※本事業については、予算額 35,921,000 円を令和 5 年度へ繰越明許し、実施する。</p>		

若松町地区の現在の状況



事務事業名 日東地区まちづくり事業	予算現額	48,288,000 円
	決算額	46,980,284 円
所 管 街づくり計画部市街地整備課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 8 項 4 目 6 説明 01 中心市街地整備費	不用額	1,307,716 円
事業概要 (R4-1 議案第 11~20 号 P.137)	前年度決算額	202,072,283 円
<p><事業の目的・内容></p> <p>本事業は、東町及び日吉町の一部を区域とする日東地区について、所沢駅近接の商業地という地区の特性を踏まえ、民間活力により都市基盤の整備と街区の再編を一体的に図る事業を支援・誘導するとともに、安全で快適な都市環境への改善及び計画的な土地利用を誘導する街づくりを進めるものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ○所沢東町地区第一種市街地再開発事業（組合施行） <ul style="list-style-type: none"> 市街地再開発組合に対して公共施設工事（道路）に係る費用の助成（所沢東町地区市街地再開発事業費補助金）を行った。 ・公共施設管理者負担金 <ul style="list-style-type: none"> 補助金交付金額：40,620 千円（うち市費 20,310 千円 補助率 5/10 以内） 補助対象事業：街路本工事費 ○日東地区骨格道路整備事業 <ul style="list-style-type: none"> 令和 3 年度に行った、事業対象地区の土地評価の検証鑑定と用地測量を実施した。 ○日東地区骨格道路整備に係る測量等業務委託 <ul style="list-style-type: none"> ・選定方法：指名競争入札（7 者） ・委託先：平成都市技研株式会社 ・委託期間：令和 4 年 10 月 27 日～令和 5 年 3 月 31 日 ・委託金額：5,588,000 円 		

所沢東町地区第一種市街地再開発事業
公共施設工事(令和 5 年 3 月竣工)
都市計画道路中央通り線



事務事業名 ファルマン通り交差点改良事業	予算現額	225,628,000円
	決算額	222,291,830円
所管 街づくり計画部市街地整備課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 8 項 4 目 6 説明 01 中心市街地整備費	不用額	3,336,170円
事業概要 (R4-1 議案第11~20号 P.139)	前年度決算額	4,173,639円
<p><事業の目的・内容> 本事業は、所沢東町地区第一種市街地再開発事業（組合施行）により拡幅整備する都市計画道路中央通り線の整備に合わせて、一体的にファルマン通り交差点改良整備を行い、交差点処理能力と安全性の向上を図るものである。</p> <p><事業の実績・成果> 交差点改良工事を実施した。また、令和3年度に土地開発公社が用地買収した土地を買い戻した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ファルマン通り交差点改良に伴う路線測量等業務委託 <ul style="list-style-type: none"> ・選定方法：指名競争入札（5者） ・委託先：株式会社大雄測量設計 ・委託期間：令和4年8月8日～令和5年1月31日 ・委託金額：3,608,000円 ・内容：拡幅部の現況を把握するための測量等 ○ファルマン通り交差点改良工事（第1期） <ul style="list-style-type: none"> ・選定方法：一般競争入札（4者） ・契約先：昭和建設興業株式会社 ・契約期間：令和4年11月15日～令和5年3月31日 ・契約金額：95,183,000円 ○ファルマン通り交差点用地の購入（所沢市土地開発公社買戻分） <ul style="list-style-type: none"> ・購入金額：111,661,805円 ・契約締結：令和5年2月13日 		
<p style="text-align: center;">ファルマン通り交差点改良工事概要</p> <p style="text-align: center;">① 交差点を正十字に近い形に ② 右折車線の設置 ③ 広いたまり場の整備 ④ 歩道空間を有効に活用</p>		

事務事業名 市営住宅東所沢和田団地施設整備事業	予算現額	139,920,000円
	決算額	125,004,000円
所管 街づくり計画部市街地整備課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 8 項 6 目 1 説明 03 市営住宅維持費	不用額	14,916,000円
事業概要 (R4-1 議案第11~20号 P.141)	前年度決算額	113,300,000円
<p><事業の目的・内容> 本事業は、市営住宅東所沢和田団地の適切な維持管理と長寿命化を図るため「所沢市公共施設長寿命化計画」及び「所沢市営住宅等長寿命化計画」に基づき、施設の改修を行うものである。</p> <p>【建物概要】 構造：壁式P.Cコンクリート造（階数：地上5階建て） 規模等：建築面積 1705.52㎡ 延べ床面積 6693.38㎡（戸数 90戸）</p> <p><事業の実績・成果> ○所沢市営住宅東所沢和田団地（東棟及び付属施設） 屋根及び外壁改修工事 <ul style="list-style-type: none"> ・選定方法：一般競争入札 ・契約先：アポロ工業株式会社 ・工期：令和4年8月22日～令和5年3月15日 ・契約金額：125,004,000円 </p> <p><国庫補助金> 社会資本整備総合交付金交付対象事業（公営住宅等ストック総合改善事業） 交付額：53,192千円（補助対象事業費に対し、補助率1/2）</p>		
		<p style="text-align: center;">東所沢和田団地</p>

事務事業名 所沢駅ふれあい通り線道路築造事業（1工区）	予算現額	431,579,000円	
	決算額	382,829,034円	
所管 街づくり計画部所沢駅西口区画整理事務所	翌年度繰越額	0円	
予算区分 款 8 項 4 目 2 説明 05 所沢駅ふれあい通り線道路築造費	不用額	48,749,966円	
事業概要 (R4-1 議案第11～20号 P.143)	前年度決算額	64,939,236円	
<p><事業の目的・内容></p> <p>都市計画道路所沢駅ふれあい通り線は、鉄道と立体交差することにより、駅周辺の慢性的な交通渋滞の解消や東西市街地の一体化を図るものである。</p> <p>このうち、県道久米所沢線から東村山第7号踏切（大踏切）の通りである市道1-525号線までの延長約200mについて、本事業により建設を進めるものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <p>所沢駅ふれあい通り線道路築造工事の実施に当たり、道路や構造物等の詳細設計とともに、道路用地の購入（買戻し）を行った。また、「所沢駅ふれあい通り線と西武鉄道池袋及び新宿線との立体交差化事業に伴う鉄道施設移設の施行に関する協定書」に基づき、西武鉄道株式会社が線路等の移設工事を行ったため、負担金の支払を行った。</p>			
	所沢駅ふれあい通り線詳細設計業務委託（その3）	所沢駅ふれあい通り線（1工区）土壌地歴調査業務委託	所沢駅ふれあい通り線看板作成業務委託
選定方法	指名競争入札（8者）	指名競争入札（3者）	指名競争入札（3者）
委託先	株式会社復建エンジニアリング 北関東事務所	内藤環境管理株式会社	西武建設株式会社
委託期間	令和4年4月26日～令和5年3月31日	令和4年10月24日～令和5年1月31日	令和5年2月3日～3月31日
委託金額	16,060,600円	681,890円	1,027,400円
内容	道路及び構造物の詳細設計業務	土地利用の履歴及び土壌調査	完成予想図看板作成及び設置

事務事業名 所沢駅西口区画まちづくり事業	予算現額	91,680,900円		
	決算額	86,368,065円		
所管 街づくり計画部所沢駅西口区画整理事務所	翌年度繰越額	0円		
予算区分 款 8 項 4 目 6 説明 01 中心市街地整備費	不用額	5,312,835円		
事業概要 (R4-1 議案第11～20号 P.144)	前年度決算額	53,884,003円		
<p><事業の目的・内容></p> <p>所沢駅西口区画については、本市の表玄関にふさわしい魅力と活力ある街を創出するため、所沢駅西口区画整理事業との一体的施行による所沢駅西口北街区第一種市街地再開発事業を行うとともに、計画的な土地利用の誘導による街づくりを進めている。また、人を中心にしたまちづくりの実現に向け、駅周辺の回遊性の向上を目指した歩行者デッキの整備とともに、所沢駅西口駅前広場の整備の検討を進めている。</p> <p><事業の実績・成果></p> <p>所沢駅西口北街区第一種市街地再開発事業が完了し、所沢駅西口北街区市街地再開発組合が解散した。また、歩行者ネットワークの形成に向け、各歩行者デッキの詳細設計や所沢駅西口駅前広場の整備を検討するための委託を行った。</p>				
	所沢駅西口歩行者デッキ（B）詳細設計業務委託	所沢駅西口駅前広場基本計画検討業務委託	所沢駅西口歩行者デッキ（C）詳細設計業務委託	所沢駅西口歩行者デッキ（B）詳細設計業務委託（その2）
選定方法	指名競争入札（10者）	指名競争入札（6者）	指名競争入札（8者）	随意契約（1者）
委託先	中央コンサルタンツ株式会社 北関東事務所	玉野総合コンサルタント株式会社 埼玉事務所	中央コンサルタンツ株式会社 北関東事務所	中央コンサルタンツ株式会社 北関東事務所
委託期間	令和4年2月2日～9月30日	令和4年4月27日～令和5年3月31日	令和4年6月2日～令和5年3月31日	令和5年1月25日～3月31日
契約金額	65,450,000円 (令和4年度支払額46,450,000円)	9,259,800円	27,610,000円	2,970,000円
内容	ペDESTリアンデッキ詳細設計業務	駅前広場のレイアウト検討業務	ペDESTリアンデッキ詳細設計業務	ペDESTリアンデッキ詳細設計業務

建設部

1 建設総務課

- (1) 道路法に基づく道路財産の管理として、以下の事業を実施した。
 - ① 新設、改良、廃止した道路等について道路台帳の更新
 - ② 市道の認定（24路線）、廃止（14路線）、区域変更（68路線）
 - ③ 道水路境界確認立会い（137件）
 - ④ 道路境界確定証明書等の交付（532件）
 - ⑤ 道水路座標管理図面作成業務（6路線）
 - ⑥ 道路境界確定図修正測量業務（7路線）
- (2) 道路照明灯の維持管理事業として、道路照明灯修繕（77件）を実施するとともに、リースLED道路照明灯（8,602灯）の管理を行った。
- (3) 道路照明灯LED化整備事業として、東所沢駅前ロータリーの水銀灯64灯をLED照明灯に改修した。
- (4) 防犯灯維持管理・補助事業については、自治会等が防犯を目的として設置し、維持管理している防犯灯に対し、新設費補助金（103灯分）、維持管理費補助金（13,571灯分）を交付した。また市が一括リースした防犯灯（7,068灯）の管理を行った。

2 道路建設課

- (1) 市道4-1386号線（上藤沢・林・宮寺間新設道路3工区）築造事業において、用地2,647.80㎡を取得した。
- (2) COOL JAPAN FOREST 周辺道路整備事業において、市道2-996号線の道路改良舗装工事を実施した。
- (3) 所沢市総合治水対策事業（清柳橋改築事業）において、上部工事を完了させ、取付道路工事及び市道1-900号線改良舗装工事を実施した。
- (4) 道路改良事業及び道路舗装事業において10路線の工事を実施した。

3 計画道路整備課

- (1) 北野下富線道路築造事業として、大字北岩岡で松葉道北岩岡線と交差する箇所からラーク所沢前の市道 3-5 号線までの 1 工区、延長 470 m の区間内の道路築造工事を実施したが、年度内の完成が困難となったことから、令和 5 年度に予算の一部を繰り越した。

また、主要地方道所沢狭山線から松葉道北岩岡線までの 4 工区、延長 358m の区間について橋りょう詳細設計及び道路実施設計を実施した。なお、用地の協力が得られ、売買契約を締結した土地のうち引き渡し令和 5 年度になる土地があることから、予算の一部を繰り越した。

- (2) 松葉道北岩岡線道路築造事業として、市道 3-1124 号線から北野下富線までの延長 526m の区間のうち延長 302m について、歩道整備及び道路付属施設整備を実施した。

4 道路維持課

- (1) 街路樹管理事業として、都市景観の形成や防災、環境保全などの機能を持つ街路樹を健全に保つため、定期的な剪定、除草を行い、樹冠拡大に向けたケヤキの剪定を 267 本（第 1 回目）実施した。
- (2) 歩きたくなる街路樹づくり事業として、市道 5-1016 号線（さくら通り）において、延長 140m の区間の道路改良工事を実施したが、年度内の完成が困難となったことから、令和 5 年度に予算を繰り越した。
- (3) 橋りょう長寿命化修繕事業として、「所沢市橋梁長寿命化修繕計画」（道路橋 184 橋）に基づき、JR 武蔵野線の跨線橋 3 橋（608 号橋・610 号橋・611 号橋）、道路橋 91 橋の法定点検及び老朽化が著しい西ヶ谷戸橋について修繕工事を実施した。
- (4) 道路安全施設整備事業として、市内の小中学校及び市民等からの要望に基づき、道路反射鏡の新規設置を 50 基、道路区画線等の路面標示を 14,230.9m 実施した。また、道路反射鏡や区画線設置等の要望は 931 件あり、783 件の要望を処理した。

- (5) 道路施設維持管理事業として、舗装の打換えなど 10 路線、総延長 1,288.6m の工事を計画的に実施した。また、市民等からの要望が 2,706 件あり、迅速に対応した結果、2,626 件を処理した。
- (6) 道路清掃事業として、市道 26.6 km の路面清掃及び雨水枡清掃 99 か所、側溝清掃を 160m 実施した。

5 公園課

- (1) 北秋津・上安松地区都市緑地保全事業として、用地 2,323.18 m² を取得した。
- (2) 北秋津・上安松地区都市緑地保全事業の用地購入費等に充当するため、購入型クラウドファンディングを実施し、第 1 弾及び第 2 弾合わせて 1,211 件 30,605,000 円の支援を得た。

6 営繕課

- (1) 公共施設設計・施工監理事業として、以下の工事・業務委託の依頼を受けて実施した。
 - ① 工事件数：37 件
所沢市消防団第 7 分団詰所新設工事 ほか 36 件
 - ② 設計業務委託件数：11 件
所沢市立所沢小学校外 3 校屋内運動場トイレ改修工事設計業務委託 ほか 10 件
 - ③ 監理業務委託件数：4 件
所沢市立南小学校外 3 校屋内運動場トイレ改修工事監理業務委託 ほか 3 件
- (2) 公共施設長寿命化計画に基づく予防保全計画推進事業として、以下の工事・業務委託を実施した。
 - ① 予防保全計画に基づく工事：12 件
所沢市立松井公民館 LED 化及び空調設備改修工事 ほか 11 件
 - ② 予防保全計画に基づく設計業務委託：2 件
所沢市立第 1 学校給食センター受水槽外改修工事設計業務委託

ほか 1 件

③ 予防保全計画に基づく監理業務委託：1 件

所沢市立松井公民館 LED 化及び空調設備改修工事監理業務委託

7 河川課

(1) 河川・水路維持管理事業として、以下の工事・業務委託を実施した。

① 河川・水路の氾濫による浸水被害の軽減を図るため、下新井地内外の水路改修工事を実施した。

② 河川・水路の機能を維持するため、清掃・除草等（44 件）、修繕（14 件）、設備保守（2 件）の業務委託を実施した。

③ 水害への備えとして想定最大規模降雨の際の浸水想定区域を周知するため、所沢市洪水ハザードマップの全戸配布業務委託を実施した。

(2) ふるさとの川再生事業として、河川・水路において、区域を指定し、市民と市が協働して自然豊かな川づくりを行うため、清掃活動等を実施している登録団体（3 団体）に補助金を交付した。

(3) 東川桜舞う遊歩道事業として、遊歩道の維持管理、市で管理している桜の剪定・伐採を実施した。

(4) 砂川堀水辺保全・散策路整備事業として、護岸工事、ウッドチップ敷きによる散策路設置（約 350m）、樹木の剪定・伐採を実施した。

(5) 樽井戸川第一調節池用地取得事業として、これまで賃借していた樽井戸川第一調節池の土地（1,052.87 m²）を、公有地化の承諾が得られたことから購入した。

事務事業名 市道4-1386号線(上藤沢・林・宮寺間新設道路3工区)築造事業	予算現額	80,003,000円
	決算額	79,986,752円
所管 建設部道路建設課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款8項2目3 説明 01 道路新設改良等工事費	不用額	16,248円
事業概要 (R4-1 議案第11~20号 P.146)	前年度決算額	27,407,165円
<p><事業の目的・内容></p> <p>三ヶ島地区の交通の利便性の向上、地域の活性化及び安心・安全な歩行空間を確保するため新設道路を整備するもので、3工区については、「林運動場」付近から入間市宮寺の県道所沢青梅線「南矢萩」バス停付近までのうち、所沢市分の約368mの区間を整備するものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業における用地を2,647.80㎡取得した。 <p>○市道4-1386号線物件調査積算業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定方法：指名競争入札(4者) ・委託先：三協測量設計株式会社 所沢支店 ・委託期間：令和4年7月15日~9月13日 ・委託金額：1,034,000円 ・内 容：物件補償のための調書作成 		

事務事業名 COOL JAPAN FOREST 周辺道路整備事業	予算現額	35,000,000円
	決算額	32,235,500円
所管 建設部道路建設課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款8項2目3 説明 01 道路新設改良等工事費	不用額	2,764,500円
事業概要 (R4-1 議案第11~20号 P.148)	前年度決算額	70,513,998円
<p><事業の目的・内容></p> <p>「ところざわサクラタウン」を拠点施設とする、半径約500m圏内を重点推進エリアとしたCOOL JAPAN FOREST及びその周辺の交通環境整備を行い、交通の円滑化を図るものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <p>○市道2-996号線改良舗装工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定方法：一般競争入札(4者) ・契約先：徳江工業株式会社 ・工期：令和4年8月5日~令和5年3月9日 ・契約金額：32,235,500円 ・内 容：市道2-996号線における改良舗装工事及び歩道の整備 		

事務事業名 所沢市総合治水対策事業（清柳橋改築事業）	予算現額	288,307,383円
	決算額	277,333,163円
所管 建設部道路建設課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 8 項 2 目 5 説明 01 橋りょう新設改良費	不用額	10,974,220円
事業概要 (R4-1 議案第 11～20 号 P.150)	前年度決算額	236,865,319円
<p><事業の目的・内容></p> <p>本市を流域に持つ柳瀬川における今後の浸水被害の軽減を図るために、東川との合流点下流に位置する清柳橋について、道路管理者である所沢市と清瀬市及び河川管理者である埼玉県とともに改築に取り組むものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <p>○清柳橋改築工事（上部工事）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定方法：一般競争入札（5者） ・契約先：洋光建設株式会社 ・工期：令和3年6月30日～令和4年9月21日 ・契約金額：165,000,000円 （令和4年度支払額 117,400,000円） ・内容：清瀬市と所沢市を繋ぐ新しい橋の整備 <p>○清柳橋改築工事（取付道路工）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定方法：一般競争入札（5者） ・契約先：洋光建設株式会社 ・工期：令和4年7月15日～令和5年3月30日 ・契約金額：43,301,500円 ・内容：清柳橋と市道1-900号線を繋ぐ道路の整備 <p>○市道1-900号線改良舗装工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定方法：一般競争入札（5者） ・契約先：洋光建設株式会社 ・工期：令和4年8月23日～令和5年3月30日 ・契約金額：52,813,200円 ・内容：市道1-900号線における改良舗装工事及び歩道の整備 		

事務事業名 北野下富線道路築造事業	予算現額	297,358,000円
	決算額	165,497,546円
所管 建設部計画道路整備課	翌年度繰越額	96,537,999円
予算区分 款 8 項 4 目 2 説明 03 北野下富線道路築造費	不用額	35,322,455円
事業概要 (R4-1 議案第 11～20 号 P.152)	前年度決算額	598,887,681円
<p><事業の目的・内容></p> <p>幹線道路の環状型ネットワークにより交通渋滞の緩和を図るため、国道463号バイパス小手指ヶ原交差点から一般県道所沢堀兼狭山線下富駿河台交差点までの延長5,500mの道路を築造するものであり、これまでに小手指ヶ原交差点から岩岡町交差点までと、ラク所沢前の市道3-5号線から下富駿河台交差点までの延長4,672mの区間が開通している。今後は、延長470m（1工区）の区間と、延長358m（4工区）の区間について整備を行い、早期の全線開通を目指すものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・松葉道北岩岡線から市道3-5号線までの延長470m（1工区）について、道路築造工事を実施した。 ・主要地方道所沢狭山線から松葉道北岩岡線までの延長358m（4工区）について用地取得を行うとともに、橋りょう詳細設計及び道路実施設計を実施した。 ・用地取得に係る不動産鑑定、物件調査積算業務委託及び登記委託を行った。 <p>○市道3-976号線（北野下富線1工区）道路築造工事（その3）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定方法：一般競争入札（3者） ・契約先：株式会社高橋土建 ・工期：令和4年11月28日～令和5年3月15日 ・契約金額：9,601,900円 <p>○市道3-976号線（北野下富線1工区）道路築造工事（その4）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定方法：一般競争入札（4者） ・契約先：日栄建設株式会社 ・工期：令和4年12月27日～令和5年8月31日 ・契約金額：54,780,000円 （令和4年度支払額 21,900,000円） <p>※本事業については、予算額96,537,999円を令和5年度へ繰越明許し、実施する。</p>		

事務事業名 松葉道北岩岡線道路築造事業	予算現額	39,600,000円
	決算額	38,118,300円
所管 建設部計画道路整備課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 8 項 4 目 2 説明 04 松葉道北岩岡線道路築造費	不用額	1,481,700円
事業概要 (R4-1 議案第11～20号 P.154)	前年度決算額	0円
<p><事業の目的・内容></p> <p>都市計画道路松葉道北岩岡線は、弥生町の新所沢跨道橋通りから狭山市内の主要地方道所沢狭山線を結ぶ延長2,860mの道路であり、隣接する自治体の都市計画道路と接続することにより、交通の利便性の向上と交通渋滞の緩和、道路利用者の安全の確保を図るものである。これまでに、新所沢跨道橋通りから市道3-1124号線までの延長890mの区間が開通している。</p> <p>今後は、市道3-1124号線から北野下富線までの延長526mの区間と北野下富線1工区の同時開通を目指す。</p> <p><事業の実績・成果></p> <p>市道3-1124号線から北野下富線までの延長526mの区間のうち、延長302mの区間の歩道整備及び道路附属施設整備を行った。</p> <p>○市道3-977号線（松葉道北岩岡線）道路築造工事（その11）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定方法：一般競争入札（3者） ・契約先：日栄建設株式会社 ・工期：令和4年10月31日～令和5年3月15日 ・契約金額：38,118,300円 ・内容：歩道、植樹ブロック及び照明柱の整備 		

事務事業名 北秋津・上安松地区都市緑地保全事業	予算現額	348,476,000円
	決算額	342,677,880円
所管 建設部公園課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 8 項 4 目 3 説明 03 北秋津・上安松地区都市緑地保全事業費	不用額	5,798,120円
事業概要 (R4-1 議案第11～20号 P.159)	前年度決算額	476,267,499円
<p><事業の目的・内容></p> <p>北秋津・上安松地区は、所沢市みどりの基本計画において、みどりの保全を重点的に推進する北秋津周辺保全配慮地区に位置付けられている。本地区では、土地区画整理事業を基本とした街づくり事業が行われており、地区内には柳瀬川段丘崖の斜面林や、平地林のまとまりのある貴重なみどりが存在している。</p> <p>本事業は、これらのみどりを保全するため、令和2年度に都市緑地として都市計画決定した用地を取得するとともに、みどりの保全及び管理を行うものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <p>○北秋津・上安松地区都市緑地管理業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定方法：指名競争入札（3者） ・契約先：株式会社田中造園 ・委託期間：令和5年1月30日～3月31日 ・委託金額：605,000円 ・内容：都市緑地の樹木剪定及び除草 <p>○用地取得</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2,323.18㎡ （用地取得率：41.8%） 		

事務事業名 北秋津・上安松地区都市緑地保全事業(クラウドファンディング)	予算現額	73,903,000 円
	決算額	44,470,829 円
所 管 建設部公園課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 8 項 4 目 3 説明 03 北秋津・上安松地区都市緑地保全事業費 ほか	不用額	29,432,171 円
事業概要 (R4-2 議案第 40 号 P.21) (R4-臨時 1 議案第 72 号 P.10)	前年度決算額	—

<事業の目的・内容>

北秋津・上安松地区都市緑地保全事業において貴重なみどりを保全するため、株式会社スタジオジブリから提供された、映画「となりのトトロ」背景画 5 点の複製画を作成し、購入型クラウドファンディングにより、用地購入費及び当該用地の維持管理費の支援を広く募ったものである。

※複製画購入価格：25,000 円(B4 サイズ、背景画 5 点、木製額縁付)

<事業の実績・成果>

第 1 弾(募集期間：令和 4 年 9 月 1 日～9 月 30 日)

第 2 弾(募集期間：令和 4 年 11 月 25 日～令和 5 年 2 月 12 日)

支援件数：1,000 件

支援件数：211 件

総支援額：25,099,500 円(内上乗せ支援額：99,500 円)

総支援額：5,505,500 円(内上乗せ支援額：230,500 円)

委 託 名	複製画作成業務委託	複製画配送業務委託
選定方法	随意契約	
委 託 先	図書印刷株式会社	
委託期間	令和 4 年 7 月 29 日～ 令和 5 年 3 月 31 日	令和 4 年 10 月 5 日～ 令和 5 年 3 月 31 日
委託金額	5,613,300 円	1,730,740 円

委 託 名	複製画作成業務委託	複製画配送業務委託
選定方法	随意契約	
委 託 先	図書印刷株式会社	
委託期間	令和 5 年 2 月 20 日～3 月 31 日	
委託金額	1,759,086 円	420,101 円

出 納 室

- (1) 法令等に基づく適正な予算の執行手続を実施するため、支出負担行為の確認、歳入調定や支出命令の審査等を行い、現金等の出納処理を行った。収入件数は3万4,133件、支出件数は12万8,539件、全出納件数は16万2,672件であった。
- (2) 歳計現金、歳入歳出外現金及び基金の保管・運用に当たっては、安全性・流動性を確保しつつ、資金の効率的な保管・運用に努めた。
 - ① 市の歳入・歳出に属する「歳計現金」及び市の所有に属さない「歳入歳出外現金」は、主に日々の支払に充てる支払準備金として指定金融機関の普通預金で保管し、資金に余裕がある期間においては定期預金による運用を行った。運用利息は、普通預金が10万4,745円、定期預金が72万6,791円の合計83万1,536円であった。
 - ② 基金に属する現金は、特定の目的のためにあらかじめ資金を積み立てておくもので、貸付を目的とする基金を除き、一括して普通預金に保管し、基金の取崩し予定を勘案して定期預金及び債券による運用を行った。運用利息は、普通預金が3万6,507円、定期預金が461万7,696円、債券が794万6,437円の合計1,260万640円であった。
- (3) 埼玉県から指定売さばき人の指定を受け、許認可申請の手数料や各種試験の受験料として使用される埼玉県収入証紙を販売した。販売枚数は2,617枚、販売金額は479万6,330円、販売に係る手数料収入は12万8,865円であった。

教 育 委 員 会

教育総務部

1 教育総務課

- (1) 市立小中学校と所沢第二幼稚園に対し、消耗品や備品の購入をはじめとする環境整備を進めた。
- (2) 保護者負担軽減補助金交付事業では、保護者の経済的負担を軽減するため、補助対象となる経費の範囲を拡大した。
- (3) 市立小中学校の就学援助事業として、経済的理由により就学が困難な世帯へ学用品費等を支給し、保護者への支援を進めた。

2 教育施設課

- (1) 良好な学校環境の確保のため、学校トイレ改修事業として、校舎（小学校 1 校、中学校 1 校）及び屋内運動場（小学校 8 校、中学校 4 校）について、洋式化、バリアフリー対策等の改修工事を実施した。また、次年度の工事に向けて、校舎（小学校 2 校、中学校 1 校）及び屋内運動場（小学校 8 校、中学校 4 校）についての設計業務委託を実施した。
- (2) 二酸化炭素の排出削減、光熱費等の維持管理費の縮減を目的として、小学校 8 校、中学校 4 校の屋内運動場及び武道場の既存照明を LED 化するための設計及び工事を実施した。
- (3) 屋上防水改修工事を実施した明峰小学校及び三ヶ島小学校に太陽光発電設備を設置するための設計業務委託を実施した。
- (4) 学校環境の整備を目的として、老朽化が進行している南陵中学校校舎内部について、次年度の校舎内部改修（木質化）工事に向けた設計業務委託を実施した。
- (5) 山口中学校既存擁壁改修工事に伴う近隣建物影響調査（事後調査）の結果、影響が見られた物件の所有者に対し、物件補償を行った。
- (6) 「所沢市公共施設長寿命化計画」に基づき、南小学校北校舎棟屋上防水改修工事ほか 2 件、小手指中学校受水槽改修工事ほか 1 件の

改修工事を実施した。

3 社会教育課

- (1) 家庭における教育力向上のため、家庭教育推進事業を実施し保護者等の学習活動を支援した。実施内容としては、市内各小中学校区の運営委員会に委託して家庭教育学級を開催するとともに、記録集「学習のあしあと」を発行した。

また、家庭教育啓発リーフレット（小学校編・中学校編）を発行し、就学時健診等の機会を利用した子育て講座を実施した。

- (2) 第33回所沢こどもルネサンスの開催・支援等により、こども文学のひろば、まんが・イラストコンクール、トコトコタウン、おはなしのひろば等の青少年の様々な体験活動の充実に資する事業を開催し、全体で6,964人が参加した。

- (3) 人権教育を推進するため、講座、研修会等の開催及び人権教育啓発品の配布等を行った。また、家庭教育学級人権教育合同講座を4会場で開催し185人が参加、人権教育ブロック別研修会を4会場で開催し140人が参加、人権教育指導者養成講座を1会場で開催し93人が参加した。

その他、所沢市人権教育推進協議会と連携し、人権教育事業を実施した。人権教育啓発DVDの貸出を行い、小中学校の教員・生徒、社会教育関係団体など延べ1,309人が視聴した。

- (4) 69回目となる「所沢市子ども写生大会（アート・プレイ・デイ）」を3年ぶりにところざわサクラタウン及び東所沢公園を会場として開催し、907人が参加した。

- (5) 生涯学習推進センターでは、市民大学第29期1年次を開講し計25回の活動を行い、また、前年度からの第28期2年次は計29回の活動を行い修了した。その他、官学連携共催セミナー、日商簿記資格取得講座、親子の学習講座等を実施した。

また、公民館との共催により、暮らし応援講座を実施し、地域を拠点とした学習の場を提供した。

- (6) 生涯学習情報紙「翔びたつひろば」を毎月発行、全戸配布し、市民の学習活動につながる情報を発信した。

4 スポーツ振興課

- (1) 新たな事業として、令和4年11月14日の県民の日に所沢航空記念公園の人工芝運動場及び野球場を無料開放し、「こどもスポーツフェア」を開催した。スポーツ雪合戦ほか3種目の体験に89人、ホームラン競争ほか3種目の体験に60人の子どもたちが参加した。
- (2) 新型コロナウイルス感染症対策を講じて、3年ぶりに市民プールを開場し、24,049人が利用した。
- (3) 所沢シティマラソン大会を3年ぶりに開催し、4,856人のエントリーがあった。
- (4) 狭山湖運動場について、大人のサッカー場利用と少年野球の組み合わせで同時利用できるよう防球ネットを新設し、利便性向上とともに利用者の安全を確保することで、快適にスポーツを行うことができる体育施設の提供に努めた。

5 文化財保護課

- (1) 寿町に所在する国登録有形文化財「秋田家住宅」と敷地全体の整備と活用を図るため、「所沢市寿町歴史的建造物整備活用基本方針」を策定した。
- (2) 夏季企画展「戦争の時代を生きた市民 1931-1945」や冬季企画展「昔さがし展～病とくらし～」、ふるさと研究講座「ふるさと所沢のウラを知る」など、「ふるさと所沢」への関心を深めるための事業を実施した。
- (3) 埋蔵文化財保護のため、開発行為等を原因とする確認調査(99件)及び記録保存の発掘調査(3件)、土地区画整理事業に伴う北秋津・上安松地区(2件)、下安松東地区(3件)、三ヶ島工業団地周辺地区(1件)の確認調査をそれぞれ実施した。また、夏休み中の小中学生を対象に「埋文教室」を開催し、2日間で延べ88人が参加した。

6 所沢図書館

- (1) 図書資料等収集整備事業として、市民に役立つ情報を提供し、知的財産である貴重な資料を次の世代に伝えるという公共図書館の役割を果たすため、引き続き機能を十分に発揮できる種類と量の資料整備を進めた。
- (2) 所沢図書館分館施設管理運営事業として、平成 24 年度から所沢図書館分館に指定管理者制度を導入し、市民サービスの向上、経費の節減を図っている。運営及び管理状況について、館長会議や担当者会議の開催、四半期ごとのモニタリング実施により点検を行った。
- (3) コンビニエンスストア図書等取次事業として、平成 17 年度から、市と契約したコンビニエンスストア 2 店舗で予約図書等の取り次ぎサービスを開始し、令和 4 年度は 7 店舗（11 月からは 5 店舗）でサービスを実施した。貸出点数は 39,937 点、利用者数は延べ 27,463 人であった。
- (4) 所沢図書館消防設備改修事業として、老朽化する所沢図書館本館について、施設の安全上適正な管理・運営を図るため、消防設備の改修工事を行った。

学校教育部

1 学校教育課

- (1) 市立小中学校及び所沢第二幼稚園に対し、教育内容の指導、教職員・支援員等の人事事務、教育相談、就学事務等を実施した。
- (2) 学習支援・学校支援体制については、学習支援員、特別支援教育支援員、心のふれあい相談員などの会計年度任用職員を学校に配置するとともに、心身障害児介助員 2 人分の配置枠を拡大し、児童生徒一人一人の実情に応じた指導や、学校運営の充実を図った。
- (3) 令和元年度から開始したスクールカウンセラー学校派遣事業では、継続して市費で 4 人を任用した。中学校を中心に必要に応じて小学校にも派遣し、各学校の相談体制の充実を図るとともに、児童生徒

が安心してS O Sを発することのできる学校指導体制の実現に努めた。

- (4) 部活動指導員 4 人を中学校の運動部活動及び文化部活動にそれぞれ 2 人配置し、部活動の充実と教員の負担軽減を図った。
- (5) 児童が放課後に安心して学び、遊べる居場所を提供する放課後支援事業について、昨年度に引き続き 10 校で実施した。
- (6) 平成 23 年度から開始した学力向上推進事業は、令和 2 年度から「学び創造アクティブ P L U S」学力向上推進事業に更新し、子どもたち一人一人が夢を持ち、主体的に学び続けていけるよう、学校・家庭・地域が一体となった取組を推進し、児童生徒の学力向上を図った。
- (7) 教員が教材研究等授業準備の時間や児童生徒と向き合う時間を増やし、子どもの学力向上を図る学力向上支援講師配置事業を引き続き実施し、12 人を小中学校に配置した。
- (8) 学齢期を超えている者で、何らかの事情により学び直しを希望する者、入学希望既卒者、形式卒業生、外国籍の者等のうち、特に学ぶ意欲があり中学校卒業を希望する者に対して、夜間における中学校教育を施すことを目的に川口市が設置している中学校夜間学級に所沢市民が入学したため、川口市に対し教育費を負担した。

2 保健給食課

- (1) 児童生徒が心身ともに健全な生活を営めるよう、学校保健活動を推進するとともに、学校における新型コロナウイルス感染症対策に取り組んだ。
- (2) 学校給食における安全な食材の確保や衛生管理の向上、学校給食施設の設備の改修・整備等を行い、安全な学校給食の運営に努めた。
また、小中学校給食食材費補助事業及び小中学校給食費保護者負担軽減事業を実施し、コロナ禍における物価高騰等の影響を受けている保護者に対して負担の軽減を図った。
- (3) 学校給食センター再整備事業では、新たな学校給食センターの令和 6 年 4 月開場に向けて建築工事を開始した。

3 教育センター

- (1) ICT支援員導入事業では、ICTを活用した授業のサポート等のスキルを有する「ICT支援員」が、午前又は午後を1単位として各学校に月6回訪問し、授業時の端末操作やトラブル対応、ICTスキルアップのための研修会等を行った。
- (2) 教育相談アドバイザー支援事業では、生命尊重と児童生徒の望ましい教育的対応について、医療、心理及び福祉の専門家をアドバイザーとして学校へ派遣し、児童生徒並びに児童生徒を支える教職員及び保護者への支援を行った。
- (3) 教育ネットワークシステム更新に伴う電源設備整備事業では、平成28年度に構築した教育ネットワークシステムを更新するに当たり、電源設備の整備を行った。

事務事業名 学校施設太陽光発電設備設置事業	予算現額	21,340,000円
	決算額	18,700,000円
所管 教育総務部教育施設課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 10 項 2 目 1 説明 02 小学校施設維持管理費	不用額	2,640,000円
事業概要 (R4-1 議案第11~20号 P.165)	前年度決算額	—
<p><事業の目的・内容></p> <p>二酸化炭素の排出削減に向けた再生可能エネルギーの活用を促進し、本市が掲げるゼロカーボンシティの実現に寄与するため、屋上防水改修工事を実施した学校に太陽光発電設備の設置を実施するものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <p>○所沢市立明峰小学校外1校太陽光発電設備工事設計業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定方法：指名競争入札(6者) ・委託先：株式会社大誠建築設計事務所 埼玉事務所 ・委託期間：令和4年5月31日～令和5年2月28日 ・委託金額：18,700,000円 ・内容：次年度に予定している明峰小学校及び三ヶ島小学校の太陽光発電設備工事のための設計業務 		

事務事業名 小学校施設整備事業	予算現額	167,673,000円
	決算額	151,756,122円
所管 教育総務部教育施設課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 10 項 2 目 1 説明 02 小学校施設維持管理費	不用額	15,916,878円
事業概要 (R4-1 議案第11~20号 P.166)	前年度決算額	49,984,000円
<p><事業の目的・内容></p> <p>本事業は、老朽化する施設について、「所沢市公共施設長寿命化計画」に基づいて計画的に整備し、施設の安全上適正な管理を図るものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <p>○明峰小学校屋上防水改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定方法：一般競争入札(2者) ・契約先：アポロ工業株式会社 ・工期：令和4年10月24日～令和5年3月15日 ・契約金額：58,806,122円 <p>○南小学校北校舎棟屋上防水改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定方法：一般競争入札(3者) ・契約先：燦クリーン株式会社 ・工期：令和4年10月27日～令和5年3月15日 ・契約金額：53,350,000円 <p>○三ヶ島小学校屋上防水改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定方法：一般競争入札(3者) ・契約先：株式会社アベックス ・工期：令和4年10月17日～令和5年3月15日 ・契約金額：39,600,000円 		

事務事業名 中学校校舎内部改修（木質化）事業	予算現額	4,166,000 円
	決算額	3,430,699 円
所 管 教育総務部教育施設課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 10 項 3 目 1 説明 03 中学校施設維持管理費	不用額	735,301 円
事業概要 (R4-1 議案第 11～20 号 P.167)	前年度決算額	—
<p><事業の目的・内容></p> <p>本事業は、老朽化が進行している市内中学校校舎内部について、学習環境の整備を目的として実施するものである。</p> <p>実施に当たっては、平成 26 年に「所沢市公共建築物における木材の利用の促進に関する方針」が定められ、市有施設等において木材利用を推進するものとされていること及び木材使用による生徒達のストレス緩和や心理・情緒への効果などを踏まえ改修する。</p> <p><事業の実績・成果></p> <p>○所沢市立南陵中学校校舎内部改修（木質化）工事設計業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 選定方法：指名競争入札（5 者） ・ 委 託 先：株式会社平安設計 埼玉支店 ・ 委託期間：令和 4 年 5 月 31 日～令和 5 年 2 月 28 日 ・ 委託金額：3,430,699 円 ・ 内 容：次年度工事のための基本設計及び実施設計の業務委託 		

事務事業名 中学校施設整備事業	予算現額	96,327,000 円
	決算額	92,983,000 円
所 管 教育総務部教育施設課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 10 項 3 目 1 説明 03 中学校施設維持管理費	不用額	3,344,000 円
事業概要 (R4-1 議案第 11～20 号 P.168)	前年度決算額	52,998,000 円
<p><事業の目的・内容></p> <p>本事業は、老朽化する施設について、「所沢市公共施設長寿命化計画」に基づいて計画的に整備し、施設の安全上適正な管理を図るものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <p>○安松中学校受水槽改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 選定方法：一般競争入札（4 者） ・ 契 約 先：有限会社石和設備工業 ・ 工 期：令和 4 年 7 月 1 日～令和 5 年 1 月 31 日 ・ 契約金額：52,888,000 円 <p>○小手指中学校受水槽改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 選定方法：一般競争入札（4 者） ・ 契 約 先：株式会社キノシタ ・ 工 期：令和 4 年 6 月 24 日～令和 5 年 1 月 31 日 ・ 契約金額：40,095,000 円 		

事務事業名 所沢市立山口中学校既存擁壁改修事業	予算現額	14,985,000 円
	決算額	14,595,781 円
所 管 教育総務部教育施設課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 10 項 03 目 01 説明 03 中学校施設維持管理費	不用額	389,219 円
事業概要 (R4-1 議案第 11～20 号 P.169) (R4-4 議案第 73～75 号 P.42)	前年度決算額	450,000,700 円
<p><事業の目的・内容></p> <p>山口中学校の既存擁壁について、災害防止の観点に基づき、より安全性を高めるための改修及び補修工事を行うものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <p>○所沢市立山口中学校既存擁壁改修工事に伴う近隣建物影響調査(事後調査)業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定方法：随意契約 ・契約先：株式会社ダイヤシティプランニング ・委託期間：令和4年4月26日～7月29日 ・委託金額：8,959,500 円 ・内 容：工事完了後の近隣建物の影響調査業務委託を実施する。 <p>○所沢市立山口中学校既存擁壁改修工事に伴う近隣建物影響調査(復旧費積算)業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定方法：随意契約 ・契約先：株式会社ダイヤシティプランニング ・委託期間：令和4年8月9日～9月22日 ・委託金額：2,310,000 円 ・内 容：工事に伴う近隣建物影響調査(事後調査)の結果、影響があった建物には補償費の積算を行う。 <p>○所沢市立山口中学校既存擁壁改修工事に伴う補償金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査対象：住宅19件及び附帯工作物並びにマンション1棟(管理組合、9戸) ・補償件数：住宅12件及び附帯工作物並びにマンション1棟(管理組合、2戸) ・補償対象：外壁、基礎、土間等のクラック発生及び拡大等 ・補償金額：3,326,281 円 ・内 容：山口中学校既存擁壁改修工事に伴う近隣建物影響調査(事後調査)の結果、影響が見られた物件の所有者に対する物件補償 		

事務事業名 公民館施設整備事業(新所沢東公民館自動昇降機設置)	予算現額	5,038,000 円
	決算額	4,950,000 円
所 管 教育総務部社会教育課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 10 項 5 目 2 説明 02 公民館施設維持管理費	不用額	88,000 円
事業概要 (R4-1 議案第 11～20 号 P.170)	前年度決算額	—
<p><事業の目的・内容></p> <p>新所沢東公民館は2階建てであるが市内で唯一エレベーターのない公民館であり、高齢者や障害者等が2階を利用する上で障壁となっている。本市が推進するユニバーサルデザイン基本理念を踏まえ、施設の安全性及び利用者の利便性の向上を図るため、次年度の設置工事に向けた設計業務を行うものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <p>○新所沢東公民館自動昇降機設置工事設計業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定方法：指名競争入札(5者) ・委託先：株式会社サナクト ・委託期間：令和4年5月23日～令和5年3月31日 ・委託金額：4,950,000 円 		

事務事業名 小手指公民館太陽光発電設備設置事業	予算現額	6,615,000 円
	決算額	5,500,000 円
所 管 教育総務部社会教育課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 10 項 5 目 2 説明 02 公民館施設維持管理費	不用額	1,115,000 円
事業概要 (R4-1 議案第 11~20 号 P.171)	前年度決算額	—
<p><事業の目的・内容></p> <p>ゼロカーボンシティ宣言をした本市にとって、再生可能エネルギーの導入は必須である。平時の低炭素化と併せ災害時の非常用電源として活用するため、災害対策支部となるまちづくりセンターに、次年度の太陽光発電設備設置工事に向けた設計業務を行うものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <p>○小手指公民館太陽光発電設備設置外工事設計業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定方法：指名競争入札（5 者） ・委 託 先：株式会社武蔵野建築研究所 ・委託期間：令和 4 年 5 月 23 日～令和 5 年 2 月 28 日 ・委託金額：5,500,000 円 		

事務事業名 公民館施設整備事業	予算現額	220,605,000 円
	決算額	217,492,000 円
所 管 教育総務部社会教育課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 10 項 5 目 2 説明 02 公民館施設維持管理費	不用額	3,113,000 円
事業概要 (R4-1 議案第 11~20 号 P.172)	前年度決算額	—
<p><事業の目的・内容></p> <p>本事業は、老朽化する施設について、「所沢市公共施設長寿命化計画」に基づいて計画的に整備し、施設の安全上適正な管理を図るものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <p>○松井公民館 LED 化及び空調設備改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定方法：一般競争入札（4 者） ・契 約 先：株式会社貫井産業 ・契約期間：令和 4 年 6 月 29 日～令和 5 年 3 月 15 日 ・契約金額：201,960,000 円 <p>○山口公民館非常用発電設備改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定方法：一般競争入札（3 者） ・契 約 先：株式会社金山電設 ・契約期間：令和 4 年 6 月 23 日～令和 5 年 2 月 28 日 ・契約金額：10,010,000 円 <p>○松井公民館 LED 化及び空調設備改修工事監理業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定方法：指名競争入札（5 者） ・委 託 先：株式会社金子設計 ・委託期間：令和 4 年 7 月 13 日～令和 5 年 3 月 29 日 ・委託金額：5,522,000 円 		

事務事業名 歴史的建造物整備活用事業	予算現額	7,800,000 円
	決算額	6,994,604 円
所 管 教育総務部文化財保護課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 10 項 5 目 4 説明 02 文化財保護費	不用額	805,396 円
事業概要 (R4-1 議案第 11～20 号 P.177)	前年度決算額	674,009 円
<p><事業の目的・内容></p> <p>本事業は、寿町に所在する国登録有形文化財「秋田家住宅」と敷地全体の整備と活用を図るものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <p>庁内検討調整会議や策定委員会において、整備活用基本方針の策定等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 庁内検討調整会議の開催（4月27日、7月8日、8月29日、令和5年3月27日） ・ 策定委員会の開催（5月25日、7月27日、10月17日、令和5年3月28日） ・ 市議会への説明（11月21日）、市民フォーラムの開催（12月17日）、パブリックコメント手続きの実施（12月27日～令和5年1月26日） ・ 国登録有形文化財「秋田家住宅」特別公開の実施（7月30日、11月19日、令和5年3月12日） <p>○歴史的建造物整備活用基本方針策定支援業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 選定方法：随意契約 ・ 委 託 先：協同組合伝統技法研究会 ・ 委託期間：令和4年5月18日～令和5年3月31日 ・ 委託金額：5,940,000 円 		

事務事業名 スクールカウンセラー学校派遣事業	予算現額	15,180,000 円									
	決算額	15,179,435 円									
所 管 学校教育部学校教育課	翌年度繰越額	0 円									
予算区分 款 10 項 1 目 4 説明 02 教育指導費	不用額	565 円									
事業概要 (R4-1 議案第 11～20 号 P.180)	前年度決算額	15,022,034 円									
<p><事業の目的・内容></p> <p>心理学系の大学院の修士課程を修了した者をスクールカウンセラーとして市費で4人任用し、各学校に出向き、直接学校において相談業務を行うことで、子どもの発するSOSをよりの確に受け止め、問題の未然防止、早期発見、早期対応の体制を一層充実させるものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <p>市任用の心理士並びに県スクールカウンセラー及び相談員と連携し、配置校での相談対応を行った。目標を上回る相談対応を行い、児童生徒が抱える様々な課題に対応することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 相 談 対 応 件 数 : 7,971 件 ・ 学校への派遣回数 : 569 回 ・ 教室巡回の回数 : 2,498 回 											
<p style="text-align: center;">相談対応件数（延べ対応人数）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>目標件数</th> <th>実績件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>5000</td> <td>7894</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>6000</td> <td>7971</td> </tr> </tbody> </table>			年度	目標件数	実績件数	R3	5000	7894	R4	6000	7971
年度	目標件数	実績件数									
R3	5000	7894									
R4	6000	7971									

事務事業名 「学び創造アクティブPLUS」学力向上推進事業	予算現額	2,308,000円		
	決算額	2,204,124円		
所 管 学校教育部学校教育課	翌年度繰越額	0円		
予算区分 款 10 項 1 目 4 説明 02 教育指導費	不用額	103,876円		
事業概要 (R4-1 議案第11～20号 P.181)	前年度決算額	2,109,519円		
<p><事業の目的・内容></p> <p>児童生徒の「必要感・達成感」を大切にすること、一人一人に寄り添い「自己肯定感」を高めること、学校・家庭・地域が手をつなぎ、「未来を切り拓く力」を育成することを「行動方針の3つの柱」とし、地域総がかりで児童生徒の学力の向上を図るものである。</p> <p>※学力向上推進事業として平成23年度から開始したもので、3年ごとに更新及び名称を変更している。</p>				
<p><事業の実績・成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学び創造アクティブPLUS推進委員会を2回開催し、子どもの学力向上、学校・家庭・地域の連携、これまでの取組と課題について意見交換を行った。また、委託校(29校)が学力向上推進の研究及び研修を行い、同委員会において成果を発表した。 ・児童生徒の「メディアとの付き合い方」「家庭での役割」の取組推進の一環として「ウィークデイチャレンジシート」を活用し、7,732人が参加。その結果を市ホームページで公開した。 				
令和4年度 「学び創造アクティブPLUS」研究委託				
	学校クリエイト 研究	小中連携研修	学校アクティブ 研究	
選定方法	いずれも随意契約			
委託先	市内小中学校 5校	市内中学校 15校	市内小中学校 16校	
委託期間	R4.4.11～ R5.3.11	R4.4.11～ R5.3.11	R4.4.11～ R5.3.11	
内 容	教育力を上げる 先進的な研究	小中連携に 関する合同研修	授業づくり の研究	

事務事業名 中学校夜間学級教育費負担事業	予算現額	300,000円		
	決算額	219,307円		
所 管 学校教育部学校教育課	翌年度繰越額	0円		
予算区分 款 10 項 1 目 4 説明 02 教育指導費	不用額	80,693円		
事業概要 (R4-3 議案第53～57号 P.36)	前年度決算額	—		
<p><事業の目的・内容></p> <p>川口市において、学齢期を超えている者で何らかの事情により学び直しを希望する者等に対し、就学の機会を提供することを目的に夜間中学校を設置している。</p> <p>令和4年度において、市内在住者2人がこの中学校に入学したため、教育費を負担するものである。</p> <p>【入学資格】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・16歳以上で埼玉県内に在住の者(外国籍の場合は、原則在留資格のある者) 				
<p><事業の実績・成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・入学者の内訳：日本国籍の生徒1人(1学年)、外国籍の生徒1人(3学年) ・授業日数・時間：週5日、午後5時30分～午後8時55分 ・教育費負担額：219,307円 				

事務事業名 第1学校給食センター受水槽改修事業（設計業務委託）	予算現額	11,349,000円
	決算額	9,790,000円
所管 学校教育部保健給食課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 10 項 6 目 3 説明 04 学校給食施設費	不用額	1,559,000円
事業概要 (R4-1 議案第11~20号 P.184)	前年度決算額	—
<p><事業の目的・内容></p> <p>本事業は、老朽化する公共施設について、「所沢市公共施設長寿命化計画」に基づいて計画的に整備し、施設の安全上適正な管理を図るものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <p>○所沢市立第1学校給食センター受水槽外改修工事設計業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定方法：指名競争入札（6者） ・委託先：株式会社フケタ設計 さいたま事務所 ・委託期間：令和4年4月22日～令和5年2月28日 ・委託金額：9,790,000円 		

事務事業名 小中学校給食費保護者負担軽減事業	予算現額	359,288,000円												
	決算額	359,265,285円												
所管 学校教育部保健給食課	翌年度繰越額	0円												
予算区分 款 10 項 6 目 3 説明 03 学校給食運営費	不用額	22,715円												
事業概要 (R4-2 議案第49号 P.9)	前年度決算額	—												
<p><事業の目的・内容></p> <p>本事業は、コロナ禍における物価高騰等の影響を受けている保護者に対し、学校給食費の保護者負担分を4か月無償とし、子育て世帯の経済的な負担軽減を図るものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象：市立小中学校に児童生徒が在籍している世帯 ・期間：令和4年9月から12月まで ・補助実績： <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>児童生徒数（延べ人数）</th> <th>補助額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>55,594人</td> <td>233,547,669円</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>25,339人</td> <td>124,748,346円</td> </tr> <tr> <td>保護者※</td> <td>239人</td> <td>969,270円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※アレルギー等で弁当持参の児童生徒がいる世帯には、給食費相当額を保護者の口座に振り込むこととした。</p>			区分	児童生徒数（延べ人数）	補助額	小学校	55,594人	233,547,669円	中学校	25,339人	124,748,346円	保護者※	239人	969,270円
区分	児童生徒数（延べ人数）	補助額												
小学校	55,594人	233,547,669円												
中学校	25,339人	124,748,346円												
保護者※	239人	969,270円												

事務事業名 小中学校給食食材費補助事業	予算現額	115,961,000 円
	決算額	115,960,798 円
所 管 学校教育部保健給食課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 10 項 6 目 3 説明 03 学校給食運営費	不用額	202 円
事業概要 (R4-2 議案第 49 号 P.10)	前年度決算額	—
<p><事業の目的・内容></p> <p>本事業は、コロナ禍における物価高騰等の影響を受けている保護者に負担を求めることなく、児童生徒に栄養バランスや量を保った学校給食を提供するため、学校に対し食材費の上昇分を補助するものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 期 間：令和 4 年 4 月から令和 5 年 3 月まで ・ 内 容：主食（ごはん、牛乳等）と副菜の食材費上昇分を補助 ・ 補助額：学校給食センター分 82,867,555 円 単独校・親子方式分 33,093,243 円 		

事務事業名 清進小学校給食室食器消毒保管庫更新事業	予算現額	17,248,000 円
	決算額	16,720,000 円
所 管 学校教育部保健給食課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 10 項 6 目 3 説明 04 学校給食施設費	不用額	528,000 円
事業概要 (R4-3 議案第 53～7 号 P.37)	前年度決算額	—
<p><事業の目的・内容></p> <p>清進小学校の給食室に設置している食器消毒保管庫は、平成 6 年に設置されたものであり、令和 4 年 5 月に温度調整を行う基板が故障し、応急対応を行った。</p> <p>本事業は、安心・安全な学校給食を安定的に提供するため、早急に食器消毒保管庫の更新を行うものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <p>○所沢市立清進小学校給食室食器消毒保管庫更新工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 選定方法：一般競争入札（4 者） ・ 契 約 先：有限会社伏見設備工業 ・ 工 期：令和 4 年 10 月 21 日～令和 5 年 3 月 31 日 ・ 契約金額：16,720,000 円 		

事務事業名 上新井小学校給食用リフト修繕事業	予算現額	1,273,000 円
	決算額	0 円
所 管 学校教育部保健給食課	翌年度繰越額	1,273,000 円
予算区分 款 10 項 6 目 3 説明 04 学校給食施設費	不用額	0 円
事業概要 (R4-4 議案第 73～75 号 P.44)	前年度決算額	—
<p><事業の目的・内容></p> <p>上新井小学校の給食受入室に設置している給食用リフトは、昭和 51 年に設置したものであるが、令和 4 年 9 月及び 10 月にインバータ等が故障したため、学校給食配膳業務等に支障を来している。</p> <p>本事業は、安全・安心な学校給食を安定的に提供するため、早急に給食用リフトの修繕を行うものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <p>昨今の世界的な半導体不足により修繕に必要な部品等を入手することができず、年度内に修繕を完了できないことから、予算額 1,273,000 円を令和 5 年度へ繰越明許し、実施する。</p>		

事務事業名 ICT 支援員導入事業	予算現額	54,833,000 円
	決算額	54,832,800 円
所 管 学校教育部教育センター	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 10 項 1 目 5 説明 03 教育センター費	不用額	200 円
事業概要 (R4-1 議案第 11～20 号 P.191)	前年度決算額	—
<p><事業の目的・内容></p> <p>本事業は、ICT インフラの有効活用を図るため、ICT を活用した授業のサポート等のスキルを有する「ICT 支援員」を各学校へ配置し、学校における授業時の端末操作やトラブル対応、教職員の ICT スキルアップ支援等を行うものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理者 1 人、リーダー 1 人、支援員 8 人を配置 ・午前又は午後を 1 単位として各学校に月 6 回訪問 ・教職員の ICT スキルアップのための研修会を 107 回開催 <p>○ ICT 支援員業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定方法：指名競争入札 (8 者) ・委託先：富士電機 IT ソリューション株式会社 ・委託期間：令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日 ・委託金額：54,832,800 円 ・内 容：授業時の端末操作やトラブル対応、ICT スキルアップのための研修会等の開催 		

事務事業名 教育相談アドバイザー支援事業	予算現額	400,000 円
	決算額	120,000 円
所 管 学校教育部教育センター	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 10 項 1 目 5 説明 03 教育センター費	不用額	280,000 円
事業概要 (R4-1 議案第 11 号～20 号 P.193)	前年度決算額	225,000 円
<p><事業の目的・内容></p> <p>本事業は、複雑ないじめ問題や自殺防止など、本市の児童生徒の抱える課題解決のため、教育相談アドバイザーを設置し、心理、福祉及び医療の三分野の専門的な見地から、学校へ指導、助言及び教育的対応を支援するものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員による児童生徒の実態把握がより進み、個別の声掛けや指導方法を工夫することができるようになった。 ・学習指導において、児童生徒個々の実態に応じた支援が一層充実した。 ・学年内でもそれぞれの教職員の個性や指導の仕方を知り、協力体制が進んで全体への指導に活かすことができた。 <p>【支援実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支 援 校 : 5 校 (小学校 4 校、中学校 1 校) ・実施回数 : 8 回 (心理 6 回、福祉 2 回、医療 0 回) 		

事務事業名 教育ネットワークシステム更新に伴う電源設備整備事業	予算現額	12,375,000 円
	決算額	10,560,000 円
所 管 学校教育部教育センター	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 10 項 1 目 5 説明 03 教育センター費	不用額	1,815,000 円
事業概要 (R4-3 議案第 53～57 号 P.38)	前年度決算額	—
<p><事業の目的・内容></p> <p>本事業は、平成 28 年度に構築した教育ネットワークシステムを更新するに当たり、電源設備の整備を行うものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <p>○教育ネットワークシステム更新に伴う電源設備修繕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定方法 : 指名競争入札 (3 者) ・契 約 先 : 株式会社北産電設 ・工 期 : 令和 4 年 10 月 6 日～令和 5 年 1 月 31 日 ・契約金額 : 10,560,000 円 		

議 会 事 務 局

- (1) 令和 4 年度中の議会は、定例会を 4 回、臨時会を 2 回開催した。
また、議員が円滑に活動を行えるよう、議長の秘書業務をはじめ、議員報酬の支出や栄典事務、会議録の調製、広報などの事務処理を行った。
- (2) 議会運営の円滑化や「所沢市障害のある人もない人も共に生きる社会づくり条例」の推進などの観点から、令和 4 年第 2 回定例会より、市議会インターネットライブ中継に音声認識 A I を活用したりリアルタイム字幕機能を追加するとともに、傍聴席に字幕表示専用モニターを設置した。
- (3) 市議会の活動を知り、身近に感じることにより、将来の有権者として自覚を持っていただく機会にするとともに、若い世代の声を聴き、市政に反映する契機とするため、高校生との意見交換会を 2 回開催した。7 月に開催した所沢高校（とこ高カフェ）では 20 人の高校生が、11 月の所沢西高校（とこにしカフェ）で 34 人の高校生がそれぞれ参加した。
- (4) 議会活動や審議内容、審議結果について、多くの市民に分かりやすくお知らせするため、インターネットや SNS を活用した情報提供の充実、議会報告会の開催、市議会だよりの全戸配布の実施により、市議会の情報発信を行った。（市議会ホームページアクセス件数 1,205,564 件、インターネット議会中継アクセス件数 12,734 件）

選挙管理委員会事務局

- (1) 選挙管理委員会の職務の円滑な遂行のために、通年で事務補助を行った。
- (2) 市民が選挙制度を正しく理解し、自らが進んで投票に参加するとともに、選挙が適正に行われるよう啓発事業に取り組んだ。
 - ① 明るい選挙推進協議会との協働により明るい選挙啓発ポスターコンクールを開催し、市内の小中学校及び高校より 847 点の作品が寄せられたほか、満 18 歳を迎えた新有権者へバースデーカードを送付して、選挙権を得たことを意識付けさせるなど、若年層への選挙啓発を図った。
 - ② リーフレット配布やホームページを活用して政治活動のルールを周知した。また、選挙執行時に全戸配布している「選挙のお知らせ」に選挙運動のルールを掲載し、違反のない公正・公平な選挙が行われるよう周知を図った。
- (3) 令和 4 年 7 月 10 日執行参議院議員通常選挙においては、新型コロナウイルス感染症対策を含めた準備を計画的に進め、特に混乱もなく適正に選挙を執行した。また、令和 5 年執行の埼玉県議会議員一般選挙、所沢市議会議員一般選挙、埼玉県知事選挙及び所沢市長選挙に向けて、各種選挙事務を進めた。

監 査 事 務 局

- (1) 監査委員が公正公平かつ効率的に監査等を執行できるよう、通年でその補助事務を適正に行った。
- (2) 監査計画に則り、監査委員に毎年度実施が義務付けられている監査等を行った。
 - ① 一般・各特別会計及び各企業会計（水道・下水道・病院）に係る例月現金出納検査を実施した。
 - ② 一般・各特別会計及び企業会計に係る決算審査（1件の物品、1件の土地及び1件の建物の公有財産調査、各企業会計の貯蔵品実査を含む。）及び定額基金に係る基金運用状況審査を実施した。
 - ③ 健全化判断比率及び資金不足比率並びにそれらの算定の基礎となる書類を対象として、健全化判断比率及び資金不足比率の審査を実施した。
 - ④ 定期・行政監査においては、14部局の物品等調査、施設調査及び説明聴取を実施した。また、11校の学校監査及び「所沢市消防団第7分団詰所新設工事」を対象として工事監査を実施した。
- (3) その他、監査委員が必要と認めた次の監査を行った。
 - ① 「市の刊行物について」をテーマとして行政監査を実施した。
 - ② 「坂之下自治会」、「所沢地域づくり協議会」を対象団体とした財政援助団体等監査を実施した。

農業委員会事務局

- (1) 4月15日に通常総会を開催し、委員会活動の基本方針や事業計画を決定した。さらに、国や市に対して農業施策に関する意見書を提出した。
- (2) 月例総会を開催し、農地法に基づく農地の権利移動及び転用に係る許可申請の審議並びに届出等の報告を行った。
 - ① 農地法第3条に基づく農地の権利移動許可を25件、41,734㎡の農地について行った。
 - ② 農地法第4条に基づく転用許可の審議を4件、1,746㎡の農地について行った。
 - ③ 農地法第5条に基づく農地の権利移動及び転用許可の審議を49件、101,795㎡の農地について行った。
- (3) 農地利用状況調査を7月下旬から8月上旬まで実施し、1,079,302㎡の農地を調査した。農地が適正管理されていない場合は指導等を行い、約83.4%に当たる900,165㎡が適正管理された。
- (4) 農業委員会広報紙「農委だより」を年2回、各3,700部発行し、農業委員会の業務や農業情報を市内農業者に発信した。
- (5) 農地法第52条の2に基づき農地基本台帳情報整備事業を実施し、一筆ごとの農地情報を整理した。
- (6) 農地の出し手と受け手を取り次ぐ所沢市農地サポート事業を実施した。その結果、9件の貸借契約が成立し、27,859.81㎡の農地の流動化を図った。
- (7) 農地情報タブレット端末整備事業では、タブレット端末により、現地で農地情報の検索や更新を行うことにより、農地の集積・集約化に寄与するとともに電子化により農地利用状況調査等における農業委員会委員及び農地利用最適化推進委員の業務の効率化を図った。

事務事業名 農地情報タブレット端末整備事業	予算現額	550,000 円
	決算額	495,968 円
所 管 農業委員会事務局	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 6 項 1 目 1 説明 02 農業委員会事務費	不用額	54,032 円
事業概要 (R4-4 議案第 73 号～75 号 P.28)	前年度決算額	—
<p><事業の目的・内容></p> <p>本事業は、タブレット端末を導入し、農地利用状況調査等において、現地で農地情報や農地の出し手と受け手の意向を確認し、国の情報公開システムへの情報更新を行うことで、農地の集積・集約化に寄与するとともに電子化による更なる業務の効率化を図るものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <p>○導入台数・操作研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和 4 年 8 月：6 台 ・令和 5 年 3 月：10 台 ・操作研修：29 人（農業委員会委員及び農地利用最適化推進委員） <p>○導入効果</p> <p>遊休農地の是正確認調査（令和 4 年 11 月～令和 5 年 3 月実施）にて、GPS 機能による正確な農地位置の把握と地図データの確認、現地の写真と位置情報との連携を行うことにより、現地調査の充実と利便性の向上、調査後の集計作業の軽減及び簡素化を図ることができた。</p>		

特 別 会 計

令和4年度所沢市交通災害共済特別会計歳入歳出決算表

(歳入)

(単位：円)

款	当初予算額	補正予算額	前年度からの繰越金	予算現額	収入済額	予算現額に対する増減	予算現額に対する収入済額比率
共済会費取	31,184,000	△ 10,872,000	0	20,312,000	20,318,850	6,850	100.0%
繰入金	0	0	0	0	0	0	-
繰越金	1,000	33,192,000	0	33,193,000	33,193,606	606	100.0%
諸収入	15,000	0	0	15,000	8,434	△ 6,566	56.2%
歳入合計	31,200,000	22,320,000	0	53,520,000	53,520,890	890	100.0%

(歳出)

(単位：円)

款	当初予算額	補正予算額	前年度からの繰越金	予備費充用額	予算現額	支出済額	翌年度への繰越額	不用額	予算現額に対する支出済額比率
事務費	7,200,000	0	0	0	7,200,000	5,796,202	0	1,403,798	80.5%
事業費	24,000,000	22,320,000	0	0	46,320,000	9,680,000	0	36,640,000	20.9%
歳出合計	31,200,000	22,320,000	0	0	53,520,000	15,476,202	0	38,043,798	28.9%

交通災害共済特別会計

歳入は、予算現額 5,352 万円に対し、収入済額 5,352 万 890 円、収入率は 100%であった。

歳出は、予算現額 5,352 万円に対し、支出済額 1,547 万 6,202 円、執行率は 28.9%であった。

歳入歳出差引き 3,804 万 4,688 円の繰越しとなった。

市民部

防犯交通安全課

交通災害共済事業については、加入者相互扶助の共済制度であり交通事故に遭った会員に対して、見舞金を支給した。

- ① 市民の 10.6%に当たる、36,370 人の加入があった。
- ② 傷害の程度に応じて 10,000 円から 300,000 円の見舞金を、合計件数 174 件、合計金額 9,680,000 円支給した。

令和4年度所沢市所沢都市計画事業狭山ヶ丘土地区画整理特別会計歳入歳出決算表

(歳入)

(単位：円)

款	当初予算額	補正予算額	前年度からの繰越金	予算現額	収入済額	予算現額に対する増減	予算現額に対する収入済額比率
事業収入	0	0	0	0	0	0	0.0%
繰入金	212,999,000	△ 3,185,000	0	209,814,000	209,814,000	0	100.0%
繰越金	0	0	709,183,021	709,183,021	709,575,278	392,257	100.1%
諸収入	1,000	0	0	1,000	3,169	2,169	316.9%
市債	0	0	900,000	900,000	0	△ 900,000	0.0%
歳入合計	213,000,000	△ 3,185,000	710,083,021	919,898,021	919,392,447	△ 505,574	99.9%

(歳出)

(単位：円)

款	当初予算額	補正予算額	前年度からの繰越金	予備費充用額	予算現額	支出済額	翌年度への繰越額	不用額	予算現額に対する支出済額比率
狭山ヶ丘土地区画整理事業費	213,000,000	△ 3,185,000	710,083,021	0	919,898,021	198,512,355	721,385,666	0	21.6%
歳出合計	213,000,000	△ 3,185,000	710,083,021	0	919,898,021	198,512,355	721,385,666	0	21.6%

狭山ヶ丘区画整理特別会計

歳入は、予算現額 9 億 1,989 万 8,021 円に対し、収入済額 9 億 1,939 万 2,447 円、収入率は 99.9%であった。

歳出は、予算現額 9 億 1,989 万 8,021 円に対し、支出済額 1 億 9,851 万 2,355 円、執行率は 21.6%であった。

歳入歳出差引き 7 億 2,088 万 92 円の繰越しとなった。

街づくり計画部

狭山ヶ丘区画整理事務所

狭山ヶ丘土地区画整理事業については事業期間である令和 10 年度完成を目指し、事業を進めている。

総事業費は 153 億 9,300 万円であり、令和 4 年度末現在の事業全体の進捗率は、86.66% (支出累計額 133 億 3,999 万 3,602 円) となった。

令和4年度所沢市所沢都市計画事業所沢駅西口土地区画整理特別会計歳入歳出決算表

(歳入)

(単位：円)

款	当初予算額	補正予算額	前年度からの繰越金	予算現額	収入済額	予算現額に対する増減	予算現額に対する収入済額比率
事業収入	84,092,000	△ 17,683,000	0	66,409,000	66,409,960	960	100.0%
国庫支出金	412,000,000	△ 217,530,000	221,971,000	416,441,000	201,943,000	△ 214,498,000	48.5%
繰入金	316,908,000	△ 53,728,000	0	263,180,000	263,180,000	0	100.0%
繰越金	0	0	144,059,816	144,059,816	144,833,402	773,586	100.5%
諸収入	0	4,515,000	0	4,515,000	4,517,092	2,092	100.0%
市債	648,000,000	△ 131,600,000	203,900,000	720,300,000	427,100,000	△ 293,200,000	59.3%
歳入合計	1,461,000,000	△ 416,026,000	569,930,816	1,614,904,816	1,107,983,454	△ 506,921,362	68.6%

(歳出)

(単位：円)

款	当初予算額	補正予算額	前年度からの繰越金	予備費充用額	予算現額	支出済額	翌年度への繰越額	不用額	予算現額に対する支出済額比率
所沢駅西口土地区画整理事業費	1,461,000,000	△ 416,026,000	569,930,816	0	1,614,904,816	962,954,998	651,949,818	0	59.6%
歳出合計	1,461,000,000	△ 416,026,000	569,930,816	0	1,614,904,816	962,954,998	651,949,818	0	59.6%

所沢駅西口区画整理特別会計

歳入は、予算現額 16 億 1,490 万 4,816 円に対し、収入済額 11 億 798 万 3,454 円、収入率は 68.6%であった。

歳出は、予算現額 16 億 1,490 万 4,816 円に対し、支出済額 9 億 6,295 万 4,998 円、執行率は 59.6%であった。

歳入歳出差引き 1 億 4,502 万 8,456 円の繰越しとなった。

街づくり計画部

所沢駅西口区画整理事務所

所沢駅西口土地区画整理事業として、既存の水道管や下水管の切り直し工事、道路や宅地の整備、移転補償契約の締結等を行っている。

総事業費は 110 億 8,200 万円となった。

令和 4 年度末現在の事業全体の進捗率は 66.0%（支出累計額 73 億 988 万円）となった。

事務事業名 所沢駅西口土地区画整理事業	予算現額	1,614,904,816 円
	決算額	962,954,998 円
所 管 街づくり計画部所沢駅西口区画整理事務所	翌年度繰越額	651,949,818 円
予算区分 款 1 項 1 目 1 説明 01 給与費 ほか	不用額	0 円
事業概要 (R4-1 議案第 11~20 号 P.194) (R4-4 議案第 73~75 号 P.45)	前年度決算額	1,637,231,182 円
<p><事業の目的・内容></p> <p>所沢駅西口土地区画整理事業については、本市の表玄関にふさわしい魅力と活力ある街を創出するため、所沢駅西口北街区第一種市街地再開発事業との一体的施行を行う等、賑わいと良好な住環境が両立する都市基盤の整備を進めている。</p> <p><事業の実績・成果></p> <p>○住民説明会（3回） 令和4年4月16日、10月1日、令和5年1月21日</p> <p>○街づくりだより（3回） 令和4年6月、10月、令和5年3月</p> <p>○所沢駅西口土地区画整理審議会開催 1回、土地区画整理評価員会議 1回</p> <p>○委託 ・測量委託 1件（街区画地確定測量業務）</p> <p>・物件調査委託 2件（建物等の調査及び積算業務、建物等の事前調査業務）</p> <p>・設計委託 3件（道路詳細設計業務、交差点設計業務、価格特別調査業務）</p> <p>・その他委託 1件（事業地内保全業務）</p> <p>※うち設計委託1件は、令和5年度へ通次繰越し、実施する。</p> <p>○工事 ・道路新設工事 4件（道路整備工事、電線共同溝整備工事）</p> <p>・公共施設整備工事 3件（区画道路工事、造成工事、施設整備工事）</p> <p>・下水道工事 1件（下水道管布設工事、下水管施設撤去工事）</p> <p>※うち道路新設工事3件、下水道工事1件は令和5年度へ通次繰越し、実施する。</p> <p>○補償 ・物件移転等補償 16件</p> <p>○保留地処分 2件</p>		

令和4年度所沢市国民健康保険特別会計歳入歳出決算表

(歳入)

(単位：円)

款	当初予算額	補正予算額	前年度からの繰越金	予算現額	収入済額	予算現額に対する増減	予算現額に対する収入済額比率
国民健康保険税	7,209,780,000	0	0	7,209,780,000	7,291,344,837	81,564,837	101.1%
国庫支出金	1,000	0	0	1,000	596,000	595,000	59,600.0%
県支出金	22,099,856,000	31,465,000	0	22,131,321,000	21,119,158,450	△ 1,012,162,550	95.4%
財産収入	2,000	421,000	0	423,000	419,179	△ 3,821	99.1%
繰入金	2,520,039,000	71,923,000	0	2,591,962,000	2,208,258,022	△ 383,703,978	85.2%
繰越金	1,000	546,962,000	0	546,963,000	546,962,053	△ 947	100.0%
諸収入	86,321,000	0	0	86,321,000	120,041,316	33,720,316	139.1%
歳入合計	31,916,000,000	650,771,000	0	32,566,771,000	31,286,779,857	△ 1,279,991,143	96.1%

(歳出)

(単位：円)

款	当初予算額	補正予算額	前年度からの繰越金	予備費充用額	予算現額	支出済額	翌年度への繰越額	不用額	予算現額に対する支出済額比率
総務費	262,503,000	△ 1,871,000	0	0	260,632,000	233,227,512	0	27,404,488	89.5%
保険給付費	21,877,465,000	9,570,000	0	0	21,887,035,000	20,718,159,621	0	1,168,875,379	94.7%
国保事業費納付金	9,324,408,000	0	0	0	9,324,408,000	9,324,407,022	0	978	100.0%
共同事業拠出金	6,000	0	0	0	6,000	690	0	5,310	11.5%
保健事業費	389,114,000	△ 7,000,000	0	0	382,114,000	300,839,928	0	81,274,072	78.7%
基金積立金	2,000	547,383,000	0	0	547,385,000	547,381,204	0	3,796	100.0%
諸支出金	52,502,000	102,689,000	0	0	155,191,000	141,362,035	0	13,828,965	91.1%
予備費	10,000,000	0	0	0	10,000,000	0	0	10,000,000	0.0%
歳出合計	31,916,000,000	650,771,000	0	0	32,566,771,000	31,265,378,012	0	1,301,392,988	96.0%

国民健康保険特別会計

歳入は、予算現額 325 億 6,677 万 1 千円に対し、収入済額 312 億 8,677 万 9,857 円で、収入率は 96.1%であった。

歳出は、予算現額 325 億 6,677 万 1 千円に対し、支出済額 312 億 6,537 万 8,012 円、執行率は 96.0%であった。

歳入歳出差し引き 2,140 万 1,845 円の繰越しとなった。

財務部

収税課

所沢市収納率向上計画に基づき、未整理事案の解決を中心とした滞納整理を行った。

国民健康保険税収入は、調定額 83 億 1,973 万 7 千円に対し、収入済額 72 億 9,134 万 4,837 円、収納率は 87.6%であった。

健康推進部

国民健康保険課

- (1) 埼玉県モデル事業として平成 26 年度より開始された糖尿病性腎症重症化予防プログラムに引き続き参加した。本プログラムは、糖尿病性腎症のハイリスク者に対して保健指導等を行い、人工透析への移行を防ぎ、被保険者の病状維持及び改善を図るとともに、医療費の抑制を図るものである。
- (2) 医療費適正化について、ジェネリック医薬品の利用促進に引き続き取り組んだ結果、令和 5 年 3 月診療分で使用率が 80.1%となり、昨年同時期と比べ 1.5 ポイント上昇するとともに、目標値 80%を達成した。

また、平成 29 年度から所沢市医師会及び所沢市薬剤師会と連携し、かかりつけ医及びかかりつけ薬局の推進並びに服薬の適正化事業に取り組んでおり、昨年度に引き続き、ポリファーマシー（多剤併用）に着目したお薬相談事業を実施した。

事務事業名 トコトコ健幸マイレージ事業	予算現額	4,486,000 円
	決算額	4,197,815 円
所 管 健康推進部国民健康保険課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 5 項 1 目 2 説明 01 疾病予防費	不用額	288,185 円
事業概要 (R4-1 議案第 11～20 号 P.198)	前年度決算額	9,019,581 円
<p><事業の目的・内容> 本事業は、令和元年度まで実施してきた「トコロん健幸マイレージ事業」のコンセプトを継承し、参加者の拡大と事業費抑制の両立を図るため、令和2年7月より埼玉県が実施する「コバトン健康マイレージ事業」に参入したものである。気軽に実践できる「歩き」を中心に、市民が楽しんで健康づくりを継続できるように支援するとともに、県のポイントや景品に加えて、市独自のポイントや景品を設定した事業を健康づくり支援課と共同で実施している。</p> <p><事業の実績・成果> ・令和4年度末参加者：13,798人（スマホアプリ利用者：10,825人、歩数計利用者：2,973人） ・参加者の1日平均歩数：7,201歩</p> <p>○健幸マイレージ事業業務委託 ・選定方法：随意契約 ・委託先：日本健保株式会社 ・委託期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日 ・委託金額：3,168,000円のうち当課負担分696,960円 ※健康づくり支援課と案分（22:78） ・内 容：参加者の情報及び歩数履歴の管理、市独自ポイントの集計とポイント付与メールの一斉配信</p> <p>○健幸マイレージ景品業務委託 ・選定方法：随意契約 ・委託先：株式会社 corot ・委託期間：令和4年12月13日～令和5年3月31日 ・委託金額：12,933,800円のうち当課負担分2,845,436円 ※健康づくり支援課と案分（22:78） ・内 容：店舗との交渉及び連絡調整、お食事券等の印刷及び発送</p>		

事務事業名 特定保健指導業務委託事業	予算現額	5,467,000 円				
	決算額	2,281,400 円				
所 管 健康推進部国民健康保険課	翌年度繰越額	0 円				
予算区分 款 5 項 2 目 1 説明 01 特定健康診査等事業費	不用額	3,185,600 円				
事業概要 (R4-1 議案第 11～20 号 P.199)	前年度決算額	2,369,400 円				
<p><事業の目的・内容> 平成20年4月より義務付けられた特定健康診査と特定保健指導の実施において、令和元年度から、特定保健指導の一部（動機付け支援）を直営体制から業務委託に切り替え、国の目標値が達成できる体制を再構築し、国保加入者の生活習慣病予防及び疾病の早期発見・早期治療を通して、健康の保持増進と生活の質の向上を図る。</p> <p><事業の実績・成果> 令和元年度から、動機づけ支援対象者の特定保健指導業務委託に切り替えた結果、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた令和2年度を除いて委託の効果が出ており、令和4年度においても同様の傾向が見込まれる。</p>						
令和4年度特定保健指導実施状況						
						【特定保健指導実施率（全体）】
動機付け支援			積極的支援			全体
対象者数	終了者数	実施率	対象者数	終了者数	実施率	実施率
1,645人	395人	24.0%	475人	83人	17.5%	22.5%
令和5年6月27日現在（最終確定は11月）						
<p>○令和4年度所沢市国民健康保険特定保健指導業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定方法：随意契約 ・委託先：所沢市医師会 ・委託期間：令和4年4月21日～令和5年3月31日 ・委託金額：2,094,400円 						

事務事業名 対話支援システム導入事業	予算現額	1,617,000 円
	決算額	1,524,600 円
所 管 健康推進部国民健康保険課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 1 項 1 目 1 説明 01 総務事務費	不用額	92,400 円
事業概要 (R4-3 議案第 53~57 号 P.39)	前年度決算額	—
<p><事業の目的・内容></p> <p>新型コロナウイルス感染症対策としてマスクの着用や窓口における身体的距離の確保などで、高齢者や障害者には日常的に会話が聞き取りづらい環境下にある。</p> <p>そこで、窓口等における市民との円滑なコミュニケーションを支援するため、音声をクリアにする指向性の高い対話支援システムを導入し、市民サービスの向上につなげるものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <p>マスクの着用やパーテーション設置に関わらず、職員と市民の会話がスムーズになった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設置機器：周波数変調方式窓口スピーカーシステム（スピーカー、ショットガンマイク、ACアダプタ等） ・設置数：8セット ・設置月：令和4年12月 		

令和4年度所沢市介護保険特別会計歳入歳出決算表

(歳入)

(単位：円)

款	当初予算額	補正予算額	前年度からの繰越金	予算現額	収入済額	予算現額に対する増減	予算現額に対する収入済額比率
保険料	5,919,602,000	0	0	5,919,602,000	5,983,456,200	63,854,200	101.1%
使用料及び手数料	1,000	0	0	1,000	0	△ 1,000	-
国庫支出金	5,527,150,000	0	0	5,527,150,000	5,450,177,929	△ 76,972,071	98.6%
支払基金交付金	6,936,174,000	0	0	6,936,174,000	6,250,562,000	△ 685,612,000	90.1%
県支出金	3,800,152,000	0	0	3,800,152,000	3,777,098,902	△ 23,053,098	99.4%
財産収入	1,953,000	0	0	1,953,000	1,521,509	△ 431,491	77.9%
繰入金	4,599,359,000	77,000	0	4,599,436,000	4,599,434,163	△ 1,837	100.0%
繰越金	1,000	1,537,919,000	0	1,537,920,000	1,537,915,469	△ 4,531	100.0%
諸収入	608,000	0	0	608,000	5,848,133	5,240,133	961.9%
歳入合計	26,785,000,000	1,537,996,000	0	28,322,996,000	27,606,014,305	△ 716,981,695	97.5%

(歳出)

(単位：円)

款	当初予算額	補正予算額	前年度からの繰越金	予備費充用額	予算現額	支出済額	翌年度への繰越額	不用額	予算現額に対する支出済額比率
総務費	382,742,000	△ 537,000	0	0	382,205,000	343,913,565	0	38,291,435	90.0%
保険給付費	25,058,880,000	0	0	0	25,058,880,000	22,792,861,356	0	2,266,018,644	91.0%
地域支援事業費	1,334,686,000	0	0	0	1,334,686,000	1,119,226,900	0	215,459,100	83.9%
基金積立金	1,953,000	743,428,000	0	0	745,381,000	744,949,279	0	431,721	99.9%
諸支出金	6,739,000	795,105,000	0	0	801,844,000	801,770,348	0	73,652	100.0%
歳出合計	26,785,000,000	1,537,996,000	0	0	28,322,996,000	25,802,721,448	0	2,520,274,552	91.1%

介護保険特別会計

歳入は、予算現額 283 億 2,299 万 6 千円に対し、収入済額 276 億 601 万 4,305 円で、収入率は 97.5%であった。

歳出は、予算現額 283 億 2,299 万 6 千円に対し、支出済額 258 億 272 万 1,448 円で、執行率は 91.1%であった。

歳入歳出差引き 18 億 329 万 2,857 円の繰越しとなった。

福祉部

1 高齢者支援課

- (1) 介護予防・日常生活支援総合事業として、訪問型サービス、通所型サービス及び通所型短期集中予防サービスを実施した。
- (2) 介護予防事業として、高齢者みまもり相談員設置事業、いきいき健康体操教室事業、介護予防普及啓発事業、お達者倶楽部の推進等を行った。
- (3) 地域包括支援センター運営事業として、市内 14 か所に設置している地域包括支援センターにおいて、総合相談などに応じるとともに地域との協力を図った（総合相談件数 34,098 件）。
- (4) 認知症施策推進事業として、認知症初期集中支援チームの配置（訪問支援 53 件、相談 12 件）、みんなのカフェ（認知症カフェ）の開設（13 か所、68 回開催）、認知症地域支援推進員の配置を行った。
- (5) 在宅医療・介護連携推進事業として、住み慣れた地域で最期まで暮らし続けられるよう医療と介護の円滑な連携体制の構築に努めた。
- (6) 生活支援体制整備事業として、市全体を担当する「第 1 層生活支援コーディネーター」と各日常生活圏域（14 圏域）を担当する「第 2 層生活支援コーディネーター」を配置し、地域資源やニーズの把握を行った（地域における社会資源数 840 件）。

2 介護保険課

- (1) 年度末の 65 歳以上の第 1 号被保険者数は 94,645 人、要支援・要介護認定者数は 16,884 人、介護保険給付サービスを受けている人数は 12,586 人であった。
- (2) 保険給付費については、全額を第 1 号被保険者の保険料で賄う特別給付を含め 227 億 9,286 万 1,356 円、また、地域支援事業費については 11 億 1,922 万 6,900 円であった。
- (3) 介護保険料賦課徴収事業、趣旨普及事業、サービス事業者支援事業、介護認定審査会事業、介護保険給付事業、高額介護サービス費の給付、紙おむつ給付事業、住宅改修支援助成事業等を行った。

健康推進部

健康づくり支援課

栄養士、歯科衛生士、理学療法士、保健師による介護予防のためのつどい、栄養教室、歯科健康教室等の事業を実施した。

事務事業名 対話支援システム導入事業	予算現額	405,000 円
	決算額	381,150 円
所 管 福祉部介護保険課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 1 項 1 目 1 説明 01 総務事務費	不用額	23,850 円
事業概要 (R4-3 議案第 53~57 号 P.42)	前年度決算額	—
<p><事業の目的・内容></p> <p>新型コロナウイルス感染症対策としてマスクの着用や窓口における身体的距離の確保などで、高齢者や障害者には日常的に会話が聞き取りづらい環境下にある。</p> <p>そこで、窓口等における市民との円滑なコミュニケーションを支援するため、音声をクリアにする指向性の高い対話支援システムを導入し、市民サービスの向上につなげるものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <p>マスクの着用やパーテーション設置に関わらず、職員と市民の会話がスムーズになった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設置機器：周波数変調方式窓ロスピーカーシステム（スピーカー、ショットガンマイク、ACアダプタ等） ・設置数：2セット ・設置月：令和4年12月 		

令和4年度所沢市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算表

(歳入)

(単位：円)

款	当初予算額	補正予算額	前年度からの繰越金	予算現額	収入済額	予算現額に対する増減	予算現額に対する収入済額比率
保険料	4,796,057,000	0	0	4,796,057,000	4,532,230,077	△ 263,826,923	94.5%
使用料及び手数料	2,000	0	0	2,000	1,800	△ 200	90.0%
繰入金	817,663,000	△ 51,995,000	0	765,668,000	765,667,844	△ 156	100.0%
繰越金	1,000	19,408,000	0	19,409,000	19,407,474	△ 1,526	100.0%
諸収入	11,277,000	0	0	11,277,000	27,631,544	16,354,544	245.0%
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0.0%
歳入合計	5,625,000,000	-32,587,000	0	5,592,413,000	5,344,938,739	△ 247,474,261	95.6%

(歳出)

(単位：円)

款	当初予算額	補正予算額	前年度からの繰越金	予備費充用額	予算現額	支出済額	翌年度への繰越額	不用額	予算現額に対する支出済額比率
総務費	97,640,000	1,213,000	0	0	98,853,000	79,893,372	0	18,959,628	80.8%
後期高齢者医療広域連合納付金	5,516,785,000	△ 46,001,000	0	0	5,470,784,000	5,195,058,071	0	275,725,929	95.0%
諸支出金	10,575,000	12,201,000	0	0	22,776,000	19,171,124	0	3,604,876	84.2%
歳出合計	5,625,000,000	-32,587,000	0	0	5,592,413,000	5,294,122,567	0	298,290,433	94.7%

後期高齢者医療特別会計

歳入は、予算現額 55 億 9,241 万 3 千円に対し、収入済額 53 億 4,493 万 8,739 円、収入率は 95.6%であった。

歳出は、予算現額 55 億 9,241 万 3 千円に対し、支出済額 52 億 9,412 万 2,567 円、執行率は 94.7%であった。

歳入歳出差引き 5,081 万 6,172 円の繰越しとなった。

健康推進部

国民健康保険課

- (1) 保険料の決定や医療給付等については、埼玉県後期高齢者医療広域連合が行い、保険料の徴収及び窓口業務を市が行っている。被保険者数については、令和 5 年 3 月末現在で 50,871 人、前年同月比では 2,356 人の増、増加率は 4.9%である。
- (2) 後期高齢者医療保険料の収納状況は、歳入予算現額 47 億 9,605 万 7 千円に対し、調定額 45 億 7,782 万 8,320 円、収入済額 45 億 3,223 万 77 円であった。

予算現額に対する収入済額比率は 94.5%、対調定収入率は 99.0%である。

事務事業名 対話支援システム導入事業	予算現額	1,213,000 円
	決算額	1,143,450 円
所 管 健康推進部国民健康保険課	翌年度繰越額	0 円
予算区分 款 1 項 1 目 1 説明 01 総務事務費	不用額	69,550 円
事業概要 (R4-3 議案第 53~57 号 P47)	前年度決算額	—
<p><事業の目的・内容></p> <p>新型コロナウイルス感染症対策としてマスクの着用や窓口における身体的距離の確保などで、高齢者や障害者には日常的に会話が聞き取りづらい環境下にある。</p> <p>そこで、窓口等における市民との円滑なコミュニケーションを支援するため、音声をクリアにする指向性の高い対話支援システムを導入し、市民サービスの向上につなげるものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <p>マスクの着用やパーテーション設置に関わらず、職員と市民の会話がスムーズになった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設置機器：周波数変調方式窓口スピーカーシステム（スピーカー、ショットガンマイク、ACアダプタ等） ・設置数：6セット ・設置月：令和4年12月 		

(参 考)
事 業 会 計

令和4年度所沢市水道事業会計決算表

1. 収入

収益的収入

(単位 千円)

款	項	予 算 額				決 算 額	予 算 額 に 比 べ 決 算 額 の 増 減	予 算 額 に 対 する 比 率 (%)
		当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	法第24条第3項の規定による支出額に係る財源充当額	予算現額			
1	水道事業収益	6,686,609	6,497	0	6,693,106	6,757,056	63,950	101.0
	01 営業収益	6,166,137	△ 152,836	0	6,013,301	5,980,360	△ 32,941	99.5
	02 営業外収益	520,472	159,333	0	679,805	741,896	62,091	109.1
	03 特別利益	0	0	0	0	34,800	34,800	—

資本的収入

(単位 千円)

款	項	予 算 額					決 算 額	予 算 額 に 比 べ 決 算 額 の 増 減	予 算 額 に 対 する 比 率 (%)
		当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	法第26条の規定による繰越額に係る財源充当額	継続費通次繰越額に係る財源充当額	予算現額			
1	資本的収入	1,334,662	0	0	0	1,334,662	1,098,305	△ 236,357	82.3
	01 企業債	1,100,000	0	0	0	1,100,000	977,000	△ 123,000	88.8
	02 負担金	234,662	0	0	0	234,662	121,305	△ 113,357	51.7

2. 支出

収益的支出

(単位 千円)

款	項	予 算 額						決 算 額	予算額に 対する 比率 (%)	法第26条 第2項の規定 による繰越額	不 用 額
		当 初 予算額	補 正 予算額	予備費 支出額	流用増減額	法第24条 第3項の規定 による支出額	予算現額				
1	水道事業費	6,234,744	51,154	0	0	0	6,285,898	6,016,939	95.7	0	268,959
	01 営業費用	6,149,689	51,154	0	0	0	6,200,843	5,944,499	95.9	0	256,344
	02 営業外費用	75,055	0	0	0	0	75,055	72,440	96.5	0	2,615
	03 予備費	10,000	0	0	0	0	10,000	0	0.0	0	10,000

資本的支出

(単位 千円)

款	項	予 算 額						決 算 額	予算額に 対する 比率 (%)	翌年度繰越額		不 用 額
		当 初 予算額	補 正 予算額	流 用 増減額	法第26条 の規定による 繰 越 額	継 続 費 過 次 繰 越 額	予算現額			法第26条 の規定による 繰 越 額	継続費 過次 繰越額	
1	資本的支出	3,911,139	0	0	1,416,576	0	5,327,715	4,458,367	83.7	202,992	0	666,356
	01 建設改良費	3,362,940	0	0	1,416,576	0	4,779,516	3,912,234	81.9	202,992	0	664,290
	02 企業債償還金	548,199	0	0	0	0	548,199	546,133	99.6	0	0	2,066

水道事業会計

水道事業会計の決算については次のとおりである。

令和4年度の収益的収支については、水道事業収益が61億1,434万92円（税込金額67億5,705万5,949円）となり、前年度に比べ0.59%の減少となった。

このうち水道料金は48億1,943万1,360円（税込金額53億123万3,356円）で前年度に比べ4.72%の減少、水道利用加入金は3億175万6千円（税込金額3億3,193万1,600円）で前年度に比べ5.29%の増加となった。また、営業収益の他会計負担金は2億5,839万8,740円（税込金額2億8,299万2,453円）となった。

一方、支出については、水道事業費が57億1,117万8,012円（税込金額60億1,693万9,113円）となり、前年度に比べ4.02%の増加となった。

以上の結果、当年度純利益4億316万2,080円を計上した。

令和4年度の資本的収支については、資本的収入が10億9,059万8,856円（税込金額10億9,830万4,685円）となった。

一方、資本的支出は41億1,598万2,412円（税込金額44億5,836万6,891円）となった。

このうち建設改良費は35億6,984万8,983円（税込金額39億1,223万3,462円）で前年度に比べ42.55%の増加、企業債償還金（元金）は5億4,613万3,429円で前年度に比べ13.38%の増加となった。

この結果、資本的収入額が資本的支出額に不足する額33億6,006万2,206円（税込金額）は、過年度分損益勘定留保資金24億9,242万9,508円、当年度分損益勘定留保資金149万9,269円、減債積立金5億4,613万3,429円及び建設改良積立金3億2千万円で補てんした。

上 下 水 道 局

本市水道事業は、安全な水の安定供給により市民生活と産業活動を支えるため、災害に強いライフラインの構築に向けた水道施設の整備を進めるとともに、施設の維持管理や水質検査を適切に実施している。

また、持続可能な水道に向けて、50年先の将来像を描き実現に向けて策定した「所沢市水道ビジョン」及び「所沢市水道事業経営計画」に基づき、一層の効率化と経営基盤の安定化を進めていく。

1 総務課

市内の小学校に上下水道局職員を派遣し、啓発用パンフレット「所沢の水道と下水道」等を使用して、水道及び下水道に関する出前教室を行った。

2 経営課

コロナ禍における物価高騰等が及ぼす市民生活や産業活動への影響を踏まえ、水道利用者への経済的な支援策として、9月・10月検針分の水道料金のうち基本料金を免除した。

3 窓口サービス課

コロナ禍における物価高騰等の影響に伴い、一時的に水道料金の支払が困難な契約者に対して、支払猶予等の納付相談を行った。

4 水道建設課

水道管整備事業として、老朽管の更新を中心とした配水管網の整備を図るため、市内各地区に耐震性を有するダクタイル鋳鉄管等12,927.8mを整備した。

5 給水管理課

(1) 浄水場整備事業として、災害時における安定給水を図るため、着水井等の耐震診断を行い、補強が必要と診断された場所に耐震補強

工事に向けた耐震補強設計を実施した。

- (2) 西部浄水場については、ダウンサイジングを見据えた当該施設全体の更新に向け、令和4年度から令和5年度にかけて、基本計画を策定するとともに設計・施工一括発注等の導入可能性について、調査している。

事務事業名 環境対策推進事業（低公害車導入）	予算現額	6,725,000円
	決算額	4,042,104円
所管 上下水道局経営課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 1 項 1 目 1 説明 資本的支出	不用額	2,682,896円
事業概要 (R4-1 議案第11～20号 P.203)	前年度決算額	0円
<p><事業の目的・内容></p> <p>本事業は、地球温暖化緩和策を推進するため、次世代自動車（ハイブリッド車、電気自動車）を導入することにより、二酸化炭素の排出を削減し、本市が掲げるゼロカーボンシティの実現に寄与するものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <p>ガソリン車2台をハイブリッド車に更新した。</p> <p>○小型貨物車（トヨタプロボックス） ・選定方法：指名競争入札（2者） ・契約先：ネッツトヨタ東埼玉株式会社 ・購入金額：1,705,572円</p> <p>○公共応急作業車（トヨタプロボックス、緊急車両赤色灯付） ・選定方法：指名競争入札（2者） ・契約先：ネッツトヨタ東埼玉株式会社 ・購入金額：2,336,532円</p>		

事務事業名 水道管整備事業	予算現額	4,156,664,300円
	決算額	3,417,963,421円
所管 上下水道局水道建設課	翌年度繰越額	154,591,800円
予算区分 款 1 項 1 目 1 説明 資本的収支	不用額	584,109,079円
事業概要 (R4-1 議案第11～20号 P.204) (R4-4 議案第76～77号 P.53)	前年度決算額	1,642,522,403円
<p><事業の目的・内容></p> <p>本事業は、「所沢市水道事業経営計画」に基づき、老朽化した水道管について、法定耐用年数を考慮した上で更新を行うものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <p>【令和4年度工事概要】</p> <p>・大口径管更新工事 6件 実施延長 3,082.8m ・小口径管更新工事 23件 実施延長 9,562.0m ・配水管布設工事 2件 実施延長 283.0m 計31件 総延長 12,927.8m</p> <p>・業務委託 測量委託：6件、詳細設計委託：4件 合計 10件</p> <p>※本事業については、地方公営企業法第26条の規定による繰越額として154,591,800円を令和5年度に繰り越し、実施する。</p>		

事務事業名 浄水場整備事業（西部浄水場更新工事）	予算現額	7,200,000円
	決算額	6,600,000円
所 管 上下水道局給水管理課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 1 項 1 目 1 説明 資本的支出	不用額	600,000円
事業概要 (R4-1 議案第11～20号 P.205)	前年度決算額	—
<p><事業の目的・内容></p> <p>西部浄水場について、ダウンサイジングを見据えた当該施設全体の再構築を行い、配水池や管理棟など全ての場内施設を計画的に更新するものである。</p> <p>【施設概要】</p> <p>運転開始：昭和37年7月 令和4年度配水量：11,854,480 m³（市全体の33.4%）</p> <p><事業の実績・成果></p> <ul style="list-style-type: none"> 西部浄水場内外の測量業務を実施 令和4年度から令和5年度にかけて、基本計画の策定、設計・施工一括発注等の効率的な手法の導入可能性についての調査 		
	西部浄水場測量業務委託	西部浄水場更新基本計画策定等業務委託
選定方法	指名競争入札(5者)	指名競争入札(6者)
委託先	(株)大雄測量設計	(株)日水コン 埼玉事務所
委託期間	令和4年6月29日～11月30日	令和4年6月14日～令和6年3月15日
委託金額	6,600,000円	39,578,000円（債務負担行為）
内 容	更新工事による老朽化施設の耐震性及び施設規模の適正化	

事務事業名 浄水場整備事業（耐震補強工事）	予算現額	66,184,000円
	決算額	52,404,000円
所 管 上下水道局給水管理課	翌年度繰越額	
予算区分 款 1 項 1 目 1 説明 資本的支出	不用額	13,780,000円
事業概要 (R4-1 議案第11～20号 P.206)	前年度決算額	257,164,300円
<p><事業の目的・内容></p> <p>所沢市水道事業経営計画に基づき、着水井等について耐震診断を順次行い、耐震補強が必要な場所に耐震補強設計及び耐震補強工事を実施し、災害に強いライフラインを構築するものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <ul style="list-style-type: none"> 配水池等の耐震化率：95.1%（令和4年度末） 着水井等の耐震化率：57.3%（令和4年度末） 		
	東部浄水場着水井耐震補強工事設計業務委託	北野・山口加圧ポンプ場ポンプ井等耐震診断業務委託
選定方法	指名競争入札(6者)	指名競争入札(8者)
委託先	(株)日水コン 埼玉事務所	(株)中央設計技術研究所 所沢事務所
委託期間	令和4年7月25日～令和5年3月15日	令和4年7月25日～令和5年3月15日
委託金額	19,624,000円	32,780,000円
内 容	耐震補強による災害に強いライフラインの構築	

事務事業名 “いのちの水”暮らしと産業支援事業	予算現額	6,497,000円
	決算額	6,471,674円
所管 上下水道局経営課・窓口サービス課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 1 項 1 目 4 説明 収益的収支	不用額	25,326円
事業概要 (R4-2 議案第50号 P.16)	前年度決算額	—
<p><事業の目的・内容></p> <p>コロナ禍における物価高騰等が経済的な影響をもたらしている現下の状況に鑑み、即効性のある経済的な支援策として、水道利用者を対象に、9月、10月検針分の水道料金のうち基本料金について免除するものである。</p> <p>あわせて、本事業の実施に当たり、水道料金システムの改修を行う。</p> <p><事業の実績・成果></p> <p>○水道料金（基本料金）免除の実績</p> <p>※国・県・市等が運営する公共施設は免除対象外</p> <ul style="list-style-type: none"> ・免除件数：172,819件 ・免除金額（税抜）：138,073,350円 <p>○9月、10月検針分水道料金（基本料金）免除業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定方法：随意契約 ・委託先：第一環境株式会社 ・委託期間：令和4年7月12日～11月30日 ・委託金額：6,297,500円 ・内容：水道料金免除に係るシステム改修等 		

令和4年度所沢市下水道事業会計決算表

1. 収入

収益的収入

(単位 千円)

款	項	予 算 額				決 算 額	予 算 額 に 比 べ 決 算 額 の 増 減	予 算 額 に 対 する 比 率 (%)
		当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	法第24条第3項の規定による支出額に係る財源充当額	予算現額			
1	下水道事業収益	6,353,728	0	0	6,353,728	6,199,334	△ 154,394	97.6
	01 営業収益	4,845,122	0	0	4,845,122	4,786,199	△ 58,923	98.8
	02 営業外収益	1,508,606	0	0	1,508,606	1,413,135	△ 95,471	93.7

資本的収入

(単位 千円)

款	項	予 算 額					決 算 額	予 算 額 に 比 べ 決 算 額 の 増 減	予 算 額 に 対 する 比 率 (%)
		当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	法第26条の規定による繰越額に係る財源充当額	継続費繰次繰越額に係る財源充当額	予算現額			
1	資本的収入	2,545,979	0	468,400	0	3,014,379	1,985,298	△ 1,029,081	65.9
	01 企業債	1,875,800	0	468,400	0	2,344,200	1,369,000	△ 975,200	58.4
	02 固定資産売却代金	0	0	0	0	0	808	808	-
	03 負担金	474,283	0	0	0	474,283	458,606	△ 15,677	96.7
	04 補助金	190,800	0	0	0	190,800	153,124	△ 37,676	80.3
	05 長期貸付金償還金	5,096	0	0	0	5,096	3,760	△ 1,336	73.8

2. 支出

収益的支出

(単位 千円)

款	項	予 算 額					決算額	予算額に対する 比率 (%)	法第26条 第2項の規定 による繰越額	不 用 額	
		当 初 予算額	補 正 予算額	予備費 支出額	流用増減額	法第24条 第3項の規定 による支出額					予算現額
1	下水道事業費	6,038,933	0	0	0	0	6,038,933	5,811,847	96.2	0	227,086
	01 営業費用	5,725,185	0	0	0	0	5,725,185	5,516,164	96.3	0	209,021
	02 営業外費用	303,748	0	0	0	0	303,748	294,145	96.8	0	9,603
	03 特別損失	0	0	0	0	0	0	1,538	—	0	△ 1,538
	04 予備費	10,000	0	0	0	0	10,000	0	0.0	0	10,000

資本的支出

(単位 千円)

款	項	予 算 額					決算額	予算額に対する 比率 (%)	翌年度繰越額		不 用 額	
		当 初 予算額	補 正 予算額	流 用 増減額	法第26条 の規定による 繰 越 額	継 続 費 通 次 繰 越 額			予算現額	法第26条 の規定による 繰 越 額		継続費 通次 繰越額
1	資本的支出	5,262,576	22,195	0	575,521	0	5,860,292	4,155,376	70.9	1,293,173	90,070	321,673
	01 建設改良費	4,216,825	22,195	0	575,521	0	4,814,541	3,113,282	64.6	1,293,173	90,070	318,016
	02 企業債償還金	1,039,751	0	0	0	0	1,039,751	1,039,750	99.9	0	0	1
	03 長期貸付金	6,000	0	0	0	0	6,000	2,344	39.0	0	0	3,656

下水道事業会計

下水道事業会計の決算については次のとおりである。

令和4年度の収益的収支については、下水道事業収益が58億5,205万9,044円(税込金額61億9,933万3,635円)となり、前年度に比べ0.78%の減少となった。

このうち下水道使用料は32億3,255万9,330円(税込金額35億5,530万958円)で前年度に比べ1.64%の減少となった。また、営業収益の他会計負担金は12億1,768万8千円(不課税)、営業外収益の他会計補助金は1億1千万円(不課税)となった。

一方、支出については、下水道事業費が56億7,900万4,399円(税込金額58億1,184万7,290円)となり、前年度に比べ1.35%の増加となった。

以上の結果、当年度純利益1億7,305万4,645円を計上した。

令和4年度の資本的収支については、資本的収入が19億6,309万4,847円(税込金額19億8,529万8,187円)となった。

一方、資本的支出は38億9,143万950円(税込金額41億5,537万6,452円)となった。

このうち建設改良費は28億4,933万7,104円(税込金額31億1,328万2,606円)で前年度に比べ25.6%の減少、企業債償還金(元金)は10億3,974万9,846円で前年度に比べ1.83%の減少となった。

この結果、資本的収入額が資本的支出額に不足する額21億7,007万8,265円(税込金額)は、過年度分損益勘定留保資金16億5,707万9,103円、当年度分損益勘定留保資金2,692万7,610円、減債積立金2億9,473万272円及び当年度分消費税資本的収支調整額1億9,134万1,280円で補てんした。

上 下 水 道 局

本市下水道事業は、公衆衛生の向上、公共用水域の水質保全及び市街地の浸水防除のため、施設の整備と災害に強いライフラインの構築を進めるとともに、適切な維持管理や普及促進事業を実施している。

また、所沢市下水道事業経営計画に基づく戦略的な事業展開を図るなど、重要なインフラを預かる公営企業として、より効率的な事業運営と健全経営に努めている。

1 経営課

下水道事業全体のイメージアップにつなげるため、下水道維持課との共同事業として「第10回マンホールサミット in 所沢」を開催し、約14,000人が来場した。

2 窓口サービス課

コロナ禍における物価高騰等の影響に伴い、一時的に下水道使用料の支払が困難な契約者に対して、支払猶予等の納付相談を行った。

3 下水道整備課

(1) 下水管の整備状況については、「第1次市街化調整区域下水道整備計画」に基づく第4期整備事業により4,579m、その他の事業により1,296m、合計5,875mの汚水管を布設した。

(2) 雨水を地下に浸透させることにより、雨水流出抑制を図り、浸水被害の軽減につなげる道路雨水樹210か所の浸透化を実施した。

(3) マンホール3か所の耐震化や調整池5か所の耐震診断など、下水道施設に対する地震対策を実施した。

4 下水道維持課

下水道整備課及び窓口サービス課との共同による雨天時浸入水対策事業として、柳瀬川4号幹線管路施設のテレビカメラ調査及び大字下

安松地内の下水管布設工事を実施するとともに、汚水管への雨水の流入を抑制するため、新たに排水設備を接続した家屋を対象として外水道用栓の無料配布を行った。

事務事業名 イメージアップ事業（マンホールサミット開催）	予算現額	9,316,000円
	決算額	9,141,171円
所管 上下水道局経営課・下水道維持課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 1 項 1 目 60 説明 収益的支出	不用額	174,829円
事業概要 (R4-1 議案第11～20号 P.207)	前年度決算額	1,406,208円
<p><事業の目的・内容></p> <p>全国で開催される「マンホールサミット」の第10回大会をところざわサクラタウン及び周辺施設において実施するものである。国内外の幅広い層に、日本が世界に誇る文化物であるマンホール蓋の魅力を発信することで、下水道の役割を伝える「見える化」を推進し、下水道事業全体のイメージアップにつなげることを目的とする。あわせて、市関係部局と連携し、COOL JAPAN FOREST 構想の推進や、地域活性化に資する取組を実施する。</p> <p><事業の実績・成果></p> <ul style="list-style-type: none"> マンホールサミット in 所沢実行委員会（上下水道局と下水道広報プラットフォームで組織）への補助金の交付 <p>○第10回マンホールサミット in 所沢</p> <ul style="list-style-type: none"> 開催日：令和4年11月19日（土） 会場：ところざわサクラタウン、東所沢公園、所沢市観光情報・物産館YOT-TOKO 来場者数：約14,000人（マンホールサミット史上過去最高） 内容：全国から集めたマンホール蓋を110枚展示（過去最多）、マンホール版画、スタンプラリー、ぬりえ、缶バッジづくり等の体験イベント、トークイベント 		
		

事務事業名 雨天時浸入水対策事業	予算現額	158,001,000円
	決算額	67,248,242円
所管 上下水道局窓口サービス課・下水道整備課・下水道維持課	翌年度繰越額	90,070,000円
予算区分 款 1 項 1 目 10 説明 収益的支出・資本的支出	不用額	682,758円
事業概要 (R4-1 議案第11～20号 P.208)	前年度決算額	67,347,940円
<p><事業の目的・内容></p> <p>近年、下水道施設の老朽化に伴い、台風やゲリラ豪雨などの雨天時に、汚水管への雨水の流入を起因とした被害が多発していることから、汚水管への雨水の流入を抑制するため、汚水管の改築や雨水施設の設置等により、発生原因箇所への対策を行うとともに、汚水貯留施設等の築造により、流量の調整を行う。</p> <p><事業の実績・成果></p> <p>○柳瀬川4号幹線管路施設調査業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> 選定方法：指名競争入札(6者) 委託先：株式会社オール 委託期間：令和4年10月18日～令和5年3月24日 委託金額：26,840,000円 内容：柳瀬川4号幹線の所沢陸橋通りから高橋交差点までの管渠テレビカメラ調査 5,510m <p>○下安松地内下水管布設工事(令和4・5年度継続工事)</p> <ul style="list-style-type: none"> 選定方法：一般競争入札(7者) 契約者：株式会社新光工業 契約期間：令和4年7月27日～令和6年2月29日 契約金額：230,450,000円（令和4年度支払額19,930,000円） 内容：前年度に詳細設計を行った地区の下水管布設工事 733.9m <p>○外水道用栓の無料配布</p> <ul style="list-style-type: none"> 新たに排水設備を接続した家屋を対象として、汚水管への雨水の流入を防ぐために外水道用栓の無料配布を実施 <p>※本事業については、予算額90,070,000円を令和5年度に逐次繰越し、実施する。</p>		

事務事業名 雨水浸透化事業	予算現額	80,643,000円
	決算額	70,216,300円
所 管 上下水道局下水道整備課	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 1 項 1 目 10 説明 収益的収支・資本的支出	不用額	10,426,700円
事業概要 (R4-1 議案第11～20号 P.209) (R4-4 議案第76～77号 P.63)	前年度決算額	68,618,000円
<p><事業の目的・内容> 近年、都市化の進展やゲリラ豪雨の増加により市内各地で発生している内水被害の軽減を目的として、雨水を地下に浸透させることで雨水流出を抑制し、浸水被害を軽減する道路雨水枡浸透化等を進めるものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p>○雨水枡浸透化修繕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定方法：指名競争入札(5者) ・契約先：スピーダーレンタル株式会社 ・工期：令和4年4月11日～8月16日 ・契約金額：54,846,000円 ・内 容：210か所(上新井五丁目地内ほか) </div> <div style="width: 48%;"> <p>○雨水浸透井築造工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定方法：指名競争入札(6者) ・契約先：中央建設協同組合川越営業所 ・工期：令和4年8月26日～11月25日 ・契約金額：13,860,000円 ・内 容：1か所(北所沢町地内) </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 48%;"> <p>○下水道工事に伴う事前調査業務委託(4-9)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定方法：指名競争入札(3者) ・委託先：ランド測地設計株式会社 ・委託期間：令和4年6月30日～9月16日 ・委託金額：1,463,000円 ・内 容：3件(北所沢町地内) </div> <div style="width: 48%;"> <p>○事後調査に伴う意向調査確認調査業務委託(4-12)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定方法：随意契約 ・委託先：ランド測地設計株式会社 ・委託期間：令和5年1月11日～2月24日 ・委託金額：24,200円 ・内 容：3件(北所沢町地内) </div> </div>		

事務事業名 下水道管渠布設事業	予算現額	3,040,658,400円																
	決算額	1,773,396,095円																
所 管 上下水道局下水道整備課	翌年度繰越額	1,143,312,400円																
予算区分 款 1 項 1 目 10 説明 資本的収支	不用額	123,949,905円																
事業概要 (R4-1 議案第11～20号 P.210) (R4-4 議案第76～77号 P.65) (R4-4 議案第76～77号 P.67)	前年度決算額	3,256,113,955円																
<p><事業の目的・内容> 生活環境の改善と公共用水域の水質保全を図るため、「第1次市街化調整区域下水道整備計画」に基づく第4期整備事業として、整備区域の拡大を図るものである。あわせて、第2一般廃棄物最終処分場下水道整備事業として、環境クリーン部の依頼に基づき污水管の布設を進める。</p> <p><事業の実績・成果></p> <p>○下水道管渠布設工事</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 40%;">・第4期整備事業に係る污水管布設事業</td> <td style="width: 15%;">工事：11件</td> <td style="width: 15%;">延長：4,578.9m</td> <td style="width: 30%;">整備面積：9.8ha</td> </tr> <tr> <td>・第4期以外の污水管布設事業</td> <td>工事：3件</td> <td>延長：497.1m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・第2一般廃棄物最終処分場下水道整備事業</td> <td>工事：1件</td> <td>延長：709.8m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・雨水管布設事業(汚水と同時施工)</td> <td>工事：1件</td> <td>延長：89.3m</td> <td></td> </tr> </table> <p>○北秋津・上安松・若松町地内新設污水詳細設計業務委託(4-1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定方法：指名競争入札(8者) ・委託先：株式会社日本水道設計社さいたま営業所 ・委託期間：令和4年5月20日～令和5年3月24日 ・委託金額：40,700,000円 ・内 容：污水管布設の詳細設計 <p>※本事業については、地方公営企業法第26条の規定による繰越額として1,143,312,400円を令和5年度に繰り越し、実施する。</p>			・第4期整備事業に係る污水管布設事業	工事：11件	延長：4,578.9m	整備面積：9.8ha	・第4期以外の污水管布設事業	工事：3件	延長：497.1m		・第2一般廃棄物最終処分場下水道整備事業	工事：1件	延長：709.8m		・雨水管布設事業(汚水と同時施工)	工事：1件	延長：89.3m	
・第4期整備事業に係る污水管布設事業	工事：11件	延長：4,578.9m	整備面積：9.8ha															
・第4期以外の污水管布設事業	工事：3件	延長：497.1m																
・第2一般廃棄物最終処分場下水道整備事業	工事：1件	延長：709.8m																
・雨水管布設事業(汚水と同時施工)	工事：1件	延長：89.3m																

事務事業名 下水道地震対策事業	予算現額	228,378,000 円
	決算額	163,567,800 円
所 管 上下水道局下水道整備課	翌年度繰越額	37,862,000 円
予算区分 款 1 項 1 目 10 説明 資本的収支	不用額	26,948,200 円
事業概要 (R4-1 議案第 11～20 号 P. 211)	前年度決算額	118,402,900 円
<p><事業の目的・内容></p> <p>「所沢市下水道総合地震対策計画」に基づき、重要な幹線や緊急輸送道路等に埋設されている下水道施設を対象に、災害に強いライフラインを構築するため、管渠やマンホール等の耐震化を進めるものである。平成 30 年度以降は、中期計画に基づき事業を進めている。</p> <p><事業の実績・成果></p> <p>○下水道地震対策整備工事 (4-1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定方法：一般競争入札(2 者) ・契 約 先：洋光建設株式会社 ・工 期：令和 4 年 4 月 1 日～10 月 4 日 ・契約金額：33,492,800 円 ・内 容：管渠 166m (元町地内) <p>○下水道地震対策整備工事 (4-2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定方法：一般競争入札(2 者) ・契 約 先：株式会社創成 ・工 期：令和 4 年 7 月 27 日～令和 5 年 3 月 24 日 ・契約金額：54,175,000 円 ・内 容：マンホール 3 か所(上安松地内ほか) <p>○下水道貯留施設耐震診断 (詳細診断) 業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定方法：指名競争入札(8 者) ・委 託 先：株式会社N J S 関東事務所 ・委託期間：令和 4 年 6 月 21 日～令和 5 年 2 月 28 日 ・委託金額：28,050,000 円 ・内 容：中道公園ほか 4 調整池耐震診断 (詳細診断) <p>※本事業については、地方公営企業法第 26 条の規定による繰越額として 37,862,000 円を令和 5 年度に繰り越し、実施する。</p>		

令和4年度所沢市病院事業会計決算表

1. 収入

収益的収入

(単位 千円)

款	項	予 算 額			決 算 額	予 算 額 に 比 べ 決 算 額 の 増 減	予 算 額 に 対 する 比 率 (%)
		当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	予 算 現 額			
1	病院事業収益	2,282,968	0	2,282,968	2,138,986	△ 143,982	93.7
	01 医業収益	1,654,123	0	1,654,123	1,478,293	△ 175,830	89.4
	02 医業外収益	628,835	0	628,835	636,151	7,316	101.2
	03 特別利益	10	0	10	24,542	24,532	245,420.0

資本的収入

(単位 千円)

款	項	予 算 額			決 算 額	予 算 額 に 比 べ 決 算 額 の 増 減	予 算 額 に 対 する 比 率 (%)
		当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	予 算 現 額			
1	資本的収入 他会計補助金	0	5,938	5,938	5,125	△ 813	86.3

2. 支出

収益的支出

(単位 千円)

款	項	予 算 額					決 算 額	予算額に 対する 比率 (%)	法第26条 第2項の規定 による繰越額	不 用 額
		当初 予算額	補正 予算額	予備費 支出額	流用増減額	予算現額				
1	病院事業費	2,368,307	16,479	0	0	2,384,786	1,947,444	81.7	0	437,342
	01 医業費用	2,301,798	16,479	0	0	2,318,277	1,892,909	81.7	0	425,368
	02 医業外費用	63,454	0	0	0	63,454	51,285	80.8	0	12,169
	03 特別損失	3,000	0	0	0	3,000	3,250	108.3	0	△ 250
	04 予備費	55	0	0	0	55	0	0.0	0	55

資本的支出

(単位 千円)

款	項	予 算 額						決 算 額	予算額に 対する 比率 (%)	翌年度繰越額		不 用 額
		当初 予算額	補正 予算額	流用増減額	法第26条 の規定による 繰越額	継 続 費 通 次 繰 越 額	予算現額			法第26条 の規定による 繰越額	継続費 通 次 繰越額	
1	資本的支出	79,740	5,938	0	0	0	85,678	75,133	87.7	0	0	10,545
	01 建設改良費	40,276	5,938	0	0	0	46,214	41,170	89.1	0	0	5,044
	02 企業債償還金	33,964	0	0	0	0	33,964	33,963	100.0	0	0	1
	03 予備費	5,500	0	0	0	0	5,500	0	0.0	0	0	5,500

病 院 事 業 会 計

病院事業の決算については次のとおりである。

令和4年度の収益的収入については、病院事業収益が20億8,791万9,358円(税込額21億3,898万5,918円)となり、前年度に比べ12.3%の増加となった。このうち医業収益は14億2,752万858円(税込額14億7,829万3,397円)で前年度に比べ1.8%の増加、医業外収益は6億3,585万6,783円(税込額6億3,615万804円)で前年度に比べ45.7%の増加となり、特別利益は、2,454万1,717円となった。

一方、支出については、病院事業費が18億8,442万274円(税込額19億4,744万3,591円)となり、前年度に比べ2.1%の減少となった。このうち医業費用は18億2,988万6,036円(税込額18億9,290万9,353円)で前年度に比べ2.3%の減少、医業外費用は5,128万4,869円(税込額同額)で前年度に比べ4.5%の増加となり、特別損失は324万9,369円となった。

以上の結果、当年度純利益2億349万9,084円を計上した。

令和4年度の資本的収支については、資本的収入は512万5,000円、資本的支出は7,287万1,760円(税込額7,513万3,236円)となった。

このうち建設改良費は3,890万8,365円(税込額4,116万9,841円)、企業債償還金は3,396万3,395円となった。

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額は、過年度分損益勘定留保資金6,611万4,460円及び当年度分消費税資本的収支調整額389万3,776円で補てんした。

市民医療センター

- (1) 令和3年度に策定した所沢市市民医療センター再整備基本構想を具体化するために、事業実施のための指針となる「所沢市市民医療センター再整備基本計画」及び総務省から令和3年度末に示された公立病院経営強化ガイドラインに基づき、経営強化プラン策定に着手した。
- (2) 安心して子育てができる医療環境を整備するため、関係医療機関と連携しながら、所沢市域全体で365日の小児初期救急医療体制が維持できるよう努め、小児夜間1,677人、小児深夜859人、休日急患3,306人、延べ5,842人を診察した。
- (3) 外来での診療後に入院が必要と判断された患者のほか、市内かかりつけ医からの紹介患者や救急搬送患者、民間病院での受入れが困難な患者などについて、入院の受入れを行い、住民が地域で適切な医療が受けられる環境を整備した(急性期一般病床7,446人、地域包括ケア病床2,708人)。
- (4) 本市の保健医療の向上及び健康維持・増進のため、人間ドック検診9,014人、生活習慣病検診897人、指定検診20,925人、特定健診861人、合計31,697人の健康診査を実施した。
- (5) 一般内科のほかに循環器内科、内視鏡内科、糖尿病・代謝内科、小児科、放射線科を診療科目として標ぼうしている。また、糖尿病外来や夜尿症外来などの専門外来診療や、一般健康診断、各種予防接種なども実施し、医療サービスの充実を図った(内科外来19,018人、二次救急39人、小児科外来17,832人)。
- (6) 新型コロナウイルス感染症対策として、発熱外来を継続したほか、通常外来及び病棟において陽性の疑いのある患者に対しても、必要に応じてPCR検査又は抗原検査を実施した(患者数13,306人、検査件数13,154件)。

事務事業名 所沢市市民医療センター再整備基本計画・経営強化プラン策定事業	予算現額	16,500,000円
	決算額	13,277,000円
所 管 市民医療センター	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 項 目 説明	不用額	3,223,000円
事業概要 (R4-1 議案第11～20号 P.212)	前年度決算額	—
<p><事業の目的・内容></p> <p>昭和51年に開設した所沢市市民医療センターについて、施設・設備の老朽化や、今後の公的病院として担う役割や機能について検討し策定した「所沢市市民医療センター再整備基本構想」を具体化するために、事業実施のための指針となる「所沢市市民医療センター再整備基本計画」及び総務省から令和3年度末に示されたプラン策定に向けたガイドラインに基づき、公立病院経営強化プランを策定するものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・庁内検討組織による検討 ・所沢市市民医療センター運営委員会からの意見聴取 <p>○所沢市市民医療センター再整備基本計画・経営強化プラン策定支援業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定方法：プロポーザル方式（5者） ・委 託 先：株式会社病院システム ・委託期間：令和4年6月9日～令和6年3月31日 ・委託金額：29,205,000円（令和4年度支払金額13,277,000円） ・内 容：基礎調査、部門計画、施設計画等再整備基本計画（案）及び経営強化プラン（案）の策定支援 		

事務事業名 小児初期救急医療体制推進事業	予算現額	220,285,000円																				
	決算額	190,919,572円																				
所 管 市民医療センター	翌年度繰越額	0円																				
予算区分 款 項 目 説明	不用額	29,365,428円																				
事業概要 (R4-1 議案第11～20号 P.213)	前年度決算額	192,139,880円																				
<p><事業の目的・内容></p> <p>本事業は、安心して子育てができる医療環境を整備するため、関係医療機関と連携しながら、夜間や休日に小児の初期救急医療が提供できる診療体制を構築することにより、所沢市域全体で365日の小児初期救急医療体制が維持できるよう努めていくものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <p>○小児夜間急患診療（準夜帯）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平日：午後7時30分～午後10時30分 ・土、日曜、祝休日、年末年始：午後6時～午後9時 <p>○小児深夜帯急患診療</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火、水、金、土、日曜：小児夜間急患終了後～翌朝午前7時30分 <p>○小児科日曜日・休日急患診療</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日曜、祝休日、年末年始：午前10時～正午、午後2時～午後5時 <p>○令和4年度延患者数（前年度比較）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>小児夜間</th> <th>小児深夜</th> <th>休日急患</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和4年度</td> <td>1,677人</td> <td>859人</td> <td>3,306人</td> <td>5,842人</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>1,966人</td> <td>833人</td> <td>1,924人</td> <td>4,723人</td> </tr> <tr> <td>増減</td> <td>△289人</td> <td>26人</td> <td>1,382人</td> <td>1,119人</td> </tr> </tbody> </table>				小児夜間	小児深夜	休日急患	合計	令和4年度	1,677人	859人	3,306人	5,842人	令和3年度	1,966人	833人	1,924人	4,723人	増減	△289人	26人	1,382人	1,119人
	小児夜間	小児深夜	休日急患	合計																		
令和4年度	1,677人	859人	3,306人	5,842人																		
令和3年度	1,966人	833人	1,924人	4,723人																		
増減	△289人	26人	1,382人	1,119人																		

事務事業名 自動遺伝子解析装置整備事業(新型コロナウイルス感染症対策)	予算現額	5,938,000円
	決算額	5,637,500円
所 管 市民医療センター	翌年度繰越額	0円
予算区分 款 項 目 説明	不用額	300,500円
事業概要 (R4-2 議案第41号 P.26)	前年度決算額	—
<p><事業の目的・内容></p> <p>市民医療センターでは、新型コロナウイルス感染症対策として、発熱外来の受診者及び発熱症状のある患者に対し、新型コロナウイルス感染症に係る検査を実施している。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大期において、検査の件数が著しく増加した際には、結果判明までに日数を要することから、院内の検査体制を強化するため、PCR検査を行うことができる自動遺伝子解析装置を整備するものである。</p> <p><事業の実績・成果></p> <p>○自動遺伝子解析装置一式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定方法：指名競争入札（5者） ・契約先：東邦薬品株式会社 埼玉営業部 ・購入金額：5,637,500円 ・取得日：令和4年10月20日 <p>○新型コロナウイルス感染症院内PCR検査件数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度：2,423件（令和3年度：403件） 		

